JAHIS標準　10-001

Japanese

Association of

Healthcare

Information

Systems Industry

JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver.2.0

2010年 5月

保健医療福祉情報システム工業会

相互運用性委員会　メッセージ交換専門委員会

検査システム委員会　医用画像システム専門委員会

JAHIS内視鏡データ交換規約　Ver.2.0

ま　え　が　き

医療施設における医療情報システムにおいて、内視鏡部門情報システム（EIS:Endoscopy Information System）は、年々、導入及び運用の実績が伸びている。しかしながら、これまでの病院情報システム（HIS）と内視鏡部門情報システム及び関連システム（PACS/Report）間のデータ交換においては、メーカ間での統一はもとより、同一メーカにおいても導入施設によりその仕様が異なり、接続するにあたり多くの費用と時間を要していた。

また、病院情報関連の標準規格への対応状況においては、それぞれの規格が、放射線部門由来の規格であり、内視鏡部門の固有性や放射線部門との差異等の特徴を十分には反映してはいなかったため普及しているとは言えない状況となっていた。医用画像の標準規格であるDICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）に関しては、対応実績を持つ製品はあるものの、未だその数は決して多くはない。ましてや、HL7（Health Level Seven）の実装事例はほとんどない状況であった。

そこで、保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）では、この課題を解決すべく、病院情報システムと内視鏡部門情報システムとのデータ交換の仕組みを検討した。そして、その成果として2008年8月に、世界で初めての内視鏡部門向け医療情報の標準規格となる「内視鏡データ交換規約 Ver.1.0」を作成した。

本「内視鏡データ交換規約 Ver.2.0」では、Ver1.0で盛り込まなかった「実施情報」を対象範囲に加え、「内視鏡検査実施報告（EIS-HIS）」のメッセージを定義した。具体的には、「手技情報」「医療従事者情報」「使用物品情報」等の実施情報を含む。さらに、日本IHE協会などの関係団体と協調しながら、施設でのスムーズな運用を考慮して、個々の設定値などの補足説明を加え、他のJAHIS標準類との整合をとっている。

本規約をまとめるにあたり、ご協力いただいた関係団体や諸先生方に深く感謝する。また、本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換の円滑化に多少なりとも貢献できれば幸いである。

2010年　5月

保健医療福祉情報システム工業会
相互運用性委員会
検査システム委員会

<<　告知事項　>>

本ガイドラインは関連団体の所属の有無に関わらず、ガイドラインの引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本ガイドラインに準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本ガイドラインならびに本ガイドラインに基づいたシステムの導入・運用についてあらゆる障害や損害について、本ガイドライン作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本ガイドラインについての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2010　保健医療福祉情報システム工業会
Copyright©2010　日本HL7協会
Copyright©2010　日本IHE協会
Copyright©2010　Health Level Seven Inc.

目　　次

1. はじめに 1

2. HL7概要 2

3. 主な用語 3

4. 内視鏡データ交換規約の対象範囲 4

5. 関連情報詳細 7

5.1 HL7メッセージについて 7
5.2 フィールドについて 7
5.3 MESSAGE DELIMITERSメッセージ区切り文字 10
5.4 DATA TYPES データ型 12
5.5 患者プロファイルコードについて 38
5.6 検査結果コメントの扱い 39
5.7 用語・コードの扱いについて 43

6. 内視鏡検査依頼・検査結果メッセージ構文 46

6.1 患者情報照会(QRY/ADR) 46
6.2 患者情報通知(ADT/ACK) 47
6.3 内視鏡検査依頼照会(OSQ/OSR) 48
6.4 内視鏡検査依頼(OMG/ORG) 50
6.5 内視鏡検査通知 (OMI/ORI) 52
6.6 内視鏡検査結果照会(QRY/ORF) 54
6.7 患者到着通知 (ORU/ACK) 56
6.8 検査報告書状態通知(MDM/ACK) 57
6.9 検査報告書通知(MDM/ACK) 58
6.10 内視鏡検査実施報告 (OMI/ORI) 59

7. 関連セグメント詳細 61

7.1 MSH - MESSAGE HEADER SEGMENTメッセージヘッダセグメント 61
7.2 NTE - NOTES AND COMMENTS SEGMENT　注釈コメントセグメント 67
7.3 PID - PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT　患者識別セグメント 69
7.4 PV1 - PATIENT VISIT SEGMENT　来院情報セグメント 77
7.5 ORC - ORDER COMMON SEGMENT　共通オーダセグメント 83
7.6 OBR - OBSERVATION REQUEST SEGMENT　検査要求セグメント 98
7.7 OBX - OBSERVATION/RESULT SEGMENT　検査結果セグメント 106
7.8 TQ1 - TIMING/QUANTITY　タイミング/数量セグメント 117
7.9 IPC - IMAGING PROCEDURE CONTROL SEGMENT　画像手続き制御セグメント 121
7.10 MSA - MESSAGE ACKNOWLEDGMENT SEGMENTメッセージ応答セグメント 124
7.11 ERR - ERROR SEGMENT エラーセグメント 126
7.12 QRD – QUERY DEFINITION SEGMENT　問合せ定義セグメント 130
7.13 QRF – QUERY FILTER SEGMENT　問合せフィルタセグメント 134
7.14 TXA – TRANSCRIPTION DOCUMENT HEADER SEGMENT　電子媒体化文書ヘッダセグメント 136
7.15 EVN - EVENT TYPE SEGMENT 事象型セグメント 142
7.16 ZE1 - PERFORMED DATA SEGMENT 実施情報セグメント 144

付録 - １．消化器内視鏡検査依頼メッセージの例 146
付録 - ２．消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタ VER.1.0 265
付録 - ３．消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタの使用例 270
付録 - ４．作成者名簿 274

1. はじめに

従来の内視鏡部門では内視鏡から生成される画像を部門個別で管理する事例が多かったが、部門を越えた患者情報の共有という観点やシステム間の整合性及び共用性という観点から、一元的に管理･保管され、統一した画像管理システムで参照できるようにすることが望まれる。そのため、内視鏡分野においても医療分野で一般的となってきている標準規格DICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）へ対応する方向となってきている。

一方、医療機関の中でさまざまな情報システムベンダ間の円滑なシステム連携を可能とさせるために、政府が出したグランドデザインを背景に電子カルテ構築が加速しており、標準コードやDICOMとHL7といった標準規格による接続のための整備が進められている。

また、1999年に米国で始まったIHE（Integrating the Healthcare Enterprise）の活動では、DICOMとHL7を使用してシステム間接続を行う際に、規格の解釈の違いによる問題を解決するために、これら規格の統一的な解釈や実際の使い方をフレームワークとして定めている。そのフレームワークに従えばマルチベンダでのシステムが比較的容易に構築できることを目指している。IHEは、当初、放射線部門中心の活動であった。その分野で評価を受け、現在では電子カルテを目指したITインフラや循環器部門、検体検査部門、処方部門にまでその活動を広げている。

上述の状況を背景に、保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）は内視鏡検査に関するHL7の適用を検討し、内視鏡検査向けにHL7の適用ガイドラインとして2008年8月にJAHIS標準「内視鏡データ交換規約　Ver1.0」を制定している。

本「内視鏡データ交換規約 Ver2.0」では、内視鏡部門システムのワークフローを完結させるべく、Ver1.0で盛り込まなかった「実施情報」を対象範囲に加え、「内視鏡検査報告（EIS-HIS）」の定義をした。またHL7 Ver2.5への準拠、他のJAHIS標準類の最新版との整合をとるべく表現の修正も行っている。

また、Ver1.0策定にあたり、オーダ時に用いられる検査項目のコード（放射線分野のJJ1017に相当するもの）として、サンプルマスタを用意し説明を行ったが、本Ver2.0においてもそれを踏襲することとした。サンプルマスタは従来の実績を基に用意したものであるが、学会等のユーザ組織においてマスタの整備検討につながれば幸いである。

解説では、IHE-J（Integrating the Healthcare Enterprise - Japan）の活動を睨みながら、コネクタソンやフィールドでのスムーズな実装を考慮して、個々のフィールド値に対する設定方法などの補足説明を加えている。

このJAHIS標準が活用され、HL7の普及が促進されることを期待する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

2. HL7概要

(HL7とは)
ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約はOSI手順の第7層であるアプリケーション層に由来してHL7と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

(なぜ標準化なのか)
基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。
1960年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85年にかけ部門システムとの接続が始まり、1985年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。
病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。
技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

(HL7の歴史)
1987年3月ペンシルバニア大学病院にて初会合、3-4ヶ月かけV1.0のドラフトができた。V1.0は1987年10月に発表され全体的なインタフェースと入退院、オーダエントリ、オーダ照会がふくまれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まれなかった。以後1988年9月にV2.0、1990年にV2.1が発表された。1991年にはANSIのメンバとなり、1992年にはANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994年にはANSIに認知された標準化組織となった。1994年末V2.2を発表し、2001年のV2.5で、ISO規格にも採用された。またオブジェクト指向のV3.0も部分的に承認されている。2006年にはRIM(Reference Information Model)がISO/DISになっている。

(HL7の組織)
HL7は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ちHL7の情報源は会員の意見である。HL7の使用は会員であることを問わないが、HL7からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加してなくても案に対して意見を述べることができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがいる。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており現在1500を超える会員数である。国際支部も既に30ヵ国以上になり各国での利用が進んできた。

(HL7プロトコル概要)
HL7はOSI第7層(アプリケーション層)での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7の包含する対象はV2.1では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的処理、照会などである、さらにV2.2では、マスタファイル更新、V2.3では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、V2.4、V2.5では自動検査、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。
HL7の基本的体系は、メッセージタイプID付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ(例えば入退転)は、具体的なきっかけとなる事象(例えば患者入院)により、データ構成要素(例えば患者名)からなるセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

(他の標準化組織との関連)
ASTM E1238検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7を含めた標準化団体の調和を図るためANSIでは、HISPP (現HISB)部門を設置し、NCPDP(薬剤情報), ACR/NEMA(画像DICOM), IEEE MEDIX(医療情報記述交換), ASTM(検査関連臨床情報交換), ASC X12(会計保険情報の電子データ交換)と協調している。また国際的にもCEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらにISO/TC215(Health Informatics)とHL7はPilot ProjectとしてHL7規格をISO規格にすることが決定されている。

(日本HL7協会他国内の標準化組織との関連)
日本HL7協会が1998年7月に設立された。これを受け、JAHISでもHL7標準化規約の日本国内における普及を日本HL7協会と協力し、進めている。

JAHIS © 2010 All right reserved.

3. 主な用語

トリガーイベント Trigger Event: メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガーイベントという。HL7は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガーイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一対多の関係である。

メッセージ Message: 1つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位である。これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージタイプを持つ。例えば、ADT(入退転)メッセージタイプはあるシステムから別なシステムに患者の入退転データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる3文字のコードがそのタイプを識別する。

セグメント Segment: セグメントはメッセージの1つの側面について記述するもので、データ要素(フィールド)の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメントIDと呼ばれる3文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとある。それらはメッセージ中一回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合とある。たとえば、単一のオーダ関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は別のOBXセグメントとして送られることがある。

フィールド Field: 診断名などといったセグメント中の一つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

フィールド成分 Field components: フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。たとえば患者名は、姓、名、ミドルネーム(イニシャル)として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

メッセージ区切り文字 Message Delimiters: メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

依頼者 Placer: 検査群を依頼する人あるいは部門。たとえば、検体検査、X線、バイタルサインなどを依頼する医師、実施者、病院、または病棟部門など。

実施者 Filler: 依頼・要求された検査を実施する人または部門のことである。診断部門、検査部門、その患者についての検査結果を報告する看護提供者を含む。放射線検査室は検体検査の実施者であり、看護部門はバイタルサイン観察などの実施者である。

病院情報システム HIS (Hospital Information System): ADT(入院、退院、転院)機能など、通常、検査室の外部の機能をサポートするデータ管理システム。

内視鏡検査システム EIS (Endoscopy Information System): Ordre Filler(オーダ実施)機能をサポートするデータ管理システム。

医用画像保管通信システム PACS (Picture Archiving and Communication System): Image Manager & Image Achive(画像の保管・管理)機能をサポートするデータ管理システム。

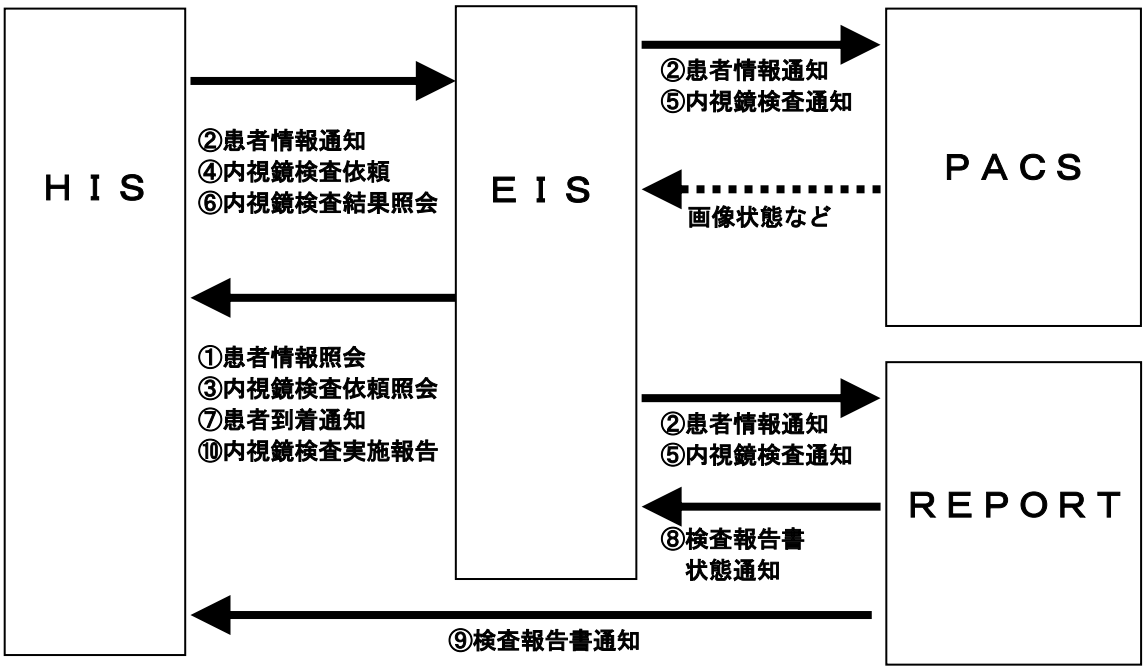
レポートシステム REPORT:Report Manager & Report Repository(レポートの保管・管理)機能をサポートするデータ管理システム。

モダリティ Modality: Acquisition Modality(医用画像の撮影)機能をサポートする検査装置。

JAHIS © 2010 All right reserved.

4. 内視鏡データ交換規約の対象範囲

内視鏡データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする（実線矢印部が対象、破線矢印部は対象外）。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。



システム間情報伝達イメージ

メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ
①患者情報照会	QRY→ ←ADR	患者の問合せ	A19
②患者情報通知	ADT→ ←ACK	入院	A01
		転科転棟	A02
		退院	A03
		患者情報登録/更新	A08
		外出外泊	A21
		帰院	A22
		入院取消	A11
		転科転棟取消	A12
		退院取消	A13
		個人情報更新	A31

JAHIS © 2010 All right reserved.

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ
		外出外泊取消	A52
		帰院取消	A53
③内視鏡検査依頼照会	OSQ→ ←OSR	オーダ状態に対する問合せ	Q06
④内視鏡検査依頼 （HIS－EIS）	OMG→ ←ORG	一般オーダメッセージ	O19/O20
⑤内視鏡検査通知 （EIS－PACS/REPORT）	OMI→ ←ORI	イメージングオーダメッセージ	O23/O24
⑥内視鏡検査結果照会	QRY→ ←ORF	検査結果の照会	R02, R04
⑦患者到着通知 （EIS－HIS）	ORU→ ←ACK	検査結果メッセージ	R01
⑧検査報告書状態通知 （REPORT－EIS）	MDM→ ←ACK	報告書通知メッセージ	T01
⑨検査報告書通知 （REPORT－HIS）	MDM→ ←ACK	報告書通知メッセージ	T02
⑩内視鏡検査実施報告 （EIS－HIS）	OMI→ ←ORI	イメージングオーダメッセージ	Z23/O24

本規約では上記のメッセージタイプ及びイベントタイプをサポートし、QRY等は標準的に使用する範囲を規定する。
患者管理のイベントは患者の登録及び更新(A08)を通常使用し、その他のイベントは双方の取り決めによる。
「メッセージタイプ」欄の矢印(→、←)は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印(→)が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印(←)が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

メッセージの概要

① **患者情報照会**（QRY/ADR）
患者情報をQRYメッセージで問合せ、それに対する回答をADRメッセージで返す。
② **患者情報通知**（ADT/ACK）
患者に関する各種イベントの情報をADTメッセージで通知し、それに対する応答をACKメッセージで返す。
③ **内視鏡検査依頼照会**（OSQ/OSR）
内視鏡検査依頼のオーダ情報をOSQメッセージで問合せ、それに対する回答をOSRメッセージで返す。
④ **内視鏡検査依頼** HIS-EIS（OMG/ORG）
内視鏡検査依頼のオーダ情報をHISからEISにOMGメッセージで通知する。それに対する応答をORGメッセージで返す。
⑤ **内視鏡検査通知** EIS-PACS/REPORT（OMI/ORI）
内視鏡検査依頼のオーダ情報をEISからPACS及びREPORTにOMIメッセージで通知する。それに対する応答をORIメッセージで返す。
⑥ **内視鏡検査結果照会**（QRY/ORF）
内視鏡検査結果をQRYメッセージで問合せ、それに対する回答をORFメッセージで返す。

JAHIS © 2010 All right reserved.

⑦ **患者到着通知　EIS-HIS（ORU/ACK）**
患者到着をORUメッセージで通知し、それに対する応答をACKメッセージで返す。

⑧ **検査報告書状態通知　REPORT-EIS（MDM/ACK）**
検査報告書状態をMDMメッセージで通知し、それに対する応答をACKメッセージで返す。

⑨ **検査報告書通知　REPORT-HIS（MDM/ACK）**
検査報告書をMDMメッセージで送信し、それに対する応答をACKメッセージで返す。

⑩ **内視鏡検査実施報告　EIS－HIS**
内視鏡検査の実施情報をEISからHISにOMIメッセージで報告する。それに対する応答をORIメッセージで返す。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

5. 関連情報詳細

5.1 HL7メッセージについて

メッセージ(例えば内視鏡検査依頼)は具体的な事象トリガーイベント(例えばオーダ)により発生し、メッセージヘッダーセグメント(MSH)で始まり、データ構成要素フィールド(例えば患者名)からなるデータをもったセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。 これらはコード化規則による区切文字で区切られた可読的な可変長メッセージであり、下記のように構成される。

メッセージ： MSH セグメント〈CR〉
xxx セグメント〈CR〉
yyy セグメント〈CR〉
zzz セグメント〈CR〉

セグメント： セグメントID ｜ フィールド1 ｜ フィールド2 ｜ フィールド3 ｜ …〈CR〉

フィールド： エレメント1 ^ エレメント2 ^ エレメント3 ^ …

5.2 フィールドについて

フィールドは文字列である。
システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについて、HL7は関与しない。 特に注記しないかぎり、HL7データフィールドはnull値を採ることがある。 null値を送ること、つまり2個の二重引用符(“”)として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるとき、その相違は出てくる。 値を送信しない(すなわち省略する)場合、古い値はそのままである。 null値を送る場合は、古い値はnull値に変更されるべきである。

本規格のさまざまな章にセグメント属性テーブルが含まれている。 これらのテーブルは、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧・記述している。 セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。:

5.2.1 （セグメント内の）位置

セグメント内のデータフィールドの順序位置。 セグメント属性テーブルでは、この情報はSEQというコラムにある。
この番号は、セグメント定義テーブルに続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使われる。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。 セグメント属性テーブルでは、この情報はLENというコラムにある。
フィールドの長さは標準であるが、施設独自の根拠で変更することができる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算される。最大長は1つの発生の長さなので、反復セパレータは、最大長を計算するときに含めない(章5.2.5 反復 を参照)。 複合データタイプは最も大きな成分データタイプの最大長より短い最大長を持ってはならない。

最大長が非常に大きな数の意向を伝える必要があるときは、ユーザに警告すべく値65536で表す。 この規定は64Kと略記したHL7 バージョン 2.4 以前の慣例に代わる。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

5.2.3 データタイプ（データ型）

データフィールドの内容に対する制限。 セグメント属性テーブルでは、この情報はDTというコラムにある。 もしフィールドのデータタイプが不定なときは、”varies”が注記される。
HL7によって定義された多くのデータタイプがある。 これらについては「5.4 Data types データ型」で説明する。
JAHIS仕様の本規約書では「データ型」とも呼んでいる。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。 セグメント属性テーブルでは、この情報はOPTというコラムにある。
HL7での指定は以下のとおりである。

R － 必須。
O － オプション。
C － トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
X － 対象のトリガーイベントでは使用されない。
B － HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。 セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。

注：バージョン2.3以上のために：各セグメント定義テーブルに続くセグメントフィールド定義中でフィールドの選択性を明示的に文書化するのがよい；セグメント内のフィールドの選択性がトリガーイベントに依存して変わる場合、その選択性も明示的に文書化するのがよい。

注：多数の成分あるいは副成分を含んでいる、HL7データタイプによって定義されたフィールドについては、正式のセグメント属性テーブルに続く詳細なフィールド定義(説明)中で与えられた成分あるいは副成分の選択性を指定しなければならない（さらに「5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字」「5.4 Data types データ型」を参照すること）。

JAHIS仕様(本規約書)での取り扱いは以下のとおりである。（R～BはHL7に同じ。）
セグメント属性テーブルでは、この情報はJapanというコラムにある。

R － 必須。
O － オプション。
C － トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
X － 対象のトリガーイベントでは使用されない。
B － HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。 セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。
N － 通常、使用しない。 施設内でのみ使用する。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復されるかどうかを示す。 セグメント属性テーブルでは、この情報はRP／#というコラムにある。
指定は以下のとおりである。

Nまたは空白 － 反復なし。
Y － 無限回または現場で決定した回数だけフィールドが繰り返される。
（整数） － フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

JAHIS © 2010 All right reserved.

繰り返しのそれぞれが、そのフィールドの最大長で指定した文字数を含めることができる(「5.2.2 最大長」を参照)。
使用上の注意:空白をそのフィールドが任意に反復してよいと解釈してはならない。

5.2.6 テーブル

データフィールド定義で説明されているテーブルの表題中の番号(4桁)は、そのコード化値セットのHL7識別子を意味する。
HL7はテーブルを3つの方法、つまり、使用者、HL7、外部により定義している。

使用者定義表(User-defined Tables): ユーザまたは施設で定義された値を持つテーブルである。 これはPV1-3-Assigned patient location のように確実なフィールドを与え、施設ごとに異なる値を持つ。 このようなテーブルは規格では定義してないが、実現を容易にするために使用者定義テーブル番号が割り当てられる。 HL7はしばしば施設が皮切りとして使えそうな推奨値を発行している(例えば表0001 性別)。 ISデータタイプは、このような表で使う値をコード化するのによく使われる。 このような表のなかには、共通のマスタファイルを参照する表もあるということに注意されたい(例えば、表0302 Point of cure)。
JAHIS仕様の本規約書では「使用者定義表nnnn」と表現している。

HL7表(HL7 Tables): HL7表はHL7によって定義/発行された値の集合である。 これらはその表を含むメッセージの解釈に影響を及ぼすのでHL7規格に含まれる。 これらの値は現場で再定義してはならないが、現場で定義した値を含めるために表自身を拡張することができる。 特にこのことは、HL7表0003 – イベント型 のケースに適用されている。 IDデータタイプは、HL7表で使う値をコード化するのに最もよく使われる。
JAHIS仕様の本規約書では「HL7表nnnn」と表現している。

外部テーブル(External Tables):外部テーブルは他の標準または組織によって定義/発行されたものである。例えばLOINCコードを使って検査結果を符号化する。フィールドで記述するにはCE(旧版互換性確保のため)CF、CNE、CWE型で使用される。
9000とそれ以上のテーブル番号はHL7が発行する外部定義テーブルのために予約している。 そのようなテーブルは、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。 これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行される。 しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

はい/いいえ標識テーブル(Yes/no indicator table)
はい/いいえ(Yes/No)の実際の使用は、説明内容に敏感である。 各々の章ではそれぞれの文脈での意味で詳述される。

HL7表 0136 – Yes/no indicator はい/いいえ標識

Value	Description
Y	Yes はい
N	No いいえ

5.2.7 ID番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。 セグメント定義では、この情報はITEM#というコラムにある。

5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。 セグメント属性テーブルでは、この情報は ELEMENT NAME というコラムにある。

同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータタイプおよび意味を同じID番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。 この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まれなければならない。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字が使われる。 セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)である。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義される。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義され、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義される。 MSHセグメントで定義される区切り文字は、メッセージ全体に適用される。特に理由がなければ、下表の区切り文字を推奨する。

Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は、導入者によって変えることができない。
-	Field Separator フィールドセパレータ または フィールド区切り文字	|	セグメント内で2個の隣接データフィールを分離する。 それはまたセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメントIDを分離する。
1	Component Separator 成分セパレータ	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの記述に述べられている。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	Escape Character エスケープ文字	\ (¥)	テキストフィールド(ST,TX,FTタイプまたはEDタイプの第４成分)では、エスケープ文字が使用できる。 これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。 このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。 しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定は存在せねばならない。
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ	&	データフィールド内の使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置1～4は、各セパレータを表現するキャラクタを定義する(MSHセグメントの)コード化文字フィールド内の指定位置である。

注:区切り文字で囲まれる文字列中でASCII以外の文字セットを使用した場合(escape,invoke)、区切り文字に先立ちASCII文字セットにもどすこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットはASCIIへリセットしたものとみなす。

テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX, FT, ST または CF 型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意の ASCII 文字で、MSH-2 符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字\を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く 1 文字のエスケープ・コード ID、0 個以上のデータ文字、それにもう 1 つのエスケープ文字から構成される。 エスケープシーケンスの中の入れ子エスケープシーケンスは禁止する。

詳細は、HL7 節 2.7、「テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用」を参照。

特殊文字: フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている:

\F\	フィールド区切り(フィールドセパレータ)
\S\	成分区切り （成分セパレータ)
\T\	副成分区切り （副成分セパレータ)
\R\	反復区切り （反復セパレータ)
\E\	エスケープ文字

例: MSH－2で｜^~\&｜の時、\9,800 は次の様に記述する。

¥E¥9, 800

JAHIS © 2010 All right reserved.

推奨しない/規格外のエスケープシーケンス: HL7では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。 利用する場合は、適用施設/アプリケーション間の取り決めが必要である。 尚、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

FT、ST および XT データ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

\Cxxyy\　　\Mxxyyzz\

本規約では MSH-18で ~ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

強調表示

\H\　　\N\

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

16 進法

\Xdd...dd\

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

フォーマット化テキスト

\. sp<数>\　　\. br\　　\. fi\　　\. nf\
\. in<数>\　　\. ti<数>\　　\. sk<数>\　　\. ce\

(報告書等の)書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

ローカル

\Zdd...dd\

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。 エスケープシーケンスは一対のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。
しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。 説明では、文字 \ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

一対のエスケープ文字の間にエスケープ・コード ID、データ文字がない場合:

表示可能な文字 \ と見なす。 つまり、\E\ を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
\\	\ (エスケープ文字)
\E\\\\\	\\\ (エスケープ文字が 3 個)

エスケープ文字の後のエスケープ・コード ID が前項以外である場合:

一対のエスケープ文字の間を無視する。 つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。
受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
\ABC\	省略またはnull (受信アプリケーションに害のない処理)

エスケープ文字が対を成さない場合:

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。
但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
|…\X0506XY|	…16進数の05,06 (最後のXYは16進数のデータの筈だが誤りである。その処置は本規約では規定外。)
|…\S|	…^ (\S\ と見なされる。)
|…\\|	… (最後の \ のみは無視する。)

JAHIS © 2010 All right reserved.　

5.4 Data types データ型

HL7表 0440 – データ型

データ型	データ型名称	長さ	コメント
英数			
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
FT	フォーマットされたテキスト	65536	
SRT	ソート順	15	
数値			
CQ	単位付き複合数量	500	CQ は他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこれの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 表用の符号化値	Variable	
IS	ユーザ定義表用の符号化値	20	
VID	バージョン識別子	973	
HD	階層指定	227	
EI	エンティティ識別子	427	
RP	参照ポインタ	273	
PL	個人の位置	1230	
PT	処理型	3	
日付/時間			
DT	日付	8	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	符号化要素	483	v 2.3.1 時で CNE と CWE と取り替えられた。v 2.5 時では下位互換性のみのために保持された。
CNE	例外無し符号化	705	
CNN	拡張複合 ID と名前	406	
CWE	例外有り符号化	705	
CF	フォーマットされた値付きの符号化要素	65536	
CK	チェックディジット付き複合 ID		削除
CN	複合化 ID 番号と名前		削除。v 2.3 で XCN に変更
CX	チェックディジット付き拡張複合 ID	1913	

JAHIS © 2010 All right reserved.

データ型	データ型名称	長さ	コメント
XCN	拡張された複合 ID 番号と名称	3002	v 2.3 で CN から変更
一般			
CM	複合		削除。v 2.5 ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。 ここでは、本書で使用するデータ型のみ記載した。
DLD	退院の場所と日付	47	
EIP	エンティティ識別子のペア	855	
ELD	エラー場所および説明	493	
ERL	エラー場所	18	
MOC	金額およびチャージコード	504	
MSG	メッセージ型	15	
NDL	場所と日付を備えた名称	835	
PRL	親結果リンク	755	
SPS	標本のソース	4436	
患者属性			
AD	住所	415	v 2.3 で XAD に変更
FN	姓	194	
PN	個人名		削除
SAD	住所(町名)	184	XAD データ型中にのみ出現
TN	電話番号	199	削除
XAD	拡張住所	631	v 2.3 で AD から変更
XPN	拡張された個人名	1103	v 2.3 で PN から変更
XON	機関に関する拡張された複合名称とID 番号	567	
XTN	拡張された通信番号	850	v 2.3 で TN から変更
専門/章は特定 波形			
CD	チャネル定義	581	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
ED	暗号化されたデータ	65536	バイナリデータの ASCII MIME-エンコーディング をサポート
価格データ			
CP	複合価格	543	.
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			

JAHIS © 2010 All right reserved.

データ型	データ型名称	長さ	コメント
QSC	照会選択の基準	219	
QIP	照会入力変数リスト	212	
RCD	行列定義	19	
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者のタイムスタンプ	2993	TS を結合した XCN と等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
RPT	繰り返しパターン	984	
SCV	スケジューリング種類と値の対	41	スケジューリングデータ用のみ。HL7ver2.5 の第 10 章参照
TQ	タイミング/量	1209	v 2.5 では、下位互換性のためにのみ保持される。
GTS	汎用タイミング指定	199	
検査			
ZRD	検査用薬剤や器材の情報	250	

Data types データ型解説

ST 文字列データ

文字列データは、左詰めにされこれに空白がうしろに続いてもよい。任意の表示可能な(印刷可能な)ASCII文字(20から7Eまでの16進値)である。例:|almost any data at all|

TX テキスト・データ

文字列データは、使用者に対しターミナルまたはプリンターによって表示するためにある。文字列に先行空白を挿入すると使用者が見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。

例:| leading spaces are allowed.|

TXデータは表示するためにあるので、反復区切文字をTXデータフィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。従って反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなされる。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

FT 書式付テキスト・データ

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。 これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。 文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。

例:|\.sp\(skip one vertical line)|

JAHIS © 2010 All right reserved.

SRT　ソート依頼

Components:　<sort-by field ソートフィールド(ST)> ^ <sequencing 配列(ID)>

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。
第1成分はソートされるレスポンスのフィールドを識別する。 よいレスポンスでは、これはソートされるべきカラム名になる。 セグメント・パターンや表示応答ではソートされるべきセグメントフィールド名になる。 (セグメントフィールド名定義についてはQIPデータタイプの「セグメントフィールド名(ST)」を参照。)。
第2成分はフィールドかパラメータにより識別しソートする。 HL7テーブル0397を参照する。

テーブル0397－汎用IDタイプ

Value	Description	
A	Asending	昇順
AN	Asending,case Insensitive	大小文字区別無し昇順
D	Desending	降順
DN	Desending, case Insensitive	大小文字区別無し降順
N	None	

CQ　単位付き合成量

Components:　<数量(NM)>^<単位(CE)>

第1成分は数量である。第2成分はその数量の単位である。デフォルトの単位で検査を測定した場合、その単位は送信する必要ない。その単位がISO+単位であるなら小文字の省略形を使用するとよい 。その単位がANSIまたはローカル定義のものならその単位と出典を記録しなければならない。

例：
|123.7^kg|　kilograms is an ISO unit
|150^lb&&ANSI+|　weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.

MO　金額

Components:　<quantity (NM)> ^ <denomination (ID)>

第1成分は数量で金額を表わし、第2成分はその数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。
例:|99.50^USD|
ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

NM　数字

ASCII数字列として表記される数字は、オプションの先行符号(＋または－)、数字、そしてオプションの小数点から構成される。符号がない場合、その数値は正数であると仮定される。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定される。 例:|999|　|-123.792|
先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(＋または－)およびオプションの小数点(.)を除き、数字以外のASCII文字の使用は許されない。従って、値“<12”は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI　シーケンスID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現われるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN　構造化数値

Components:　<comparator比較演算子 (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffixセパレータ/サフィックス (ST)> ^ <num2 (NM)>

構造化した数値データタイプは、条件を伴った数値の臨床検査結果を表現するため使用される。これによって受信システムは成分を別々に格納することができ、数値のデータベース照会の使用が容易になる。
比較演算子は、超「 > 」、未満「 < 」、以上「 >= 」、以下「 <= 」、等しい「 = 」、等しくない「 <> 」、デフォルトは等しい「 = 」である。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

<num1>および<num2>が値を持つ場合、セパレータ/サフィックスは必須である。セパレータが「 - 」である場合、その範囲は両端を含む。例えば、<num1> - <num2>は、<num1> <= x <= <num2>であるような一連の数値Xを示す。
num1は数値。num2は数値またはヌルであり測定によって異なる。
セパレータ/サフィックスは、「 - 」、「 + 」、「 / 」、「 . 」、「 : 」。

例： |>^100| (greater than 100)、 |^100^-^200| (equal to range of 100 through 200)
|^1^:^228| (ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)
|^2^+| (categorical response, e.g., occult blood positivity)

ID HL7定義コード化値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS 使用者定義コード化値

このフィールドの値は、使用者定義テーブルから引用され、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7テーブル番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

VID バージョン識別子

Components: <version ID (ID)> ^ <internationalization code(CE)> ^ <international version ID (CE)>

第1要素はHL7バージョンを表記するために使用。 取りうる値はHL7テーブル0104を参照。
第2要素はISO3166国コードで国際支部の国を表記する。 ISO3166テーブルに従い、3文字のコードを国コードと扱う。
第3要素に各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記する。

HD 階層的デジグネータ

Components: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

HDデータタイプは他のデータタイプ構成要素の一部として用いられる。それは、ローカルで定義されたアプリケーション識別子や公に割り当てられたUIDのいずれかとして使用される。
HDは、HL7の初期の版でISデータ型を使用したフィールドの中で使用される。その場合、第一成分のみである。HDデータ型の第1の成分が存在する場合、第2と第3の成分はオプションである。第3成分が存在する場合、第2成分も存在せねばならない。
HDの第2の成分、汎用ID(UID)は、第3の成分、汎用IDタイプ(UIDタイプ)によって定義される書式の文字列である。UIDはUIDタイプ内で時間が経過しても一意的になるよう定義されている。UIDタイプによって定義された各UIDは、UIDを構築する特に列挙された計画のうちの1つに属さなければならない。UID(第2の成分)は、第3の成分によって定義された汎用ID構文規則に従わなければならない。

テーブル0301－汎用IDタイプ

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか。
GUID	UUIDと同じ。
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで使用される識別子はこの割当計画に従う)。
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ。
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ。
ランダム	一般的にランダムビットのbase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する。メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組合せから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い。明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない。
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

JAHIS © 2010 All right reserved.

例：

```
1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO

14344.14144321.4122344.14434.654^GUID
falcon.iupui.edu^DNS

40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM

LAB1                Local use only: an HD that looks like an IS data type.

PathLab^UCF.UC^L    A locally defined HD in which the middle component is
                        itself structured.  This can be considered the
                        combination of 'PathLab' with the locally defined
                        UID system "L".

LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO  An HD with an ISO "Object Identifier" as a suffix,
                        and a locally defined system name.

^1.2.344.24.1.1.3^ISO   An HD consisting only of an ISO UID.
```

EI　エンティティ識別名

Components:　<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ < universal ID type (ID)>

エンティティ識別名は、識別子の指定されたシリーズ内の与えられたエンティティを定義する。
指定されたシリーズ、すなわち割り当て権限は、成分2～4によって定義される。割り当て権限は階層的指名者データ型(HD)である。 しかし、それは3つの個別の成分としてEIデータ型の中で定義され、これは通常単一の成分として定義されるのと異なる。 これはいくつかの既存のデータ分野の成分としてのEIの使用と下位互換性を維持するためである。そうでなければ、成分2～4は「HD　階層的デジグネータ」の中で定義される。 階層的指名者は、与えられたHL7導入を通じて一意的である。
第1成分、エンティティ識別名は、識別子のシリーズ内で一意的であるよう定義され、割当て権限によって作成され、これは階層的指名者によって定義され成分2～4で表わされる。

RP　参照ポインタ

Components:　<pointerポインタ (ST) > ^ < application IDアプリケーションID (HD)> ^ <type of dataデータの型 (ID)> ^ <subtypeサブタイプ (ID)>

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

ポインタ: データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

アプリケーションID: HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼者(または実施者)アプリケーションIDに同じ。 アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

参照されるデータのタイプはHL7テーブル0191に示される。

テーブル 0191 – 参照されるデータのタイプ

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data　(HL7 V2.3 and later)
AU	Audio data　(HL7 V2.3 and later)
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only)
IM	Image data　(HL7 V2.3 and later)
Multipart	MIME multipart package
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only)
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only)
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only)
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later)
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only)

サブタイプは、参照されるデータのタイプのための書式を宣言するので、HL7テーブル0291－参照されるデータのサブタイプを参照すること。

テーブル 0291 - Subtype of referenced data

Value	Description
BASIC	ISDN PCM audio data
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	Facsimile data

JAHIS © 2010 All right reserved.　

Value	Description
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	Electronic ink data (Jot 1.0 standard)
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	Uninterpreted binary data
PICT	PICT format image data
PostScript	PostScript program
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)
TIFF	TIFF image data
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One document
XML	Extensible Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)

PL　患者所在

Components:　<point of care看護単位 (IS)> ^ <room病室 (IS)> ^ <bedベッド (IS)> ^ <facility施設 (HD)> ^ <location status場所の状態 (IS) > ^ <person location type所在場所タイプ (IS)> ^ <building 建物 (IS)> ^ <floor階 (IS)> ^ <location description場所の詳細 (ST)>

このデータ型は医療施設内の個人の所在場所を特定するため使用される。どのコンポーネントに値を付けるかはサイトの必要性によって異なる。それは患者の所在場所を特定するため使用されることが最も多いが、しかし医療施設内の患者以外の個人を指すことやその場所の状態を表現する場合もある。
看護単位とは診療室や病棟など部門をいう。場所の状態でベッドのあき状況などを表示する。所在場所のタイプをコードで表現する。
注:成分の順序によって、以前のバージョンのHL7と互換性がある。下位互換性の制約がない場合、成分の階層構造オーダは次のようになる:<所在場所タイプ(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

PT　処理タイプ

Components:　<processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否か示す。
処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッギングかどうか定義する値。有効な値については「HL7テーブル0103－処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7テーブル0207－処理モード」を参照すること。

DT　日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。　例：|19880704|

TM　時間

Format:　HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

例：
|235959+1130| 1 second before midnight in a time zone eleven and half hours ahead of Universal Coordinated Time (i.e., east of Greenwich).
|0800|　Eight AM, local time of the sender.
|093544.2312| 44.2312 seconds after Nine thirty-five AM, local time of sender.

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

TS　タイムスタンプ

Format:　YYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]] [+/-ZZZZ] ^ <精度>

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。
YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度>
タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。
HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例:
|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.
|17760704010159-0500| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.
|198807050000|　Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.
|198807050000^D| Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(＝|19880705|)
HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。
この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

CE　コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例：|54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|
|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ:

識別子: 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング方式では、異なる要素を持つ。

テキスト: 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名: コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング方式を識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7テーブルを使用する場合、HL7テーブル番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分: 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためにある。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記: このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

CNE　例外なしコード化値

Components:　<identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ < alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト (ST)>

第1成分はユニークな文字のつながり(コード)である <テキスト>を参照するための識別項目である。異なるコード化の要素を持つ。

第2成分は問題の項目の名前を記述。例えば心筋梗塞あるいはX線の印象。そのデータタイプは文字列である。これは識別子にコーディング方式によって割り当てられるテキストである。

第3成分のそれぞれのコーディング方式には一意な識別子を割り当てられる。 この成分は識別子成分で使われて符号体系を識別するのに役立つ。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。 それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396－コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)－が許されている値を含んでいる。このテーブルは「ASTM E1238 –94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」コーディング方式を含み、HL7-節7.2.5のテーブルで識別される。 必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合である。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。 同様に、ISO テーブルが ISOnnnn と命名される。そこでは nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分は上の「識別子」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第5成分は上記の「テキスト」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第6成分は上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第7成分は第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に第1成分-第3成分に属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分は第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは(データタイプCEの第6成分を参照)概念的に代わりのコンポーネントのグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第9成分は特定のコードの前に自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストは割り当てられた。この部品はオプションである。

使用上の注意：

第1成分-第3成分と第7成分：識別子は必要とされて、そして正当なコードであるに違いない。コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから値を持っていなくてはならない、あるいはもし存在していないなら、それはコードが「 HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396－コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)－が許されている値を含んでいる。もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。 もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である、しかし、それがメッセージを正確度のために、特にインタフェース検査とデバッギングの間に再検討することがより容易であるようにするので、その使用は奨励されるべきである。

第9成分：これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。この部品はオプションである。

第4成分-第6成分と第8成分：これらの成分はオプションである。

記述されるように、それらはローカルであるか、あるいはユーザによって見られるコードを表すため

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

に使われる。
もし存在しているなら、第4成分-第6成分と第8成分は第1成分-第3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。
もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分のアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである、すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

CNE 使用法ノート: 必要とされるか、あるいは義務的なコードされたフィールドが必要とされるとき、CNE データタイプは使われるべきである。

使用者定義テーブル0396－コーディング方式－が許されている値を含んでいる。
このテーブルは「ASTM E1238 –94、診断、処置、検査、薬剤、健康結果」コーディング方式を含む。
HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。
それらの使用法のガイドラインがHL7-チャプター7、節7.1「序論と概要」で説明される。

例1: もしOBXセグメントの値タイプ(Value Type)フィールド(2を順番に並べる)が型CNEであると定義され、deに生ませられた値型が数だったならば、値型フィールドの最短の表現は現在のIDフィールド・シンタックスと同一でしょう:

OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

テキストを含んでいたのと同じOBXセグメントのより冗長な表現は、次のとおりでしょう:

OBX|1|NM^Numeric|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

テキストとコーディング方式を含む同じOBXセグメントのさらに冗長な表現は、次のとおりでしょう:

OBX|1|NM^Numeric^HL70125|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

データを作成したオリジナルのシステムの中で使用されるコードに関する情報を保持するために、スキーム・データをコード化する選択肢を含んでいることができるかもしれません:

OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

上記のものに加えて、人が使用されている語いのバージョンを捕らえ、HL7バージョンが“2.3.1”およびスキーム・バージョンをコード化する99LABだった場合“1.1”だった、フィール?hは次のように現われるでしょう。

OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB^2.3.1^1.1|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

更に、もし人が値フォーマットの“user seen”テキストを含みたく、ユーザがデータ・エントリ・スクリーン上のフィールド・タイプとして“Decimal”を見たならば、フィールドは次のように現われるでしょう:

OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB^2.3.1^1.1^Decimal|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

最終的に、ユーザは本来のIDの代わりに略記号を使用し、別名のIDとして長い書式を使用することができた。

OBX|1|NM^^^NUM^Number^99LAB^^1.1^Decimal|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

例2. もし値タイプ・フィールドがCNEフィールドとして定義されていたならば、および希望の値タイプが値セットの中になかった場合、有効なOBXインスタンスを作成することができない。 例えば、もし検査システムが内部値タイプの“Decimal Range”を持っていれば、HL7テーブル0125に利用可能な対応する値タイプがないので、有効なOBXインスタンスを作成することができない。 次の事例は正しくない。 CNEフィールドのすべての有効なインスタンス中で、IDフィールドは、指定されたテーブルからの有効な値を持っていなければならない。

正しくない(有効なIDがない)

OBX|1|^^^DR^Decimal Range^99LAB^^1.1^Decimal Range|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

例3. コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、コーディング・スキームはHL7-チャプター7の中で指定されたコーディング・スキームから得られる有効なスキームでなければならない。 例えば、もしOBXセグメントの検査項目フィールド(OBX-3)がCNEフィールドとしてタイプされ、LOINCバージョン1.0kが検査項目に対するソースとして使用されていたならば、次のOBX事例は有効でしょう:

JAHIS © 2010 All right reserved.

OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN^^^^1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

しかしながら、コーディング・スキーム指示“LOCAL”が、有効なコーディング・スキームのIDリストに載っておらず、また、それも有効で“local”なコーディング・スキームのIDを作成のためにHL7-チャプター7に記述された規則に順応しないので、次のOBX事例は正しくないであろう。

正しくない(無効なコーディング・スキーム)

OBX|1|NM|9587-2^Hemoglobin^LOCAL^^^^1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

ローカルのコーディング・スキーム“99LAB”を使用する有効なOBXインスタンスは、“99LAB”がHL7-チャプター7に記述されるいるようにローカルのコーディング・スキームを指定するための規則に適合しているので、許可される。 有効なOBX事例は以下のように表わされる:

OBX|1|NM|9587-2^Hemoglobin^99LAB^^^^6.5||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、最終的には、バージョン番号は存在しなければならない。 たとえコーディング・スキームLN(LOINC)が有効でも、有効なバージョン番号が抜けているので、次のOBX事例は正しくない:

正しくない(見当たらないバージョン番号)

OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

CNN 拡張複合IDと名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix接尾辞(e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (IS)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority-Namespace ID 割当て権限者-ネームスペースID (IS)> ^ <assigning authority-Universal ID 割当て権限者-ユニバーサルID (ST)> ^ <assigning authority-Universal ID Type 割当て権限者-ユニバーサルID種別 (ID)>

例: |00001^中田^隆|

CWE 例外を含むコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)>^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ < alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト (ST)>

第1成分:文字のつながり(コード)それはユニークに < テキスト>によって参照されて項目を識別する。異なったコード化方式がここで異なった要素を持つであろう。

第2成分:問題の項目の名前あるいは記載。例えば、 myocardial 梗塞あるいはレントゲン写真印象。

第3成分:それぞれのコーディング方式がユニークな識別子を割り当てられる。

このコンポーネントは識別子コンポーネントで使われて符号体系を識別するのに役立つであろう。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396(HL7-節7.18.1参照)-コーディング方式-が許されている値を含んでいる。

テーブルは「ASTM E1238 –94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4で識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合ある。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

同様に、 ISO テーブルが ISOnnnn と命名されるであろう、そしてそこで nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分:上の「識別子」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第5成分:上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第6成分:上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

JAHIS © 2010 All right reserved.

第7成分：これは第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に構成する第1成分-第3成分のグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。
第8成分：これは第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に代わりの成分のグループに帰属する（見なさい、と0が指摘する、上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。
第9成分：特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキスト

使用上の注意：
こちらは一般に送られるフィールドがコード、しかしどこにコードが卓越したインスタンスであるいはサイト契約によって除かれるかもしれないか使っている。
使われているコーディング方式がテキストでコンセプトを記述するためにコードを持っていないとき、卓越した事例が起こる。

1) Coded ：識別子はコーディング方式から正当なコードを含んでいる。
コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから、あるいはもし存在していないなら値を持っていなくてはならない、それはコードが「 HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。
使用者定義テーブル0396-コーディング方式が許されている値を含んでいる。
テーブルは「ASTM E1238 –94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4で識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。
もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。
もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。 もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。
テキスト記述は任意である、しかしその使用はテストの間のそしてデバッグするメッセージの判読性で支援に奨励されるべきである。

例1a ： CWE 値と値が SNOMED ・インターナショナルから取られる（とき・から・につれて・ように）、観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が送られている。
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^TypeO^SNM3^^^^3.4|||N||F<cr>
例1b ：観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が CWE 値として送られている、そして値は（現在仮説の） HL7 テーブルから取り出される。
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|O^Type O^HL74875^^^^2.3.1|||N||F<cr>

2) Uncoded ：テキストが高く評価される、識別子は値を持っていない、そしてコーディング方式とバージョンIDがオプション1のために論じられると比べて同じ規則に従う。
例2：検査結果IDをLOINCコードとする OBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、そして、正しい臨床結果「Wesnerian」が許容値の中に見いだされなかったことのテキストとして送られる。
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^^3.4|||A||F<cr>

3) **データ消失**：コーディング方式の名前は「 HL7 CE 状態」である、バージョンIDが1レアルいずれかであるバージョン、あるいはもし存在していないなら、それはメッセージヘッダでバージョンと比べて同じ意味を持っている、そして識別子は許された CE フィールド statuses の1人からその値を取る。許された CE フィールド statuses のコードは下に示されて、そして HL7 用語の一部としてテーブルで維持されるであろう。
コードのテキスト記載は任意である。
例3：検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が LCE値として送られており、この検査がされなかったことから送られることができる値がない。
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|NAV^NotAvailable^ HL70353^^^^2.3.1|||N||F<cr>

第9成分：これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可

JAHIS © 2010 All right reserved.

能であったオリジナルのテキストである。このフィールドは任意である。
第4 - 6成分＆第8成分：成分4-6＆8は任意である。
それらはローカルまたはユーザによって見られたコードを表すために使われる。
もし存在しているなら、第4 - 6成分と第8成分は（CWE データタイプの）第1 - 3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。
もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分でのアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである；すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。
例4：検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、結果は SNOMED インターナショナルから得られる。
ユーザによって見られたフィールドは（ 99LAB ）が送信しているシステムで使ったローカルなコーディング方式を表すために使われている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^TypeO^SNM3^O^Otype
Blood^99LAB^3.4^|||||F<cr>
```

CWE 使用法のサマリが値がない種々の国家のために状態値のテーブルで指摘する：データタイプが（そのために）使われるべきである CWE は任意である、あるいはもうではなく公認の値セットの一部である項目のためのテキストを送ることは許されるフィールドをコードした。
標準的な状況で、識別子は値セットからコードで高く評価される。
もしフィールドの値が知られているが、値セットの一部ではないなら、テキストと識別子が値を持っていない（とき・から・につれて・ように）、値は送られる。
もしフィールドが未知の状態を持っているなら、フィールドの3番目のフォームが（上にデータ消失を見なさい）使われる、そしてフィールドのための適切な状態は許された statuses のテーブルから選択される。コードが存在しないとき、 HL7テーブル0353を利用する。

テーブル 0353 – CWEステータス

Value	Description
U	Unknown　無し
UASK	Asked but Unknown　返答無し
NAV	Not available　利用可能でない
NA	Not applicable　適用可能でない
NASK	Not asked　問い合わせなし

テキスト変更子がコードに伴うかもしれないところに、 HL7 メッセージの「フィールド」はデータタイプ CWE のことであるであろう、そして繰り返すことを許されるであろう。
フィールドの最初のインスタンスは、オプション1に従って、使われるであろう；すなわち識別子は正当なコードを持っているであろう。
繰り返すフィールドの2番目のインスタンスは使われるであろう、オプション2に従って、すなわち、テキスト記載は自由なテキスト変更子の値をとるであろう。

CF　書式付コード化値

Components: <identifier識別子 (ID)> ^ <formatted text書式付テキスト (FT)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ID)> ^ <alternate formatted text代替書式付テキスト (FT)> ^ <name of alternate coding system代替方式名 (IS)>

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト(たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など)を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセージではその識別子だけを送信すればよい。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスタファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、第2成分および第5成分が書式付テキスト・データ型であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例：

```
OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^\H\Description:\N\\.sp\\ti+4\Heart is not enlarged.  There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.
\.sp+3\\H\Impression:\N\\.sp\\.ti+4\Negative chest.^CPMC
```

CX　チェックディジット付拡張複合ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者 (HD))> ^ <identifier type code ID タイプコード (IS)> ^ < assigning facility割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date 満了日付 (DT)>

例：|1234567 ^ 4 ^ M11 ^ ADT01 ^ MR ^ University Hospital|

ID：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックディジット：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックディジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックディジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード：IDのタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

テーブル0203－識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エキスプレス	MS	マスタカード
AN	勘定番号	NE	米国雇用者ID
BA	銀行勘定番号	NH	米国保健計画ID
BR	出生登録番号	NI	米国個別ID
BRN	品種登録番号	NNxxx	米国個人ID XXX=ISOテーブル3166の3文字(アルファベット)の国コード
DI	ダイナーズクラブ・カード	NPI	米国プロバイダーID
DL	運転免許証番号	PEN	年金番号
DN	医師番号	PI	患者内部ID
DR	ドナー登録番号	PN	個人番号
DS	ディスカバー・カード	PRN	プロバイダー番号
EI	従業員番号	PT	患者外部ID
EN	雇用者番号	RR	鉄道退職番号
FI	設備ID	RRI	地方登録ID
GI	保証人内部ID	SL	滞在許可
GN	保証人外部ID	SR	滞在登録ID
HC	保健証番号	SS	社会保障番号
JHN	管轄区域の保健番号(カナダ)	U	無指定
LN	免許番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
LR	地方登録ID	VN	訪問回数
MA	メディケイド番号	VS	ビザ
MC	メディケア番号	WC	WIC ID
MCN	マイクロチップ番号	WCN	労働者番号
MR	医療記録番号	XX	組織ID

XCN　拡張複合IDと名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード(ID)> ^ <identifier check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当て施設 (HD)> ^ <name representation code名前表示コード(ID)> ^ <name context 名前コンテキスト(CE)> ^ <name validity range名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。 第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。 第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。 第8成分は、第1成分で使われるソーステーブルを指定する。 特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN－拡張人名を参照。 識別タイプコードは「使用者定義テーブル0203－識別子タイプ」を参照すること。
第10成分と第15成分は必須である。

例: |^中田^隆^^^^^^^L^^^^^|
|^TORANOMON^ICHIRO^^^^^^^L^^^^^A~虎ノ門^一郎^^^^^^^L^^^^^|

JAHIS © 2010 All right reserved.　

DLD　退院先と日付

Components:　<退院先 (IS)> ^ < 発行日付 (TS)>

EIP　実体識別子ペア

Components:　<依頼者割当識別子 (EI)> ^ <実施者割当識別子 (EI)>

ELD　エラー個所および記述

Components:　<セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <エラーを特定するコード(CE)>

ERL　エラー位置

Components:　<セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <フィールド繰り返し番号(NM)> ^ <成分番号(NM)>)> ^ <副成分番号(NM)>

MOC　金額および請求コード

Components:　<金額 (MO)> ^ <請求コード (CE)>

MSG　メッセージタイプ

Components:　<メッセージコード (ID)> ^ <トリガーイベント (ID)> ^ <メッセージ構造 (ID)>

NDL　日付と位置を伴う名前

Components:　<名前 (CNN)> ^ <開始日付/時間 (TS)> ^ <終了日付/時間 (TS)> ^ <ケアの場所(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <病床(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <位置の状態(IS)> ^ <患者位置タイプ(IS)> ^ <建物(IS)> ^ <階(IS)>

PRL　親結果リンク

Components:　<親検査識別子 (CE)> ^ <親検査副識別子 (ST)> ^ <親検査の値の記述 (TX)>

SPS　検体採取場所

Components:　<検体採取場所の名前またはコード (CWE)> ^ <添加物 (CWE)> ^ <検体採取方法 (TX)> ^ <部位(CWE)> ^ <部位修飾子(CWE)> ^ <検体採取方法修飾子コード(CWE)> ^ <検体の役割(CWE)>

FN　姓

Components:　<surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

このデータタイプは人の姓のフルの仕様書を許す。
適切である場合は、それはその人のパートナーあるいは配偶者のそれから、その人の名前がいずれかの名前から要素を含むかもしれないケースでその人自身の姓を区別する。
更にメッセージでは姓接頭辞(例えば“バン”あるいは“ドゥ”)と性ルートを区別することができる。

第1成分はその人の姓の原子の要素。最も西洋の使用法で、これはその人の姓である。
第2成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。
第3成分は旧姓を現す。
第4成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。
第5成分はその人のパートナーあるいは部分から同じぐらい著名な配偶者の姓から得られるその人の姓(たいていの西洋の使用法、姓で)の部分がその人の自身の姓から生じた。この部品はオプションである。もしその人の姓の部分がその人のパートナーあるいは配偶者の姓から得られないなら、このコンポーネントは高く評価されない。さもなければ、もしパートナーあるいは配偶者の姓が合法的にその人の姓に似合って、(あるいは含む)ために変化したなら、これはこのような変更の前にすぐにパートナーあるいは配偶者の姓である。

SAD　番地

Components:　<street or mailing address (ST)> ^ <street name (ST)> ^ <dwelling number (ST)>

注意: XAD データタイプにだけ現われる。
第1成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。 施設を参照するとき、この最初のコン

JAHIS © 2010 All right reserved.　

ポーネントは施設名を指定するために使われる。 個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

XAD　拡張住所

Components: <street address町名 (SAD)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号(ST)> ^ <country国 (ID)> ^ < address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)>^ <address representation code住所表示コード (ID)> ^ <address validity range 住所有効範囲(DR)>

例： |1234、Easy St. ˆ Ste. 123 ˆ San Francisco ˆ CA ˆ 95123 ˆ USA ˆ B ˆ ˆ SF ˆ |

他の表示では町名を修飾する。例:Suite 555あるいは4階など。 住所・タイプはオプションであり、HL7テーブル0190－アドレスタイプによって定義される。 他の地理的な表示は国、バイオリージョン、SMSAなどを含んでいる。 Name/address representation codeはHL7テーブル0465の値を使用。

XPN　拡張人名

Components: <family name姓 (FN)> ^ <given name 名 (ST)> ^ < second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞 (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (ST)> ^ <name type code名前タイプコード (ID) > ^ <name representation code名前表示コード (ID)> ^ <name context名前コンテキスト (CE)> ^ <name validity range 名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示 (ID)>

第7成分と第8成分は必須である。

例： |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|
|日本^太郎^^^^^D^I~にほん^たろう^^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^^D^A|

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。 送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。 必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。 名前タイプコードで法律上の名前や現地名などを示す。 取りうる値はHL7テーブル0200 - 名前タイプを参照。 一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。

テーブル 0200 - Name type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name　別名
B	Name at Birth　出生時の名前
C	Adopted Name　養子名
D	Display Name　表示名称
I	Licensing Name　許可された名前
L	Legal Name　法律名前
M	Maiden Name　旧姓
N	Nickname /"Call me" Name/Street Name
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only)
R	Registered Name (animals only)　動物の登録名
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性を確保するためのコード化された偽名
T	Indigenous/Tribal/Community Name　現地での/部族での/社会での名前
U	Unspecified　不明

学位は使用者定義テーブル0360の値を使用。

テーブル 0360 - 学位

Value	Description
AAS	Associate of Applied Science　応用科学系準学士
AA	Associate of Arts　文系準学士
ABA	Associate of Business Administration　経営管理学準学士
AE	Associate of Engineering　エンジニアリング準学士
AS	Associate of Science　理系準学士

JAHIS © 2010 All right reserved.　

BA	Bachelor of Arts　文学士
BBA	Bachelor of Business Administration　経営管理学士
BE	Bachelor of Engineering　エンジニアリング士
BFA	Bachelor of Fine Arts　美術士
BN	Bachelor of Nursing　看護士
BS	Bachelor of Science　理学士
BSL	Bachelor of Science – Law　理学士－法則
BT	Bachelor of Theology　神学士
CER	Certificate　証明書
DIP	Diploma　卒業証書
DBA	Doctor of Business Administration　経営管理学博士
DED	Doctor of Education　教育博士
PharmD	Doctor of Pharmacy　薬学の医者
PHE	Doctor of Engineering　エンジニアリング博士
PHD	Doctor of Philosophy　哲学博士
PHS	Doctor of Science　科学博士
MD	Doctor of Medicine　医学博士
DO	Doctor of Osteopathy　骨学博士
HS	High School Graduate　高校卒業者
JD	Juris Doctor　法学博士
MA	Master of Arts　文学修士
MBA	Master of Business Administration　経営学修士
MCE	Master of Civil Engineering　土木工学修士
MDI	Master of Divinity　神学修士
MED	Master of Education　教育修士
MEE	Master of Electrical Engineering　電気工学修士
ME	Master of Engineering　エンジニアリング修士
MFA	Master of Fine Arts　美術学修士
MME	Master of Mechanical Engineering　機械工学修士
MS	Master of Science　理学修士
MSL	Master of Science – Law　理学修士－法則
MT	Master of Theology　神学のマスタ
NG	Non-Graduate　非卒業生
SEC	Secretarial Certificate
TS	Trade School Graduate　専門学校卒業生

名前表示コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。 それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

テーブル0465 - Name representation 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

XON　拡張複合組織IDと名称

Components:　<organization name組織名 (ST)> ^ <organization name type code組織の名前タイプ (IS)> ^ <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <identifier type code識別子タイプ (IS)> ^ <assigning facility ID 割当て施設ID (HD)> ^ <name representation code 名前表示コード(ID)>

例：|HL7 Health Center ˆ L ˆ 6 ˆ M11 ˆ HCFA|

組織の名前タイプでは、法的な名前、表示する名前などを表す。

テーブル0204－組織の名前タイプ

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

JAHIS © 2010 All right reserved.　

XTN　拡張電話番号

Components:　[NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code通信使用コード (ID)> ^ <telecommunication equipment type通信機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any text (ST)>

例： (415)　555-3210 ˆ ORN ˆ FX ˆ

テーブル0201－通信使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

テーブル0202－遠隔通信機器タイプ

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用

注:成分5～9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

CD　チャネル定義

Components:　<channel identifier (CM)> ^ <waveform source (CM)> ^ <channel sensitivity/units (CM)> ^ <channel calibration parameters (CM)> ^ <sampling frequency (NM)> ^ <minimum/maximum data values (CM)>

ディジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

MA　多重化された配列

Components:　<sample 1 from channel 1 (NM)> ^ <sample 1 from channel 2 (NM)> ^ <sample 1 from channel 3 (NM)> ... ~ <sample 2 from channel 1 (NM)> ^ <sample 2 from channel 2 (NM)> ^ <sample 2 from channel 3 (NM)> … ~

このデータ型はチャンネルマルチプレックスの波形データ(例えばアナログデジタル変換器または他のデジタル信号源からのデジタル化された値)を表現する。

NA　数値の配列

このデータ型は一連(配列)の数値を表すために使用され、各々はNMデータ型をである。

ED　カプセル化データ

Components:　<source application (HD) > ^ <type of data (ID)> ^ <data subtype (ID)> ^ <encoding (ID)> ^ <data (ST)>

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データのタイプ、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP－参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

ソースアプリケーションはデータのソースであったシステムを識別する一意的な名前である。

データのタイプならびにサブタイプはHL7テーブル0191－参照されるデータのタイプ、HL7テーブル0291－参照されるデータのサブタイプを参照。

コーディング方式は、それが存在する場合、表示可能なASCII文字として二進法データの連続のオ

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

クテットを常に表わす。とりうる値はHL7テーブル0299－コーディング方式を参照。

テーブル0299－コーディング方式

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能なASCII文字である。
Hex	16進法のコーディング。連続するペアの16進数字は連続する単一オクテットを表わす。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準のRFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続するASCII文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表わす。Base64は、米国ASCIIの65文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列としてを使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は、HL7テーブル0290－MIME base64コード化文字に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付け加える。

入力データのない出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する:

(1)**入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である**; ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる、

(2)**入力の最終量はちょうど8ビットである**; ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」パッド文字が後続する2文字になる。あるいは、

(3)**入力の最終量はちょうど16ビットである**; ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

テーブル 0290 - MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 I	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 l	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、セクション2.8.14.2「データのタイプ」によってコード化される。

CP 複合価格

Components: <price 価格(MO)> ^ <price type価格タイプ (ID)> ^ <from value 始点の値(NM)> ^ <to value 終点の値(NM)> ^ <range units範囲単位(CE)> ^ <range type 範囲タイプ(ID)>

Subcomponents of price: <quantity (NM)> & <denomination (ID)>

注意:このデータタイプは、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するために頻繁に使用される。

例： |100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分は唯一必須成分;小数点を通常含んでいる。MO・データタイプの各成分がここでは副成分であることに注意すること。
第2成分はコード化された値、データタイプID。有効な値については、「HL7テーブル0205－価格タイプ」を参照すること。

テーブル0205－価格タイプ

Value	Description
AP	administrative price or handling fee　管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	direct unit cost　直接の単位原価
IC	indirect unit cost　間接の単位原価
PF	professional fee for performing provider　実行提供者に対する専門の料金
TF	technology fee for use of equipment　機器の使用に対する技術料金
TP	total price　価格の合計
UP	unit price, may be based on length of procedure or service　単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

各々はNM・データタイプである;一緒になって「範囲」を指定する。範囲を時間あるいは量のいずれかとして定義することができる。例えば、範囲は、手続きの最初の10分が1つの価格を持つことを示すことができる。データタイプの別の反復は、別の価格で手続きの次の10～60分の料金を課すことを明示するために、範囲を使用することができる;手続きの最後の反復は60分からN分までを第3の値に指定することができる。
もし<価格タイプ>成分がTPである場合、両方<始点の値>および<終点の値>の両方がヌル（null）であることに注意すること。
第3成分は上記の始点の値を参照すること。
第4成分は上記の始点の値を参照すること。
第5成分はコード化された値、データタイプCE。時あるいは量のいずれかの単位の標準のテーブルによって定義されたもの。（例えば、HL7-節7.1.4「コード体系」のテーブルを参照すること）。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量（例えばカウント）に関連した単位について記述する;それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

Subcomponents of range units: <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (IS)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding sys-tem(IS)>

第6成分は有効な値については、「HL7テーブル0298－CP範囲タイプ」を参照すること。

テーブル0298－CP範囲タイプ

Value	Description
P	Pro-rate. Apply this price to this interval, pro-rated by whatever portion of the interval has occurred/been consumed 比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生／消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	Flat-rate. Apply the entire price to this interval, do not pro-rate the price if the full interval has not occurred/been consumed 定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生／消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC 会計クラス

Components: <financial class会計のクラス (IS)> ^ <effective date発効期日 (TS)>

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。
推奨値については「使用者定義テーブル0064－会計クラス」を参照すること。

使用者定義テーブル0064－会計クラス

Value	Description
	No suggested values defined　推奨できる値はない

この成分は、第1の成分中で指定された会計のクラスへの、人の割当の発効期日／時間を含んでいる。

QSC 問い合わせセレクト条件

Components: <segment field name セグメントフィールド名 (ST)> ^ <relational operator 比較演算子 (ID)> ^ <value 値 (ST)> ^ <relational.conjunction 比較論理積 (ID)>

例: |@PID.5.1^EQ^EVANS|

JAHIS © 2010 All right reserved.

定義:このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。
(このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。)
第1成分は修飾語として参加しているフィールドの名前(通常「キー」)。フィールドに名前を付ける方法については、データタイプQIPの第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照すること。
第2成分:有効な値については「HL7テーブル0209－比較演算子」を参照すること。

テーブル0209－比較演算子

Relational operator	Value	
EQ	Equal	等しい
NE	Not Equal	等しくない
LT	Less than	より小さい
GT	Greater than	より大きい
LE	Less than or equal	以下
GE	Greater than or equal	以上
CT	Contains	含む
GN	Generic	一般

第3成分はフィールドがそれに対して比較される値。
第4成分は「HL7テーブル0210－比較論理積」を参照すること。 比較論理積は以下のように定義される:資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

テーブル0210－比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	Default
OR	

- 文字列に適用されたとき、関係オペレータLT、GT、LEおよびGEはアルファベットの比較を意味する。
- 「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。
- 反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ANDはORに優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

QIP 問い合わせ入力パラメータリスト

Components: <segment field name セグメントフィールド名(ST) > ^ <value1 (ST) & value2 (ST) & value3 値1&値2&値3 (ST) ... >

例: |@PID.5.1^EVANS|

定義:このフィールドは、ストアードプロシジャーへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

第1成分はセグメントフィールド名を含んでいる。
フィールド名の命名ルール:フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである(「.3」のサフィクスはフィールドの第3の成分を示す);そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。 フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。
施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まることが条件である。この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されねばならない。
このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。
注:「@」が、「MSH－2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。(HL7-節2.10.1「フォーマットコード」を参照)

第2成分はフィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。
単一値パラメータは、第2の成分に単一の副成分だけを含んでいる:従って副成分の区切記号は必要ではない(例えば<フィールド名>^<値>)。値の単純な一覧表(すなわち一次元の配列)を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する:「<フィールド名>^<値1&値2&...>」

RCD 行・列定義

Components: <segment field name HL7セグメントフィールド名(ST)> ^ <HL7 data type HLデータタイプ (ID)> ^ <maximum column width 最大コラム幅(NM)>

例：PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁
|@PID.5.1^ST^20|

定義:このフィールドの各反復は3つの成分から成る:
第1成分はHL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する(セグメントフィールド名の付け方については、(データタイプQIP－第1成分を参照)。
第2成分は3文字のHL7データタイプ。HL7テーブル0440に従う有効な値のためのデータ型。
第3成分は最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの(これはHL7定義の最大フィールド長さと異なるかもしれない)。

DLN 運転免許証番号

Components: <license number (ST)> ^ <issuing srate,province, country (IS)> ^ <expiration date (DT)>

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

JCC 職種コード／種類

Components: <job code (IS)> ^ <job class (IS)>

職種と雇用種別を表す。

VH 来院時間

Components: <start day range開始曜日 (ID)> ^ <end day range 終了曜日 (ID)> ^ <start hour range 開始時刻 (TM)> ^ <end hour range終了時刻 (TM)>

定義:このデータタイプは患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。 最初の2つの成分に対する有効な値については、「HL7テーブル0267－曜日」を参照すること。

第1成分は来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7テーブル0267－曜日」を参照すること。

第2成分は来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。 値については、「テーブル0267－曜日」を参照すること。

テーブル0267－曜日

Value	Description
SAT	Saturday 土曜日
SUN	Sunday 日曜日
MON	Monday 月曜日
TUE	Tuesday 火曜日
WED	Wednesday 水曜日
THU	Thursday 木曜日
FRI	Friday 金曜日

第3成分は来院時間範囲の最初の曜日の開始時間(第1の成分の「開始曜日」を参照)。

第4成分は来院時間範囲の最後の曜日の終了時間(第2の成分の「終了曜日」を参照)。

PPN 実行者およびタイムスタンプ

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (FN)> ^ <given name (ST)> ^ <second and further given name or initials thereof (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <identifier check digit (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility (HD)> ^ < date/time action performed (TS)> ^ <name representation code (ID)> ^ <name context (CE)> ^ <name validity range (DR)> ^ <name assembly order (ID)>

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクションを実行したかを記録するために使用する。ヌルでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

DR 日付／時間の範囲

Components: <range start date/time 開始日付／時刻(TS)> ^ <range end date/time 終了日付／時刻(TS)>

YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]][+/-ZZZZ] & < 精度 >

第1成分は指定された範囲内での最も早い日付／時間(時刻スタンプ)を含んでいる。

第2成分は指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいる。

TS(時刻スタンプ)データタイプによって精度の指定ができることに注意すること。

RI 繰り返し間隔

Components: <repeat pattern 繰り返しパターン(IS)> ^ <explicit time interval明確な時間間隔 (ST)>

定義:このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。 このフィールドの定義は、HL7 4章の節4.4.2「時間間隔成分(CM)」の中で与えられた量／タイミングフィールドの間隔成分の定義と等価である。

第1成分は使用者定義テーブル0335-繰り返しパターン － によって定義される。

第2成分は第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、....である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。

RPT 繰り返しパターン

Components: <Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード (CWE)> ^ <Calendar Alignment カレン

JAHIS © 2010 All right reserved.

ダー上の位置 (ID)> ^ <Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値(NM)> ^ <Phase Range End Value フェーズ範囲終了値 (NM)> ^ <Period Quantity 期間数値(NM)> ^ < Period Units 期間単位 (IS)> ^ <Institution Specified Time 施設設定の時刻(ID)> ^ < Event イベン(ID)> ^ <Event Offset Quantity イベントオフセット数値(NM)> ^ <Event Offset Units イベントオフセット単位(IS)> ^ <General Timing Specification 汎用タイミング指定(GTS)>

SCV 予約クラスと値

Components: <parameter class パラメータクラス(IS)> ^ <parameter value パラメータ値(ST)>

HL7予約の章に関してのみ使用される。

定義:このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者(予約管理)アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者(予約管理)上書き基準を選択して予約することである。

第1成分は実施者(予約管理)アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。 推奨値については「使用者定義テーブル0294-時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照のこと。

テーブル0294ー時間選択基準パラメーター・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
月曜	月曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
火曜	火曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
水曜	水曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
木曜	木曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
金曜l	金曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
土曜	土曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
日曜	日曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。

第2成分はそのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者(予約管理)アプリケーションが優先権パラメタが渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメタ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ タイミング数量

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダシーケンス化(CM)> ^ <occurrence duration発生持続(CE)> ^ <total occurrences発生からの合計 (NM)>

サービスの実施時期とその頻度を指定する。

【内視鏡】内視鏡では第6成分の優先度のみを使用する。

Priority component 優先度成分 (ST)

定義: 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである):

S	=	緊急	最も高い優先度で
A	=	できるだけ早く	Sオーダの後
R	=	ルーチン	デフォルト
P	=	術前	
C	=	返信	
T	=	タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。たとえば、抗生物質血中濃度である

JAHIS © 2010 All right reserved.

PRN = As Needed

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる:

Format:

TS<integer> = 秒以内で
TM<integer> = 分以内で
TH<integer> = 時間以内で
TD<integer> = 日以内で
TW<integer> = 週以内で
TL<integer> = 月以内で

オーダの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダから後に続くオーダ全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

GTS 汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データタイプは複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTフィールドの整形規則に従う。その文字列データは「バージョン3 データタイプ 第II部 完全な仕様」で、汎用タイミング指定(GTS)データタイプに対して設定されるであろう規則に従うことになる。

ZRD 検査用薬剤や器材の情報 （名称、コード、量）

Components: <識別子 (ST)>

定義:検査メッセージ用のデータ型ZRDは、オーダや検査実施のメッセージの中で、検査に使用されるあるいはされた薬剤等の名称や量を記述するためのデータ型である。

ZRD指定の成分を、以下に述べる。

識別子(ST)

定義:薬剤等のマスターコードを指定する。

テキスト(ST)

定義:薬剤等の名称を指定する。

コーディング方式(IS)

定義:薬剤等のコードと名称を定義しているマスタの識別情報を記述する。

数量(NM)

定義:薬剤等の量を指定する。

単位(CE)

Subcponents: <識別子> & <テキスト>& <コーディング方式名>& <代替識別子>& <代替テキスト>& <代替コーディング方式>

定義:薬剤等の量を表す際の単位を設定する。

単位略号（MERIT-9 処方オーダ Ver1.1より）

値	内容
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

JAHIS © 2010 All right reserved.

第三成分(name of coding system) には、’MR9P’ を設定する。
例. SHT&枚&MR9P と表現

ZRDの使用例
ガスコンドロップ2%を2ml
OBX|1|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||
　　104232001^ガスコンドロップ2%^HOT^2^ML&ミリリットル&MR9P||||||F<cr>

セルシン5mgを1アンプル
OBX|1|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||
　　100555401^セルシン5mg^HOT^1^AMP&管&MR9P||||||F<cr>

JAHIS © 2010 All right reserved.

5.5 患者プロファイルコードについて

内視鏡検査依頼では患者の手術歴やアレルギーなどの情報が必要である。HL7であらかじめ用意されているものがあればそれを活用するが、存在しない項目については以下のような項目コードを定義して、OBXセグメントに記載することを考える。コーディングシステム名は‘JSHR’を設定する。

検体検査の項目に関しては、より細かく分類された標準コードが存在するが、ここでは内視鏡部門で参照するマクロなレベルのコードを定義する。その両者のコード変換に関してどのサブシステムで行うかは施設毎に考慮すべきものとなるだろう。

テーブル － **Observation Identifier 検査付帯項目**

Value	Description
01-01	身長
01-02	体重
02-01	造影剤副作用
02-02	気管支喘息
02-03	腎機能障害
02-04	胃部の手術歴
02-05	大腸の手術歴
02-06	胆嚢の手術歴
02-07	その他腹部の手術歴
02-08	体内ペースメーカー
02-09	体内金属
03-01	HBs抗原
03-02	HCV抗体
03-03	TPHA法
03-04	STS法
03-05	ツ反
03-06	TB塗抹
03-07	TB培養
03-08	HIV抗体
03-09	HTLV-I抗体
03-10	MRSA
03-11	クレアチニン値
03-12	BUN値
04-01	聴覚障害
04-02	言語障害
04-03	視覚障害
04-04	運動障害
04-05	意識障害

テーブル － **Observation Value 検査値**

Value	Description
0	－
1	擬陽性
2	＋
3	＋＋
4	＋＋＋
U	不明
SV	Severe　重度
MO	Moderate　中程度
MI	Mild　軽度
U	Unknown　不明
A	A
B	B
O	O
AB	AB

*検査中はOBX-11 を I（保留）で表現する

患者プロファイルの値を表現するにはCEデータ型を用いる。

JAHIS © 2010 All right reserved.

5.6 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、必要とするOBXに続いてNTEでコメントするか、検査項目IDを接尾辞で修飾することによりOBXを追加する方法がある。コメントの性格が明確になる後者の方法を推奨する。以下にその方法について解説する。

OBXに伴う叙述的報告について

放射線科などの部門から送信される読影レポートは通常、多くの副成分から構成される(たとえば胸部X線レポートは、記述、診断、指導から構成することができる)。心電図などのその他の検査には、そのような類似の成分だけでなく数値検査(左心室拡張期の直径など)も含まれる。外科病理学レポートには、採取部位、概略記述、詳細記述および各検体の仮診断など複数の検体・レポート関連情報を含むことができる。

HL7は、叙述的報告共通成分に使う検査IDを構築するためのコード接尾辞を定義した(図7. 1を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査群ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行OBRの「OBR－4－検査群ID」内のID)に連結することで得られる。たとえば、胸部X線診断用の検査IDは、胸部X線検査ID(CPT4の場合、71020)、副成分区切り文字、それに接尾辞“IMP”から構成される(つまり71020&IMPになる)。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの“検査ID”成分は、先行OBRの検査IDと同じならば、オプションで省略することができるだろう。この場合、結果セグメントのOBX－3－検査項目内には&IMP、&RECなどと記述して、&と接尾辞だけを送信すればよい。

Observation ID suffices　検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression　所見	IMP	CE
Recommendation　指導	REC	CE
Confirming Procedures　処置確認	CNP	CE
Procedure Medication　投薬治療	MED	CE
Anatomic Site　部位	ANT	CE
Device/Instrument　機器/器具	DEV	CE
Serial # Device/Instrument　機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports　テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study　検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description　詳細または2次的記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment　医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note　追加メモ	ADT	TX or FT
Other　その他		
Diagnosis Onset Date/Time　診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time　診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study　比較検査	CMS	CE
Comparison Date/Time　比較日時	CMT	TS
Comparison Results　比較結果	CMR	CE
Comparison Change　比較変化	CMC	CE
Predicted Value　推定値	PRD	ST
Percent Predicted　推定率	PPR	ST
After Drug Observed　投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug　投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug　投薬後推定率	APP	ST
Timing Information　タイミング	TIM	TS
Channel Definition Data　チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CE

叙述的報告の共通成分に使う検査IDを定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 所見(IMP)

接尾辞がIMPの場合結果は診断か所見でありCEデータ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症など、複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別のOBXセグメントで送るべきである。1個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

JAHIS © 2010 All right reserved.

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見をすべて実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CEデータ型の第2成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(たとえば^うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別のOBXセグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞がRECの場合、その値はCE結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表している。たとえば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別のRECで送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認OBX接尾辞は、IMP OBXに報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。たとえば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX－3－検査項目」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査IDの値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞MEDの付いたOBX－3－検査項目は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別のOBX投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードはOBX－3－検査項目の第1成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX－5－検査結果値の第2成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。たとえば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞ANT(OBX－3－検査項目)を持つ個別のOBXセグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加“結果”として転送することができる。この場合、OBX－3－検査項目の接尾辞はDEVである。たとえば、臨床検査室の自動化装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどをCE識別子の第2成分のテキストとして転送すると期待される。

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピュータ側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査やEKG検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含むる必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 2次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では2次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX－3－検査項目の接尾辞にMDTを指定したセグメントで送られるだろう。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)
医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX－3－検査識別子の接尾辞がTCMである結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)
オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date-time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)
プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date-time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)
プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)
診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査IDの接尾辞がCMSであるセグメントを持つOBXセグメント)。他の任意の比較値が転送さていれば、他の比較OBXセグメント内の検査IDによりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date-time 比較日時(CMT)
診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)
診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)
診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(たとえば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)
多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表すAS4コードは94010．1である。推定される最大肺活量は94010．1&PRDになるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)
これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は94010．1&PPRとなるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)
投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本IDにより識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は94010．1&AFDとして特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)
投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010．1&ADPとなるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)
投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される―― 最大肺活量にAS4コードを使用して94010．1&APPとなる。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM属性OBX結果セグメントは、波形チャネルをグループ化する与えられた検査サブIDにおいて、第1のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブIDを備えた事後のWAV属性結果セグメントに先立ち、新しいTIM属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャネル定義データ(CHN)

CHN属性OBX結果セグメントは、ディジタルでサンプリングされた時系列波形のための1つ以上の記録チャネルを定義する。OBX-5－検査値フィールドは補足チャネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形ディジタルデータ(WAV)

WAV属性OBX結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列ディジタルデータ)を送信するためである。WAV属性結果セグメントは、それらの対応チャネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に検査サブIDを介して関係している。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連したWAV属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャネルの数を指定する。すべてのチャネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一のWAV属性結果セグメント中で送信される(ただし検査値フィールドの長さがOBXセグメントの最大定義フィールド長さの65536を超過しなければである)。または多数の連続のWAV属性結果セグメント中で送信される。このときは、おそらく他の種類の点在した結果セグメントとともにである(例えば注釈、すなわちコメントを含んで)。

WAV属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NAデータ型を使用すると、データ値は「チャネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャネルのためのディジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャネルは、反復区切記号を使用して分離される。MAデータ型を使用すると、データ値は「多重化チャネル」の書式で記録される。すなわち、第1時間サンプルの値(すべてのチャネル)が最初に送信される。次に第2時間サンプルの値(すべてのチャネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャネルのディジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャネルがすべて同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO属性OBXセグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO属性結果セグメントは、それらの対応するチャネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に対して、検査サブIDを介して参照される。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連した任意のANO属性結果セグメントに含まれる注釈のチャネルの数を指定する。

ANO属性結果セグメントのデータ型はCEである。連続のチャネルへの注釈コード化入力は、反復区切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にないときである。値については使用者定義テーブル0317を参照。

テーブル 0317 - Annotations

Value	Description
9900	ペーススパイク
9901	SASマーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

JAHIS © 2010 All right reserved.　

5.7 用語・コードの扱いについて

5.7.1 内視鏡検査報告書について（病理部門連携の観点から）

内視鏡検査の中で生検を行った場合、組織診断をして最終判断をする必要がある。そのため病理部門へのオーダ（以下病理オーダと述べる）が発生する。
本規約では、部門間のオーダは直接行わず、HISを介してオーダを発行するという考え方をとる。即ち、EISからHISに対し、病理オーダに必要な情報を含む内視鏡検査報告書を送り（4章の「⑨検査報告書通知」）、HISがその情報を基に、病理オーダを発行する。
報告書の形式としては、6.9.1で述べるように HL7 CDA R2 などの構造化文書を使用することとし、OBXセグメント（OBX-5）に格納する。この場合、報告書データはED型として格納するため、OBX-2 には"ED"を指定する。
OBX-3に格納する報告書タイプ及びコードを以下のテーブルに示す。通常はEP01を使用することとし、実装上の都合等により追加の報告書タイプが必要な場合にEP02も使用することとする。コーディング方式名としては"JSHR"を使用する。

テーブル　－　報告書タイプ

Value	Description
EP01	Endoscopy Report for Pathology Order
EP02	Endoscopy Report

なお、EISから送る病理オーダに必要な情報の例を以下に示す。（これらに限るというわけではない）

- 患者 ID
- 内視鏡検査 ID
- 依頼医師 ID
- 検体瓶 ID
- 検体取得部位情報（名称、コード、スキーマ等）
- 依頼内容（組織診、細胞診等）
- 依頼の説明（病名、依頼理由等）
- 希望回答期日

報告書を記述する用語及びコードは、ローカルで定義することとするが、データ互換性を考慮し、MST／ICD／SNOMED-CT／HOT／JANなどの一般的用語・コードセットを基礎とすることが望ましい。

また、内視鏡検査報告書を送る際に、検査インスタンスUID、受付番号、病理検査オーダの有無についての情報も併せて送ることから、これらの情報の種別をOBX-3に記述する際に必要となるコードを以下に記す。コーディング方式名としては"JSHR"を使用する。

テーブル　－病理検査付帯情報種別

Value	Description
STUID	検査インスタンスUID
ACCNO	受付番号
PATHOODR	病理検査依頼

5.2.7 内視鏡検査実施情報について

内視鏡検査実施報告の規約は6.10章に示されるが、その中で実施情報はZE1及びそれに続くOBXに格納される。この様々な情報の種別をOBX-3に記述する際に必要となるコードを以下に記す。コーディング方式名としては"JSHR"を使用する。
なお、医療従事者の職種と雇用形態は、組み合わせて「正従業員の実施医師」のような表現をする場合があるが、その場合のコードは". "で接続することとする。この例では" DR-02.EM-01"がコードとなる。この場合のコーディング方式名にも"JSHR"を使用する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル　－医療従事者の職種コード

Value	Description
DR-01	依頼医師
DR-02	実施医師
NS-01	看護師
NS-02	付添看護師
TC-02	内視鏡技師

テーブル　－医療従事者の雇用形態

Value	Description
EM-01	正従業員
EM-02	契約従業員
EM-03	臨時従業員

テーブル　－使用物品種別

Value	Description
DE-02	薬品
DE-03	器材
DE-04	材料
DE-06	内視鏡

テーブル　－タイムスタンプ種別

Value	Description
TM-P1	開始時刻
TM-P2	終了時刻
TM-B1	生検実施時刻

テーブル　－コメント種別コード

Value	Description
PF-01	実施加算項目
DC-01	内視鏡依頼
DC-02	他科依頼
DC-03	報告者
DC-04	病理診断
DC-05	検査後指示
MS3-02	部位
MS3-03	内視鏡所見
MS3-04	内視鏡検査理由
MS3-05	内視鏡診断
MS3-06	手技
MS3-07	偶発症
MS3-24	外来所見
MS3-34	臨床病名

また、OBX-5には様々な実施情報が格納されるため、記述するのに適した型を選択するものとするが、用語及びコードをローカルで定義し、それを基に記述することを推奨する。この場合、データ互換性を考慮し、MST／ICD／SNOMED-CT／HOT／JANなどの一般的用語・コードセットを基礎とすることが望ましい。

5.7.3　HL7定義以外のテーブル

当規約においてはHL7の標準定義表および使用者定義表以外の定義表を使用することができる。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

HL7で定義された表以外の表を使用する場合、当該テーブルを規定している規約を明らかにする必要がある。要素として<name of coding system> を有するデータタイプにおいては、ここにテーブルを規定した規約をあらわす略号を設定する。
当規約においては、次の略号を使用するものとする。

MR9P:　MERIT-9 処方オーダVer1.1　で規定されていることを示す。
JSHR:　当工業会で規定したことを示す。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

6. 内視鏡検査依頼・検査結果メッセージ構文

6.1 患者情報照会(QRY/ADR)

患者情報の問合せはQRYメッセージを使用し、応答には患者管理(ADR)応答を使用する。QRY/ADRメッセージは以下のセグメントで構成される。QRFは通常使用しない。

6.1.1 QRY/ADR - 患者の問合せ　イベント（A19）

患者の問合せ(A19)は患者情報の問合せ及び問合せに対する応答を返すイベントである。

QRY/ADR　患者情報照会メッセージ

は未使用セグメント

QRY	Query
MSH	Message Header
QRD	Query Definition
[QRF]	Observ Result/Record Response

ADR	ADT Response
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[ERR]	Error
QRD	Query Definition
{	
PID	Patient Identification
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ AL1 }]	Allergy Information
}	
[DSC]	Continuation Pointer

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- MSAはメッセージに一つ必須である。
- PIDは一連の患者情報の応答に1個必須である。患者情報がまとめて伝送される場合、PIDが患者毎の区切りとなる。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.2 患者情報通知(ADT/ACK)

患者情報の通知には患者管理メッセージ（ADT）を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.2.1 ADT/ACK 患者管理メッセージ イベント (A01、A02、A03、A08、A11、A12、A13、A21、A22、A31,A52、A53)

患者管理メッセージは下記の各イベントで使用する。

イベントA01 入院
イベントA02 転科転棟
イベントA03 退院
イベントA08 患者情報の登録／更新
イベントA21 外出外泊
イベントA22 帰院
イベントA11 入院取消
イベントA12 転科転棟取消
イベントA13 退院取消
イベントA31 個人情報更新
イベントA52 外出外泊取消
イベントA53 帰院取消

A06(外来患者→入院患者)やA07(入院患者→外来患者)は使用せず、上記の入院/退院を用いる。
また、日本の場合、A04(患者登録)は外来の患者受付に相当するため使用しない。
患者情報の登録/更新はA08のみで扱う。

ADT/ACK 患者管理メッセージ

は未使用セグメント

ADT	ADT Message
MSH	Message Header
EVN	Event Type
PID	Patient Identification
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ AL1 }]	Allergy Information

ACK	General Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

6.3 内視鏡検査依頼照会(OSQ/OSR)

内視鏡検査依頼の照会時には、内視鏡検査依頼照会メッセージ(OSQ)を用い、それに対する応答には内視鏡検査依頼照会応答メッセージ(OSR)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1 OSQ/OSR – 内視鏡検査依頼照会　イベント（Q06）

内視鏡検査依頼照会（Q06）は内視鏡検査依頼のオーダ状態の問合せ及び問合せに対する応答を返すイベントである。

OSQ　内視鏡検査依頼照会メッセージ

は未使用セグメント

OSQ	Order Status Query
MSH	Message Header
QRD	Query Definition
[QRF]	Query Filter
[DSC]	Continuation Pointer

OSR　内視鏡検査依頼照会応答メッセージ

は未使用セグメント

OSR	Order Status
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgement
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for ERR)
QRD	Query Definition
[QRF]	Query Filter
[	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for PID)
[PV1	Patinet Visit
[PV2]]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
[	
OBR	Observations Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBR)
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBX)
}]	
]	
}	
]	
[DSC]	Continuation Pointer

注:　[ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

- MSHはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- QRD、QRFは問い合わせメッセージに含まれる同一セグメントをエコーバックする。
- PID以降は、問い合わせの結果が異常であるときは省略される。
- ORCを含む以降のブロックは、問合せ結果に該当するオーダの数だけ繰り返す。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【内視鏡】ではTQ1のみを使用する。優先度に関してはTQ1-9を使用する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

6.4 内視鏡検査依頼(OMG/ORG)

内視鏡検査の依頼時には一般オーダメッセージ(OMG)を用い、それに対する応答には一般オーダ肯定応答メッセージ(ORG)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.4.1 OMG　一般オーダメッセージ(内視鏡検査依頼)　イベント（O19）

一般オーダメッセージ（内視鏡検査依頼）（O19）は内視鏡検査の依頼をするイベントである。

OMG　内視鏡検査依頼メッセージ

は未使用セグメント

OMG	General Clinical Order Message
MSH	Message Header
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)
}]	
}	

注:　[ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- PID～AL1まではHL7では省略可能になっているが、【内視鏡】では1患者の一連のオーダにPIDとPV1が必須とする。
  【内視鏡】基本的に内視鏡検査のアレルギー情報は、患者プロファイルとしてOBXに記載することとする。アレルギー情報は内視鏡検査の禁忌情報として使用されるために、その他の禁忌情報（例えば検体検査結果情報など）とともに、OBXに記載することとする。メッセージの中で禁忌情報が分散しないように考慮したことによる。
- TQ1はHL7の文法上は省略可能になっているが、【内視鏡】では優先順位情報に使用するため必須とする。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.4.2 ORG - 一般オーダ肯定応答メッセージ（内視鏡検査依頼応答）　イベント（O20）

一般オーダ肯定オーダメッセージ(O20)は内視鏡検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORG　内視鏡検査依頼応答メッセージ

は未使用セグメント

ORG	General Clinical Order Acknowledgment Message
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
[	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
[OBR]	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)
}	
]	

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.5 内視鏡検査通知 (OMI/ORI)

内視鏡部門内のシステム間で検査情報・プロシージャ情報を通知するにはイメージングオーダメッセージ(OMI)を用い、それに対する応答にはイメージングオーダ肯定応答メッセージ(ORI)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.5.1 OMI　イメージングオーダメッセージ(内視鏡検査通知)　イベント（O23）

イメージングオーダメッセージ（内視鏡検査依頼）（O23）は内視鏡検査・プロシージャ情報の通知を行うイベントである。

OMI　内視鏡検査通知メッセージ

は未使用セグメント

OMI	Imaging Order Message
MSH	Message Header
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)
}]	
{ IPC }	Imaging Procedure Control
}	

注:　[ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- PID～AL1まではHL7では省略可能になっているが、【内視鏡】では1患者の一連のオーダにPIDとPV1が必須とする。
  【内視鏡】基本的に内視鏡検査のアレルギー情報は、患者プロファイルとしてOBXに記載することとする。アレルギー情報は内視鏡検査の禁忌情報として使用されるために、その他の禁忌情報（例えば検体検査結果情報など）とともに、OBXに記載することとする。メッセージの中で禁忌情報が分散しないように考慮したことによる。
- TQ1はHL7の文法上は省略可能になっているが、【内視鏡】では優先順位情報に使用するため必須とする。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

6.5.2 ORI – イメージングオーダ肯定応答メッセージ（内視鏡検査通知応答）イベント（O24）

イメージングオーダ肯定応答メッセージ(O24)は内視鏡検査通知に対する応答をするイベントである。

ORI　内視鏡検査通知応答メッセージ

は未使用セグメント

ORI	Imaging Order Response Message
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
[	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)
{ IPC }	Imaging Procedure Control
}	
]	

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.6 内視鏡検査結果照会(QRY/ORF)

検査結果照会時には問合せメッセージ(QRY)を用い、応答は内視鏡検査結果メッセージ（ORF）を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.6.1 QRY/ORF – 内視鏡検査結果の照会　イベント（R02，R04）

内視鏡検査結果照会（R02）で内視鏡検査結果の照会をし、内視鏡検査結果（R04）は問合せ結果を返すイベントである。

QRY/ORF　内視鏡検査結果照会メッセージ

は未使用セグメント

QRY	Query
MSH	Message Header
QRD	Query Definition
QRF	Query Filter

ORF	Observational Report
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
QRD	Query Definition
[QRF]	Query Filter
{ [PID	Patient ID
[{ NTE }]]	Notes and Comments (for Patient ID)
{	
[ORC]	Order Common
OBR	Observation request
[{ NTE }]	Notes and comments (for OBR)
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
{	
[OBX]	Observation／Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBX)
}	
{ [CTI] }	Clinical Trial Identification
}	
}	
[{ ERR }]	Error
[DSC]	Continuation Pointer

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- CTIは本規約書では扱っていない。 HL7チャプター7を参照。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【内視鏡】ではTQ1のみを使用する。優先度に関してはTQ1-9を使用する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

照会使用上の注意事項

QRD および QRF セグメントに含まれる主題フィルタは、照会システムと付随的なシステムの間のローカル契約によって定義される。

さまざまなセグメント（PID を含んで）中のセット・ID・フィールドは、階層の 1 つのレベルに送信された 1 つの種類のセグメント数を数えるために使用される。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.7 患者到着通知 (ORU/ACK)

患者到着通知時には検査結果メッセージ(ORU)を用いる。イベントタイプは、‘R01’である。

6.7.1 患者到着通知

患者到着通知時には検査結果メッセージ(ORU)を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

ORU/ACK - 検査結果メッセージイベント（R01）

検査結果メッセージイベント(R01)は患者の到着を通知するイベントである。

は未使用セグメント

ORU	Observational Results
MSH	Message Header
{	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments(for PID)
[PV1]	Patient Visit
{	
[ORC]	Order Common
OBR	Observations Request
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBR)
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBX)
}]	
}	
}	
[DSC]	Continuation Pointer

ACK	Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHは到着確認の出力単位に先頭に一つ必要である。
- PIDは少なくとも1個必須である。
- 基本的にひとつの検査依頼に対して、ひとつの到着確認のメッセージが送信される。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【内視鏡】ではTQ1のみを使用する。優先度に関してはTQ1-9を使用する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.8 検査報告書状態通知(MDM/ACK)

内視鏡検査報告書の状態を通知するには報告書通知メッセージ(MDM)を用いる。イベントタイプは、‘T01’である。

6.8.1 検査報告書状態通知

検査報告書状態通知時には報告書通知メッセージ(MDM)用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

MDM/ACK – 報告書通知メッセージイベント（T01）

報告書通知メッセージイベント(T01)は内視鏡検査報告書状態を通知するイベントである。

は未使用セグメント

MDM	Original Document Notification
MSH	Message Header
PID	Patient Identification
PV1	Patient Visit
[{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)
}]	
TXA	Document Notification

ACK	Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHは到着確認の出力単位に先頭に一つ必要である。
- PID、PV1は必須である。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.9 検査報告書通知(MDM/ACK)

内視鏡検査報告書を通知するには報告書通知メッセージ(MDM)を用いる。イベントタイプは、‘T02’である。

6.9.1 検査報告書通知

検査報告書状態通知時には報告書通知メッセージ(MDM)用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

MDM/ACK – 報告書通知メッセージイベント（T02）

報告書通知メッセージイベント(T02)は内視鏡検査報告書を通知するイベントである。

は未使用セグメント

MDM	Original Document Notification
MSH	Message Header
PID	Patient Identification
PV1	Patient Visit
[{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))
}]	
TXA	Document Notification
{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)
}	

ACK	Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHは到着確認の出力単位に先頭に一つ必要である。
- PID、PV1は必須である。
- 構造化文書ファイルを格納するOBXが必須である。

JAHIS © 2010 All right reserved.

6.10 内視鏡検査実施報告 (OMI/ORI)

わが国の電子カルテシステムへの対応を考慮し、実施情報を報告するメッセージにもOMI/ORIメッセージを採用した。今後のWADOの実装を考慮すると、Order Placer側に対する検査インスタンスUIDなどの通知が予想されるため、IPCセグメントを含むOMI/ORIメッセージが適当であると判断した。
各社のオーダエントリシステムのインタフェース仕様書より実施情報に必要な項目について洗い出しを行ったところ、手技と、その実施にあたっての薬品、器材、材料、加算項目、実施者（内視鏡技師、医師、看護師）などの項目が挙げられた。また、検査オーダに対して、複数の手技が実施情報として発生することが想定され、これらの情報を構造的に通知するには、HL7標準のセグメント構成だけでは難しいと考えた。このため、専用のセグメントとして、ZE1セグメントを新たに定義し、OBXセグメントと組み合わせて実施情報を構造化した。

6.10.1 OMI イメージングオーダメッセージ(内視鏡検査通知) イベント（Z23）

OMI 内視鏡検査実施報告メッセージ

は未使用セグメント

OMI	Imageing Order Message
MSH	Message Header
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)
}]	
[{	
ZE1	Performed Data Segment
[{ OBX }]	Observation/Result
[{ ZE2 }]	Radiation Dose Segment
}]	
{ IPC }	Imaging Procedure Control
}	

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- PID～AL1まではHL7では省略可能になっているが、【内視鏡】では1患者の一連のオーダにPIDとPV1が必須とする。
- ZE1は手技を格納し、実施者や薬品、器材等は関連するOBXに格納する。オーダに付属するOBXには患者プロファイル等を、実施情報に付属するOBXには薬品や器材等を格納し使い分ける。

【内視鏡】基本的に内視鏡検査のアレルギー情報は、患者プロファイルとしてOBXに記載することとする。
アレルギー情報は内視鏡検査の禁忌情報として使用されるために、その他の禁忌情報（例えば検体検査結

JAHIS © 2010 All right reserved.

果情報など）とともに、OBXに記載することとする。メッセージの中で禁忌情報が分散しないように考慮したことによる。

- TQ1はHL7の文法上は省略可能になっているが、【内視鏡】では優先順位情報に使用するため必須とする。

6.10.2 ORI – イメージングオーダ肯定応答メッセージ（内視鏡検査通知応答）イベント（O24）

ORI 内視鏡検査実施報告応答メッセージ

は未使用セグメント

ORI	Imaging Order Response Message
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
[	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))
{ IPC }	Imaging Procedure Control
}	
]	

注: [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7. 関連セグメント詳細

7.1 MSH - Message Header Segmentメッセージヘッダセグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

MSH属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator　フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters　コード化文字	
3	227	HD	O	O		00003	Sending Application　送信アプリケーション	
4	227	HD	O	O		00004	Sending Facility　送信施設	
5	227	HD	O	O		00005	Receiving Application　受信アプリケーション	
6	227	HD	O	O		00006	Receiving Facility　受信施設	
7	26	TS	R	R		00007	Date/Time Of Message　メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O		00008	Security　セキュリティ	
9	15	MSG	R	R		00009	Message Type　メッセージ型	
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID　メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID　処理ID	
12	60	VID	R	R		00012	Version ID　バージョンID	
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number　シーケンス番号	
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer　継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type　受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type　アプリ肯定応答型	
17	3	ID	O	N		00017	Country Code　国コード	
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set　文字セット	
19	250	CE	O	O		00693	Principal Language of Message　主要言語	
20	20	ID	O	O		01317	Alternate Character Set Handling Scheme　文字セット操作法	
21	427	EI	O	O		01598	Message Profile Identifier　メッセージプロファイル識別子	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSH フィールド定義

MSH-1　Field Separator フィールド区切文字 (ST)　00001

定義: セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。
推奨値は｜ (ASCII 124)である。

MSH-2　Encoding Characters コード化文字 (ST)　00002

定義: 次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~\& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切文字の解説を参照。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

MSH-3　Sending Application 送信アプリケーション (HD)　 00003

成分:　<ネームスペースID (IS)> ^ <普遍的ID (ST)> ^ <普遍的ID型(ID)>

定義:このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが送信アプリケーションを一意的に識別する。ネットワーク全体は、企業内の HL7 メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト定義である。ユーザ定義表 0361-アプリケーションは、第1成分に対する値のユーザ定義表として使用される。

ユーザ定義表 0361 –アプリケーション

値	説明	コメント
	推奨値なし	

注:　サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表0300 – ネームスペースID を引き続き使うことが出来る

MSH-4　Sending Facility 送信施設 (HD)　 00004

成分:　<ネームスペースID (IS)> ^ <普遍的ID (ST)> ^ <普遍的ID型(ID)>

定義:　このフィールドは、送信アプリケーション、MSH-3-送信アプリケーションをさらに詳細に記述する。HD データ型への拡張により、この利用法は送信機能だけでなく、次のような他の組織エンティティが含まれるまで広げられた。a)送信アプリケーションに責任のある組織エンティティ、b)責任のあるユニット、c)製品やベンダの識別子、等。完全にサイト定義である。ユーザ定義表 0362-施設は、第1成分に対する値のユーザ定義表のための HL7 識別子として使用される。

ユーザ定義表 0362 –施設

値	説明	コメント
	推奨値なし	

注:　サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表0300 – ネームスペースID を引き続き使うことが出来る.

MSH-5　Receiving Application 受信アプリケーション (HD)　 00005

成分:　<ネームスペースID (IS)> ^ <普遍的ID (ST)> ^ <普遍的ID型(ID)>

定義:このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが受信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、HL7メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト定義である。ユーザ定義表0361-アプリケーションは、第1成分に対する値のユーザ定義表のためのHL7識別子として使用される。

注:サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表0300 –ネームスペースID を引き続き使うことが出来る

MSH-6　Receiving Facility 受信施設 (HD)　 00006

成分:　<ネームスペースID (IS)> ^ <普遍的ID (ST)> ^ <普遍的ID型(ID)>

定義: このフィールドは、異なる組織で動作しているアプリケーションの、多数の同一インスタンスの中で、どれが受信アプリケーションかを識別する。ユーザ定義表0362-施設は、第1成分に対する値のユーザ定義表のためのHL7識別子として使用される。完全にサイト定義である。

注:使用場所での合意により、 実施者はユーザ定義表0300-ネームスペースIDを第一成分として使いつづけてもよい。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH-7　Date/time Of Message メッセージ日時 (TS)　00007

定義: 送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

MSH-8　Security セキュリティ (ST)　00008

定義: セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

MSH-9　Message Type メッセージ型 (MSG)　00009

Components: <message code (ID)> ^ <trigger event (ID)> ^ < message structure (ID)>

定義: 第1成分は、HL7テーブル0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7テーブル0003 - イベント型コードにリストされているトリガーイベントコードである。第3成分は、HL7テーブル0354 – メッセージ構造型にリストされているメッセージ構造である。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

テーブル 0076 - Message type メッセージ型 (検査依頼結果関連のみ掲載)

Value	Description
ACK	General acknowledgment message　一般肯定応答
ADR	ADT response　患者管理(ADT)応答
ADT	ADT message　患者管理(ADT)メッセージ
ORF	Observation Result/Record Response　検査結果／診療記録応答
OMG	Order message オーダメッセージ
ORG	Order acknowledgment message　オーダ肯定応答メッセージ
OMI	Imaging order message　イメージングオーダメッセージ
ORI	Imaging order respoinse message　イメージングオーダ肯定応答メッセージ
MDM	Original document modification　報告書通知メッセージ
ORU	Observ result/unsolicited 検査結果
OSQ	Order status query　オーダ状況問合せ
OSR	Order status response　オーダ状況応答
QRY	Query, original Mode　問合せ

テーブル 0003　Event typeイベント型 (検査依頼結果関連のみ掲載)

Value	Description
A01	ADT/ACK - Admit a patient　患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院の通知
A02	ADT/ACK - Transfer a patient　患者管理(ADT)/ACK - 患者を転送する
A03	ADT/ACK - Discharge　退院
A08	ADT/ACK - Update patient information　患者管理(ADT)/ACK - 患者情報の更新
A11	ADT/ACK - Cancel admit　患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院通知を取り消す
A12	ADT/ACK - Cancel transfer　患者管理(ADT)/ACK - 転院の取り消し
A13	ADT/ACK – Cancel discharge　退院取消
A19	QRY/ADR - Patient query　患者の問合せ
A21	ADT/ACK – Patient goes on a leave of absence　外出外泊
A22	ADT/ACK – Patint return from a leave of absence　帰院
A52	ADT/ACK – Cancel leave of absence for a patient　外出外泊取消
A53	ADT/ACK – Cancel patient returns from a leave of absence　帰院取消
O19	OMG – Order Message　一般オーダメッセージ
O20	ORG – Order Response Message　一般オーダメッセージOMGに対する応答
O23	OMI －Imaging Order Message　イメージングオーダメッセージ
O24	ORI －Imaging Order Response Message　イメージングオーダメッセージOMIIに対する応答
T01	MDM/ACK －Document Notification　報告書通知メッセージ
T02	MDM/ACK －Document Notification & Content　報告書通知メッセージ
Q06	OSQ/OSR - Query for order status　検査依頼の照会
R01	ORU – Unsolicited transmission of an observation　検査結果転送
R02	QRY – Query for results of observation　検査結果の照会
R04	ORF – Response to query; transmission of requested observation　検査結果の照会応答

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル 0354　Message Structure　メッセージ構造型 (検査依頼結果関連のみ掲載)

Value	Description	Comment
ACK	Varies	
ADR_A19	A19	
ADT_A01	A01, A04, A08, A13	
ADT_A02	A02	
ADT_A03	A03	
ADT_A09	A09, A10, A11, A12	
ADT_A21	A21, A22, A23, A25, A26, A27, A29, A32, A33	
ADT_A52	A52, A53, A55	
MDM_T01	T01, T03, T05, T07, T09, T11	
MDM_T02	T02, T04, T06, T08, T10	
OMG_O19	O19	
OMI_O23	O23	
ORG_O20	O20	
ORI_O24	O24	
ORU_R01	R01	
OSQ_Q06	Q06	
OSR_Q06	Q06	
QRY_A19	A19	

MSH-10　Message control ID メッセージ制御ID (ST)　00010

定義: メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。受信システムは、メッセージ肯定応答セグメント(MSA)で送信システムへこのIDをエコーバックする。

MSH-11　Processing ID 処理ID (PT)　00011

Components:　<processing ID (ID)> ^<processing mode (ID)>

定義: メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

テーブル 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

テーブル 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからの復元
I	Initial load 初期ロード
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される（計画的又は要求に応じて）
not present	Not present (the default, meaning *current*　processing) 存在しない（デフォルト、すなわち現在の処理）

MSH-12　Version ID バージョンID (VID)　00012

定義: 受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description	
2.0	Release 2.0	September 1988
2.0D	Demo 2.0	October 1988
2.1	Release 2.1	March 1990
2.2	Release 2.2	December 1994
2.3	Release 2.3	March 1997
2.3.1	Release 2.3.1	May 1999
2.4	Release 2.4	November 2000
2.5	Release 2.5	May 2003

MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013

定義: 値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014

定義: アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。
施設にて定義(但し、推奨しない)。

MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義: このメッセージに応答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7テーブル0155に示す。

MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義: このメッセージに応答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7テーブル0155に示す。

テーブル 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ
注記： MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。	

MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017

定義: メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。
通常、本フィールドは使用しない。

MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692

定義: メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをHL7テーブル0211に示す。

テーブル 0211 - Character sets 文字セット

Value	Description	comment
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set .	（このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである）
8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set	
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set	
8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set	
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set	
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set	

JAHIS © 2010 All right reserved.

8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set	
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set	
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set	
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set	
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち ″ISO IR14″
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち ″ISO IR87″ 日本ではJIS X 0208はエスケープシークエンスを必要としており、エスケープ技術はISO2022である。標準ASCIIでは、エスケープシークエンス”escape”$B(16進数、1B 24 42)は以下のバイトは2バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCIIへのもどるには1B 28 42である。
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち ″ISO IR159″
注: 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。		

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。 (例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第二第三成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。
半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CE) 00693

定義: メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317

定義: 文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

MSH-21 メッセージプロファイル識別子 (ED) 01598

定義:サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。

このフィールドはの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。
V2.5 において、HL7メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われているかもしれない。
V2.5 より以前、このフィールドは適合文書 ID と呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは適合文書 ID を使うことができる

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.2 NTE - Notes and Comments Segment　注釈コメントセグメント

注釈とコメントを送るためのメッセージに共通のフォーマットである。
他のメッセージやセグメントで表現可能な事項をNTEセグメントで代用してはならない。受信アプリケーションではNTEセグメントの内容を表示や印刷する以外のシステム的取り扱いはされない事を前提とする。

NTE属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#		ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O			00096	Set ID - NTE セットID-NTE	
2	8	ID	O	O			00097	Source of Comment コメント発生源	
3	65536	FT	O	O	Y		00098	Comment コメント	
4	250	CE	O	O			01318	Comment Typeコメントタイプ	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

NTE フィールド定義

NTE-1　Set ID - NTE セットID-NTE (SI)　00096

定義: ひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーション・メッセージの定義に記述されなければならない。

NTE-2　Source Of Comment コメント発生源 (ID)　00097

定義: コメントの発生源を明示する。これは導入の際にサイトで拡張される可能性がある。

テーブル 0105 – Source Of Comment コメント発生源

Value	Description
L	Ancillary (filler) department is source of comment　実施者がコメント発生源である
P	Orderer (placer) is source of comment　依頼者がコメント発生源である
O	Other system is source of comment　他のシステムがコメント発生源である

NTE-3　Comment コメント (FT)　00098

定義: 先行するセグメントに従属するコメント。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

NTE-4　Comment type (CE)　01318

Components:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:このフィールドは送信されるコメントのIDを示す。

参照　テーブル　0364 - Comment type

テーブル　0364 - Comment type

Value	Description
PI	Patient Instructions 患者指示
AI	Ancillary Instructions 追加指示
GI	General Instructions 一般的指示
1R	Primary Reason 一次理由
2R	Secondary Reason 二次理由
GR	General Reason 一般的理由
RE	Remark　備考
DR	Duplicate/Interaction Reason 重複/指示理由

JAHIS © 2010 All right reserved.　

7.3 PID - Patient Identification Segment　患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

PID属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID　セットID－患者ID	
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID　患者ID	
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient Identifier List　患者IDリスト	
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	250	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	250	XPN	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	250	XPN	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	250	CE	O	N	Y	00113	Race 人種	
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード	
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号－自宅	
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	250	CE	O	N		00118	Primary Language 言語－患者	
16	250	CE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	250	CE	O	N		00120	Religion 宗教	O
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	N
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	250	CX	O	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子	N
22	250	CE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ	N
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	N
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	N
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	N
26	250	CE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	N
27	250	CE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	N
28	250	CE	B	B		00739	Nationality 国籍	N
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time　患者死亡日時	N
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator　患者死亡識別	N
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator　身元不明識別	N
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliabillty　Code　身元信頼度	N
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time　最終更新日	N
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility　最終更新施設	N
35	250	CE	C	N		01539	Species Code　種	
36	250	CE	C	N		01540	Breed Code　品種	
37	80	ST	O	N		01541	Strain　血統	
38	250	CE	O	N	2	01542	Production Class Code　製品クラスコード	
39	250	CWE	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship　所属種族	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

PID フィールド定義

PID-1　Set ID - Patient ID セットID－患者ID (SI)　00104

定義：セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

PID-2　Patient ID　患者ID　(CX)　00105

定義：**このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。**独断的であった用語「外部ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。「PID-3患者IDリスト」における発行機関、保健機関、識別区分コードなどの繰り返しは特長ある識別情報を示すために許されている。このフィールドはシステムにおいては「外部」として取り決められた解釈として残されている。PID-3患者IDリストはすべての患者識別情報として使われることを推奨されている。

過去との互換性を持つことが必要な時、患者が外部の施設、事務所他来た時には、このフィールドは値を持たなければならない。そして、このフィールドでその移動元の施設で使用していた識別子が示されなければならない。この識別子は異なる施設で使用されるものであるかもしれないし、医療機関で共用しているものかもしれない。HL7表0061チェックデジットスキーマを参照のこと。

PID-3　Patient Identifier List　患者IDリスト　(CX)　00106

定義：患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者IDを設定。

Components：<ID (ST)> ^ <check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者 (HD))> ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ < assigning facility割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date満了日付 (DT)>

本規約では以下の形式で利用する。

成分：<患者ID>^^^^PI

患者IDが繰り返された場合は、1件目を患者IDとして解釈する。

PID-4　Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (ST)　00107

定義：**このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。**すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。このフィールドはまた複数の患者IDを運ぶことに使うこともできる。その中には来院番号、来院日、社会保険番号も含む。

PID-5　Patient Name 患者氏名 (XPN)　00108

Components：<family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <name type code名前タイプ (ID) > ^ <name representation code名前表示(ID)>

本規約では以下の形式で利用する。

成分：<姓>^<名>^^^^^L^<名前表示コード>

複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少なくとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

テーブル 0200 - Name Type 名前タイプコード

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

JAHIS © 2010 All right reserved.　

テーブル 0465 – Name Representation Code 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII,仮名)

定義:患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18にASCII~ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^^L^A~山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。
患者の名札やフィルムのラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109

定義:母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 00110

定義:患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。

PID-8 Sex 性別 (IS) 00111

定義:患者の性別。 使用者定義テーブル0001－性別を推奨する。

テーブル 0001 Sex – 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112

通常、本フィールドは使用しない。

PID-10 Race 人種 (CE) 00113

定義:患者の同意を得て使用することができる。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>
Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
Subcomponents for Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
Subcomponents for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)

定義:患者の現住所。
最初のエレメントは、
<Street Address (SAD)>
であり、これはさらに
<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)>& <Dwelling Num-ber (ST)>

JAHIS © 2010 All right reserved.

に分解される。
そこで、日本の場合は、
　虎ノ門1－19－9^^港区^東京都^105-0001^^H
のように記述する。

なお、住所を（都道府県や市町村などに）分離して管理していない場合
もあるので、最初のエレメントだけを用いて、
東京都港区虎ノ門1－19－9^^^^105-0001^^H
のように記述しても構わない。

PID-12　County Code 郡コード (IS)　00115
定義：患者の郡コード。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-13　Phone Number - Home 電話番号－自宅 (XTN)　00116
Components:　<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>
定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われると思われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、
　03-3506-8010^PRN^PH
と扱うこととする。
（V2.4までは余計な表現をしていたが、V2.5で修正された）

PID-14　Phone Number - Business 電話番号－勤務先 (XTN)　00117
Components:　<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>
定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値については HL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、
　03-3506-8010^PRN^PH
と扱うこととする。
（V2.4までは余計な表現をしていたが、V2.5で修正された）

PID-15　Primary Language 言語－患者 (CE)　00118
定義：患者の主要な言語。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-16　Marital Status 婚姻状況 (CE)　00119
Components:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
本規約では以下の形式で利用する。
　成分：<ID>^<テキスト>

定義：患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義テーブル0002－婚姻状況を推奨する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

テーブル 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別
C	Common Law
G	Living together
P	Domestic partner
R	Registered domestic partner
E	Legally Separated
N	Annulled
I	Interlocutory
B	Unmarried
U	Unknown
O	Other
T	Unreported

PID-17 Religion 宗教 (CE) 00120
通常、本フィールドは使用しない。

PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121
定義:料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN Number - Patient SSN番号－患者 (ST) 00122
定義:患者の社会保障番号。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123
定義:患者の運転免許証番号。通常、本フィールドは使用しない。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124
定義:例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

PID-22 Ethnic Group 人種のグループ (CE) 00125
定義:患者の民族的起源を定義する。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-23 Birth Place 誕生場所 (ST) 00126
定義:患者の誕生の場所を示す。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-24 Multiple Birth Indicator多胎児誕生標識 (ID) 00127
定義:患者が多胎児の一人であったかどうか示す。Y/Nインジケータを使用。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128
定義:患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。
通常、本フィールドは使用しない。

PID-26 Citizenship 市民権 (CE) 00129
定義:患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義テーブル0171(HL7-3章)－国コード又はISO3166を参照すること。通常、本フィールドは使用しない。

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人の状況 (CE) 00130
通常は本フィールドを使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.

PID-28　Nationality 国籍 (CE)　00739

定義:V2.4以降から、このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。PID-10 人種、PID-22民族、PID-26市民権を参照することを推奨する。患者の属する国籍や国グループを示す。

PID-29　Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS)　00740

定義:患者死亡日時、臨床研究や管理用。

PID-30　Patient Death Indicator 患者死亡識別 (ID)　00741

定義:患者が死亡したか否かY/Nで表現。

Y　患者は死亡している

N　患者は死亡していない

PID-31　Identity unknown indicator　身元不明識別 (ID)　01535

定義:このフィールドは患者確認が行われているかどうかを示す。

参照　HL7 表 0136 - Yes/no indicator

Y　身元不明

N　身元確認済み

PID-32　Identity reliability code　識別情報の信頼性 (IS)　01536

定義:このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者データのPIDの誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。

参照　使用者定義テーブル 0445 - Identity Reliability Code

テーブル0445 - Identity Reliability Code

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address　住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias　患者名不明

PID-33　Last update date/time　最終更新日付　(TS)　01537

定義:このフィールドでは PID セグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム(例えばエンタープライズマスタ患者インデックス)が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

PID-34　Last update facility　最終更新施設 (HD)　01538

定義:患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし, 受信したサイトはそのデータが信頼性の高い物であるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

PID-35　Species code　種 (CE)　01539

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。SNOMED を推奨する。もしこのフィールドの値が無い場合は人間が対象である。推奨値については使用者定義表 0446 種コードを参照のこと。

通常、本フィールドは使用しない。

参照　使用者定義テーブル 0446 - Species Code

JAHIS © 2010 All right reserved.　

テーブル0446 - Species Code

Value	Description
	No suggested values defined　推奨値はない

条件付規則:もし PID-36 品種コードまたは PID-38 製品クラスコードが値を持つ時は、このフィールドも値を持つ必要がある。

例：...|L-80700^Canine, NOS^SNM3|...
...|L-80100^Bovine^SNM3|...
...|L-80A00^Feline^SNM3|...

PID-36　Breed code 品種　(CE)　01540

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:特定の動物の繁殖。このフィールドは種や血統と異なり動物に対して特有で、一般の生物には使うことができない。SNOMED が推奨されるコーディングシステムである。推奨値については使用者定義表 0447 品種コードを参照のこと。

通常、本フィールドは使用しない。

テーブル0447 - Breed Code

Value	Description
	No suggested values defined　推奨値はない

条件付規則:PID-37 血統が値を持つ時は、このフィールドは値を持たなくてはならない。

例：例えば動物飼育協会で使われている
...|L-80733^ Staffordshire bull terrier^SNM3^^American Staffordshire Terrier^99AKC|...
...|L-80900^Weimaraner^SNM3|...
...|L-80439^Peruvian Paso Horse^SNM3|...

PID-37　Strain　血統 (ST)　01541

定義:このフィールドは動物の血統情報を示す。このフィールドはどのような生物の血統情報にも、また動物以外にも拡張することができる。

通常、本フィールドは使用しない。

例：...|DeKalb|...
...|Balb/c|...
...|DXL|...

PID-38　Production class code 製品クラスコード　(CE)　01542

Components:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:このフィールドはその生物が主に繁殖されたものか、成長したものかを示すコードと／もしくはテキストである。推奨値については使用者定義表 0429 製品分類コードを参照のこと。

通常、本フィールドは使用しない。

参照　テーブル 0429 - Production class Code

例：...|DA^Dairy^L|...
...|MT^Meat^L|...
...|RA^Racing^L|...

テーブル0429 - Production class Code

Value	Description
BR	Breeding/genetic stock　飼育/自然保存
DA	Dairy　酪農

JAHIS © 2010 All right reserved.　

Value	Description
DR	Draft　生
DU	Dual Purpose　多目的
LY	Layer, Includes Multiplier flocks　層、多群
MT	Meat　肉
OT	Other　その他
PL	Pleasure　蓄え
RA	Racing　競争
SH	Show　ショウ
NA	Not Applicable　非適用
U	Unknown　不明

PID-39　Tribal Citizenship　所属種族　(CWE)　01840

このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。もし個別に定義する場合は、使用者定義表0171市民権を使わなければならない。個人が複数の種族に属したことがある場合、このフィールドは繰り返す。CWEデータ型のコードシステム名は種族が書かれた表によって識別される。

通常、本フィールドは使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.4 PV1 - Patient Visit Segment　来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

PV1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	N		00131	Set ID - Patient Visit セットIDー来院	
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class 患者クラス	
3	80	PL	O	O		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所	C
4	2	IS	O	O		00134	Admission Type 入院タイプ	
5	250	CX	O	N		00135	Preadmit Number 仮入院番号	
6	80	PL	O	N		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	250	XCN	O	O	Y	00137	Attending Doctor 主治医	
8	250	XCN	O	O	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師	
9	250	XCN	O	O	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	3	IS	O	N		00140	Hospital Service 病院サービス	C
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location 一時的な所在	
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	2	IS	O	N		00143	Readmission Indicator 再入院標識	
14	6	IS	O	N		00144	Admit Source入院元	
15	2	IS	O	O	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況	
16	2	IS	O	O		00146	VIP Indicator VIP標識	N
17	250	XCN	O	N	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師	N
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type 患者タイプ	
19	250	CX	O	N		00149	Visit Number 来院番号	
20	50	FC	O	N	Y	00150	Financial Class 財務クラス	
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code 優待コード	
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating 信用格付け	
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code 契約コード	
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日	
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount 契約金額	
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period 契約期間	
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code 利息コード	
29	4	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amoun 不良負債回収額t	
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date 会計削除日付	
36	3	IS	O	N		00166	Discharge Disposition 退院処置	
37	47	DLD	O	N		00167	Discharged to Location 退院先	
38	250	CE	O	N		00168	Diet Type 給食タイプ	
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility サービス施設	
40	1	IS	O	N		00170	Bed Status ベッド状況	
41	2	IS	O	N		00171	Account Status 会計状況	
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location 保留所在	
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	26	TS	O	O		00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges 合計金額	
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments 合計調整金額	
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments 合計支払金額	
50	250	CX	O	N		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator　来院識別	
52	250	XCN	O	N	Y	01224	Other Healthcare Provider　他のヘルスケア供給者	

Optionality

R - required
O - optional
C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
X - not used with this trigger event

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）

R - required
O - optional
C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
X - not used with this trigger event
B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
N - not used usually. use only on the site

Repetition

N - no repetition
Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PV1 フィールド定義

PV1-1 Set ID - Patient Visit セットID－来院 (SI) 00131

定義:トランザクションを一意的に識別する番号。

PV1-2 Patient Class 患者クラス (IS) 00132

定義:サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

テーブル 0004 - Patient class 患者クラス

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Checkup 人間ドック

注：「I」「O」以外を使用する場合は両者間にて調整の上、用いる。

PV1-3 Assigned Patient Location 患者所在場所 (PL) 00133

Components:<point of care 病棟・診療科・診察室など (IS)> ^ <room 病室 (IS)> ^ <bed 病床 (IS)> ^ <facility 施設 (HD)> ^ < location status 状態 (IS)> ^ <person location type 区分 (IS)> ^ <building 建物 (IS)> ^ <floor 階 (IS)> ^ <location description 詳細 (ST)>

定義:病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割り当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールド表現する。

注:PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

患者所在場所のデータ型はPL型なので、
入院の場合、
<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N
外来の場合
<科コード>^^^^^C
と設定することにし、person location type の指定を必須とした。person location type には、
C:診療科、D:部門、N:病棟を設定する。
入院患者の場合、日本では診療科と病棟のいずれも重要な情報のため、両者を格納したかったが、PL型の使用方法として、HL7原文の定義に忠実に従うこととした。なお、診療科は入外共にPV1-10やORC-17で表現する。ORC-17は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。これまで患者所在（場所）と診療科が混在して用いられてきたが、明確に区別する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

PV1-4　Admission Type 入院タイプ (IS)　00134

定義:患者が入院していたか入院予定の状況を示す。

テーブル 0007 - Admission type 入院タイプ

Value	Description
A	Accident　事故
E	Emergency　救急
L	Labor and Delivery　陣痛および出産
R	Routine　通常
N	Newborn (Birth in healthcare facility) 新生児（院内で誕生）
U	Urgent　緊急
C	Elective　選択

PV1-5　Pre-admit Number 仮入院番号 (CX)　00135

定義:患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。

PV1-6　Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL)　00136

定義:新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。

PV1-7　Attending Doctor 主治医 (XCN)　00137

定義:このフィールドでは主治医の情報を示す。同じ医師に対して名前とIDを複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の主治医を示すことには使われない。繰り返しの最初には、法的な名前を送らなければならない。法的な名前を送らない場合は、反復セパレータを最初に送らなければならない。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

PV1-8　Referring Doctor 紹介医師 (XCN)　00138

定義:このフィールドでは紹介医師の情報を示す。同じ医師に対して名前とIDを複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の紹介医師を示すことには使われない。繰り返しの最初には、法的な名前を送らなければならない。法的な名前を送らない場合は、反復セパレータを最初に送らなければならない。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

PV1-9　Consulting Doctor コンサルティング医師 (XCN)　00139

定義:このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。換わりにROLセグメントでコンサルティング医師を示すことを推奨する。このふぃーるどの繰り返しは複数のコンサルティング医師を示すことに用いられる。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

PV1-10　Hospital Service 病院サービス (IS)　00140

定義:日本では、診療科コードと扱う。

PV1-11　Temporary Location 一時的な所在 (PL)　00141

定義:割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。.

PV1-12　Pre-admit Test Indicator 仮入院検査標識 (IS)　00142

定義:患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。

PV1-13　Re-admission Indicator 再入院標識 (IS)　00143

定義:患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。

PV1-14　Admit Source 入院元 (IS)　00144

定義:患者がどこに入院していたかを示す。

PV1-15　Ambulatory Status 外来の状況 (IS)　00145

定義:提案値としてテーブル0009-外来状況を参照すること。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル 0009 - Ambulatory Status 外来状況

Value	Description
A0	No functional limitations　機能制限なし
A1	Ambulates with assistive device　補助機器を使用して来院
A2	Wheelchair/stretcher bound　車椅子/担架を使用して来院
A3	Comatose; non-responsive　意識不明；反応なし
A4	Disoriented　方向感覚なし
A5	Vision impaired　視力障害あり
A6	Hearing impaired　聴力障害あり
A7	Speech impaired　言語障害あり
A8	Non-English speaking　英語以外を話す
A9	Functional level unknown　機能のレベル未知
B1	Oxygen Therapy　酸素治療
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters)　特別の装置(チューブ、IV、カテーテル)
B3	Amputee　手足の切断手術を受けた人
B4	Mastectomy　乳房切除術
B5	Paraplegic　対麻痺
B6	Pregnant　妊婦

PV1-16　VIP Indicator VIP標識 (IS)　00146
定義:VIPのタイプを識別する使用者定義コード。

PV1-17　Admitting Doctor 入院時医師 (XCN)　00147
定義:入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。

PV1-18　Patient Type 患者タイプ (IS)　00148
定義:患者のタイプを示すサイト特定の値。

PV1-19　Visit Number 来院番号 (CX)　00149
定義:患者の各来院に割り当てられた一意的な数。

PV1-20　Financial Class 財務クラス (FC)　00150
定義:診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。

PV1-21　Charge Price Indicator 有償価格標識 (IS)　00151
定義:部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。

PV1-22　Courtesy Code 優待コード (IS)　00152
定義:患者が特定の優待を受けるかどうか示すコード。

PV1-23　Credit Rating 信用格付け (IS)　00153
定義:過去の信用経験を決定する使用者定義コード。

PV1-24　Contract Code 契約コード (IS)　00154
定義:会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。

PV1-25　Contract Effective Date 契約有効日付 (DT)　00155
定義:契約が始まる日付。

PV1-26　Contract Amount 契約金額 (NM)　00156
定義:保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。

PV1-27　Contract Period 契約期間 (NM)　00157
定義:使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。

PV1-28　Interest Code 利息コード (IS)　00158
定義:任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。

PV1-29　Transfer To Bad Debt Code 不良負債変換コード (IS)　00159
定義:会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。

PV1-30　Transfer To Bad Debt Date 不良負債変換日付 (DT)　00160
定義:会計が不良負債状況に転換された日付。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

PV1-31　Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード (IS)　00161
定義:会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。

PV1-32　Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM)　00162
定義:不良負債に転換された金額。

PV1-33　Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM)　00163
定義:会計上の保証人から回収された金額。

PV1-34　Delete Account Indicator 会計削除標識 (IS)　00164
定義:会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。

PV1-35　Delete Account Date 会計削除日付 (DT)　00165
定義:会計がファイルから削除された日付。

PV1-36　Discharge Disposition 退院処置 (IS)　00166
定義:退院(つまり、帰宅;期限満了;など)の時の患者の処置。

PV1-37　Discharged To Location 退院先 (DLD)　00167
定義:患者の退院先の施設を示す。

PV1-38　Diet Type 給食タイプ (CE)　00168
定義:患者用の特別の給食タイプを示す。

PV1-39　Servicing Facility サービス施設 (IS)　00169
定義:複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。

PV1-40　Bed Status ベッド状況 (IS)　00170
定義:下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。

PV1-41　Account Status 会計状況 (IS)　00171
定義:会計状況

PV1-42　Pending Location 保留所在 (PL)　00172
定義:患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。 第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

PV1-43　Prior Temporary Location 以前の一時的な所在 (PL)　00173
定義:このフィールドは(手術部または放射線部門のような)患者の一時的な場所を示す時に使用される。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。

PV1-44　Admit Date/Time 入院日時 (TS)　00174
定義:入院の日付/時刻。

PV1-45　Discharge Date/Time 退院日時 (TS)　00175
定義:退院の日付/時刻。

PV1-46　Current Patient Balance 患者の差引不足額 (NM)　00176
定義:来院患者の現在の差引不足額。

PV1-47　Total Charges 合計有償金額 (NM)　00177
定義:来院有償金額の合計

PV1-48　Total Adjustments 合計調整金額 (NM)　00178
定義:来院調整金額の合計

PV1-49　Total Payments 合計支払金額 (NM)　00179
定義:来院の支払い金額の合計

PV1-50　Alternate Visit ID 代替来院ID (CX)　00180
定義:来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

PV1-51　Visit Indicator 来院標識 (IS)　01226

定義:データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。

テーブル 0326 - Visit Indicator 来院標識

Value	Description
A	Account Level　会計
no value	Visit Level　来院

PV1-52　Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者 (XCN)　01224

定義:他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦, 付き添い, 補助医師)複数の関係者に送ることができる。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.5 ORC - Order Common Segment　共通オーダセグメント

共通オーダセグメント(ORC)は、すべてのオーダに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダ番号>|<実施者オーダ番号>|<CR>のように単純になる。
詳細内容がオーダのために必要ないならば、オーダ詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1－オーダ制御、ORC-2－依頼者オーダ番号、およびORC-3実施者オーダ番号)。
ORCのフィールドとオーダ詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORCとOBRに重複する情報は、OBRセグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダグループ

本規格では、複数のオーダを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。
オーダグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダ(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダ(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダ詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダ番号は、OBR-2依頼者オーダ番号フィールドど同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。
これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダ詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親/子　－　キャンセル、保留、中断

親オーダのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダおよびすべての関連の子オーダに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば
1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
2)EKGアプリケーションは3つの子オーダを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
3)元の親オーダを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

ORC属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00215	Order Control　オーダ制御	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number　依頼者オーダ番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number　実施者オーダ番号	
4	22	EI	O	O		00218	Placer Group Number　依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		00219	Order Status　オーダ状態	
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag　応答フラグ	
7	200	TQ	B	X	Y	00221	Quantity/Timing　数量/タイミング	
8	200	EIP	O	C		00222	Parent　親	
9	26	TS	O	R		00223	Date/Time of Transaction　トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By　入力者	
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By　検証者	
12	250	XCN	O	R	Y	00226	Ordering Provider　依頼者	
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location　入力場所	内視鏡では「診療科」を指定し、必須
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time　オーダ有効日時	
16	250	CE	O	O		00230	Order Control Code Reason　オーダ制御コ	

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
							ードの理由	
17	250	CE	O	O		00231	Entering Organization　入力組織	R
18	250	CE	O	O		00232	Entering Device　入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By　発動者	
20	250	CE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name　オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Faciloity Address　オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number　オーダ施設電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address　オーダ実施者住所	
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier　オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason　拡張利用用注意上書き理由	
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time　実施者可能日時	
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code　信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		01643	Order Type　オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode　入力者許可モード	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ORC フィールド定義

ORC-1　Order Control オーダ制御 (ID)　00215

定義:オーダセグメントの機能を決定する。採りうる値はHL7テーブル0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

a）**イベント要求**

イベントを発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b）**イベント肯定応答承認**

イベント要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

c）**イベント通知**

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント肯定応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに応答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションにたとえば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションをとりそれを他のアプリケーション、たとえば依頼者が知る必要がある場合等である。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント肯定応答、およびイベント通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダ制御コード(例　CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダ制御コード(例　CA)は依頼者のみが生成することができる。

テーブル 0119 – Ordeer Control Code オーダ制御コードとその意味

Value[1]	Description	Originator[2]	Field Note[3]
NW	New order　新規オーダ	P	I
OK	Order accepted & OK　オーダ受付　&　OK	F	I(ﾊﾝﾄｼｪｲｸ時使用可)
UA	Unable to Accept Order 受付オーダキャンセル	F	n(使用しない)
CA	Cancel order request　オーダキャンセル依頼	P	A
OC	Order canceled　オーダキャンセル完了	F	(ﾊﾝﾄｼｪｲｸ時使用可)
CR	Canceled as requested　オーダキャンセル完了(要求通り)	F	
UC	Unable to cancel　オーダキャンセル(不能)	F	B
DC	Discontinue order request　オーダ中断要求	P	c(CAにて対応)
OD	Order discontinued　オーダ中断	F	(CAにて対応)
DR	Discontinued as requested　オーダ中断(要求通り)	F	(CAにて対応)
UD	Unable to discontinue　オーダ中断(不能)	F	(CAにて対応)
HD	Hold order requestオーダ保留要求	P	(使用しない)
OH	Order held　オーダ保留	F	(使用しない)
UH	Unable to put on hold　オーダ保留(不能)	F	(使用しない)
HR	On hold as requested　オーダ保留(要求通り)	F	(使用しない)
RL	Release previous hold　前回保留オーダを解放	P	(使用しない)
OE	Order released　オーダ解放	F	(使用しない)
OR	Released as requested　オーダ解放(要求通り)	F	(使用しない)
UR	Unable to release　オーダ解放(不能)	F	(使用しない)
RP	Order replace request　オーダ修正依頼	P	e,d,h
RU	Replaced unsolicited　オーダ修正通知(実施者)	F	f,d,h(RPにて対応)
RO	Replacement order　修正後オーダ	P,F	g,d,h,I(RPにて対応)
RQ	Replaced as requested　オーダ修正受理	F	d,e,g,h
UM	Unable to replace　オーダ修正(不能)	F	
PA	Parent order　親オーダ	F	I
CH	Child order　子オーダ	F,P	I
XO	Change order request　オーダ変更要求	P	(RPにて対応)
XX	Order changed, unsol.　オーダ変更(非要求)	F	(RPにて対応)
UX	Unable to change　オーダ変更(不能)	F	(RPにて対応)
XR	Changed as requested　オーダ変更(要求通り)	F	(RPにて対応)
DE	Data errors　データエラー	P,F	(使用しない)
RE	Observations to follow　検査付帯情報	P,F	j(使用しない)
RR	Request received　要求受付	P,F	k(使用しない)
SR	Response to send order status request　送信オーダ状態応答	F	(使用しない)
SS	Send order status request　要求	P	(使用しない)
SC	Status changed　オーダ状態要求送信	F,P	(使用しない)
SN	Send order number　状態変更	F	I(使用しない)
NA	Number assigned　オーダ番号送信	P	I(使用しない)
CN	Combined result　統合検査結果	F	M
RF	Refill order request 補充オーダ要求	F, P	O
AF	Order refill request approval 補充オーダ要求承認	P	P
DF	Order refill request denied 補充要求オーダ拒否	P	Q
FU	Order refilled, unsolicited オーダ補充済、非要求	F	R
OF	Order refilled as requested オーダ補充済、	F	S
UF	Unable to refill 補充不可	F	T
LI	診療or医療メッセージへのリンクオーダ		(使用しない)
UL	診療or医療メッセージからのアンリンクオーダ		(使用しない)

注記:　1 オーダ制御値フィールド。

2『F』:この値は、実施者から開始し、依頼者他に送られる。『P』:この値は、依頼者または、依頼者特権(インタフェースネゴシエーションにおいて同意したような)を持つ他のアプリケーションから開始する。“

3 コードの説明ついては、次のテーブルの注を見ること。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ORCのオーダ制御コードのためのテーブルの注

a) CA
オーダキャンセル依頼は、以前にオーダしたサービスを行わないようにとの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によっておこなわれる。たとえば、CRの(ORC-1-オーダ制御)値を持つメッセージである。

b) UC
UC オーダキャンセル(不能)コードは、依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは、現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は、ORC-6-応答フラグに従う。

c) DC
オーダ中断要求コードは、進行中の依頼されたサービスをやめるために使用される。それは、キャンセル要求と同じではない。それは、オーダが起こるのを防止するために使用される。

d) RP, RQ, RU, RO
オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個以上のオーダの置き換えである。取換えられたオーダは、あたかも取り消されたオーダのように扱われる。依頼されたサービスが取換えられるかどうか、いつ取換えるかは、現場独自で決定する。オリジナルのオーダがもとのままであることをサイトが要求するならば、親/子オーダ制御コードを使用する。このような時は、オーダ修正コードを使用しない。
取換えられる各々のオーダには、RP(実施者に対するオーダ修正依頼)のORC-1-オーダ制御値またはRU(実施者によって作成された、オーダ修正通知(実施者))を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場の取り決めによって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダ詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、RO(修正後オーダを示す)のORC-1-オーダ制御値をもつ、ORCセグメントが続かなければならない。現場の取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダ詳細セグメントが後に続いてもよい。
たとえば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダを3つの異なったオーダで取換えていたと仮定する。セグメントの連続は、次の通りになる。

図 4-2. RU and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RU	1st replaced ORC 1st replaced order's detail segment
ORC OBR	RU	2nd replaced ORC 2nd replaced order's detail segment
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 1st replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 2nd replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	3rd replacement ORC 3rd replacement order's detail segment

ORC-6-応答フラグの値によって、OBRセグメントが存在せねばならないかどうかが決定される。この取換え方法は、取換えのすべての可能なケースを扱う:1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRPの付いたこの要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU(オーダ修正通知(実施者))は2つのRQ(オーダ修正受理)となる。

図 4-3. RQ and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RQ	1st replaced ORC 1st replaced order's detail segment
ORC	RQ	2nd replaced ORC

JAHIS © 2010 All right reserved.

Segment	Order Control	Comment
OBR		2nd replaced order's detail segment
ORC	RO	1st replacement ORC
OBR		1st replacement order's detail segment
ORC	RO	2nd replacement ORC
OBR		2nd replacement order's detail segment
ORC	RO	3rd replacement ORC
OBR		3rd replacement order's detail segment

e) RP, RQ

オーダ取換要求コードは依頼アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個以上の新規オーダを1個以上の新規オーダと取換えることを許可する。

f) RU

オーダ修正通知(実施者)コードは依頼アプリケーションから要求されることなしに実施アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。

g) RO, RQ

取換えオーダコードは実施者のアプリケーションによってオーダされたサービスの正確な取換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。

h) RP, RQ, RU, RO

ROの制御値をもつORCセグメントのオーダ番号の規則は取換え型(RPまたはRU)によって決定される。

RU型(すなわち実施者からのオーダ修正通知)のときには、実施者オーダ番号は、実施アプリケーションによっていつものように生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。

RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正依頼)のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダのためと同一の手順を使用して、実施アプリケーションによって生成される。

取換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用される時の、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。

1) ROのオーダ制御値つきのORC
2) いかなるOBRセグメント(いかなるオーダ詳細セグメントによって変えられる)
3) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く
4) NTEセグメントは、定型ORUメッセージにおけるのと同様にOBR(あるいはいかなるオーダ詳細セグメント)またはOBXセグメントの後に続けられる。

i) PA, CH

親(PA)と子(CH)のオーダ制御コードは親(オリジナルオーダ)を変える事なく「親オーダ」から「子オーダ」を生み出して良い。PAのORC-1-オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントは、CHのORC-1-オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によってOBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。

たとえば、細菌培養が2つの生物と対応する感受性試験の結果を生成したと仮定する。そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである:

図 4-4. Example of two child orders

Segment	Order Control	Comment
ORC	PA	1st parent ORC
ORC	CH	1st child ORC
OBR		1st child order
ORC	CH	2nd child ORC
OBR		2nd child order

親子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者の依頼者が子オーダを生成するかどうか、または依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子

JAHIS © 2010 All right reserved.

オーダを作成するならば、それはその通常の手続きに応じてそれらの依頼者番号を割り当てる。実施者が子を作成するならば、そこで2つの可能性がある:各々の子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者番号を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者番号を作成する。
子オーダが送られるときは常に、ORCセグメントのORC-8-親に、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者から開始するならば、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。
親子のメカニズムは、たとえば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダを発行するといったように、親オーダを拡張することのために使用される。
【内視鏡】内視鏡検査の場合、親オーダはそのオーダ全体に関連する情報を記述する。例えば、患者のプロファイル情報などは親オーダ記述の中に記述する。子オーダはここの撮影に関する情報を記述する。例えば,撮影部位や使用材料などである。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれに子オーダ記述を使用する。さらに、後述するORC(NW)を新規オーダを表す意味で、ORC(PA)の前に記述する。

ORC(NW)	新規オーダ
ORC(PA)	親オーダ
OBR	親オーダの記述
ORC(CH)	1番目の子オーダ
OBR	1番目の子オーダの記述
ORC（CH）	2番目の子オーダ
OBR	2番目の子オーダの記述

j) RE

検査付帯情報コードは、オーダと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダ詳細セグメント(たとえば、OBR)の後には、1個以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダと共に送られるときは、結果は、そのオーダの直後に続けられるべきである。
次の例は、3個の処方オーダのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。

図 4-5. RE usage (example)

Segment	Order Control	Comment
MSH		
PID		
ORC	NW	First new order
RXO		First order segment
ORC	NW	2nd new order
RXO		2nd order segment
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2
OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2
OBX		An observation segment
OBX		Another observation segment
OBX		Another observation segment
OBX		Another observation segment
ORC	NW	3rd order
RXO		3rd order segment

HL7のこのバージョンにおいて、結果は、1個以上のOBXセグメントとしてオーダと共に送ることができる。但し、ORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。
検査情報は、ORCを使用せずに、ORUメッセージを用いて伝えることができる。
ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれることを推奨する。
REのオーダ制御値は、OMGメッセージにおいてのみ要求される。オーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示唆するためである。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。

JAHIS © 2010 All right reserved.

k) RR

下位互換性のため。現在のバージョンにおいては、受付了解応答に等しい。要求受信コードは、オーダメッセージが受け取られて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダは、より正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。

l) SN, NA, NW

オーダ番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダ番号またはORC-3-実施者オーダ番号)。

1) 実施アプリケーションが、たとえば、HISのような集中アプリケーションからORC-3-実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。
2) 実施アプリケーションが、たとえば、オーダのような他のアプリケーションからORC-2-依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき。
3) アプリケーション(実施アプリケーションでない)が新規オーダのためにORC-3-実施者オーダ番号を割り当てたいとき

1) 実施アプリケーションが、集中実施者オーダ番号を必要とする場合。

SN 送信オーダ番号コードは、実施者のために、ORC-3-実施者オーダ番号をある、HISのような集中(その他のアプリケーションと呼ぶ)から要求するためのメカニズムを提供する、たとえば中央HISである。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダ番号とORC-2-依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、以下の2つの方法によって肯定応答される。

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによる。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値つきのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
ii) 以下で述べるNAのORC-l-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって実現できる。

NA 番号を割り当てられたコードは、その他のアプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられた実施者オーダ番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダ制御値は、NAの値、ORC-2-依頼者オーダ番号(SN値を持つORCから)、および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

注：依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の両方が、実施者のアプリケーションIDを持つ。.

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null
NA	Other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID

2) 実施アプリケーションが、依頼者オーダ番号を必要とする場合

SN 送信オーダ番号コードは、実施アプリケーションがORC-2-実施者オーダ番号をその他のアプリケーションから要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダ番号とORC-3-実施者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、2つの方法によって肯定応答される

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値つきのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
ii) 以下で述べるNAのORC-l-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。

NA 番号を割り当てられたコードは、『その他』アプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号を知らせることを許す。ORCは、NAのORC-1-オーダ制御値、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号、およびORC-3-実施者オーダ番号(SN値を持つORCから)を含む。

注：新しいORC-2-依頼者オーダ番号は、依頼者のアプリケーションIDを持っている。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	Filler application	Null	filler order number^filler application ID
NA	Other application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

3) アプリケーションが、実施者オーダ番号を割り当てたい場合

NWオーダを作成するアプリケーション(実施アプリケーションではない)が、実施者に新規オーダの実施者オーダ番号を割り当てたいとき、

または

RO(RO following an RP). この場合、その他のアプリケーションがORC3-実施者オーダ番号を完成する。この時には、実施者オーダ 番号の2番目の成分として、実施アプリケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW , RO	Other application to the filler	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

【内視鏡】ORC(PA)を記述する前にORC(NW)を記述する。

ORC(NW) 新規オーダ
ORC(PA) 親オーダ
OBR 親オーダの記述
ORC(CH) 1番目の子オーダ
OBR 1番目の子オーダの記述
ORC（CH） 2番目の子オーダ
OBR 2番目の子オーダの記述

m) CN

統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態が、通常、放射線科医が、複数のオーダで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときに放射線科レポートに見られる。たとえば、リューマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側でひとつのレポートを生成することがある。そのような結果が報告されるとき、CNコードが最後のORCを除く全てのREを置き換える。結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一の報告の例は下記の通りである:

```
MSH|...
PID|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...
ORC|RE|...
OBR||A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...
OBX||CE|73916&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||CE|73642&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||FT|73642&GDT||Description|...
```

n) UA

オーダ受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、その患者にアレルギーのある薬剤の処方を要求したこと、またはそのオーダを実施するための機器が利用できないことが考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること.

o) RF

RFは実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求しているかもしれない。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求しているかもしれない。

p) AF

AFは補充または補充の量を許可する依頼者からの返答である。

JAHIS © 2010 All right reserved.

q) DF

DFは依頼者がオーダの補充を許可しないことを示す。下記のオーダ制御コード理由を使用して、要求拒否の理由を示してもよい。これらの値は、「NCPDF SCRIPT回答セグメントコードリスト修飾子」に由来することに留意すること。

AA	Patient unknown to the provider
AB	Patient never under provider care
AC	Patient no longer under provider care
AD	Patient has requested refill too soon
AE	Medication never prescribed for the patient
AF	Patient should contact provider first
AG	Refill not appropriate

r) FU

FUは依頼者に対して、実施者が補充を患者の要求によるオーダに対して発行したことを通知する。.

s) OF

OFは補充に対する依頼者システムの要求に直接応答する。

t) UF

UFは実施者システムが許可補充要求に対してアプリケーションレベル拒否を示す。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

定義:依頼アプリケーションのオーダ番号

第1成分は、個々のオーダ(たとえば、(OBR))を識別する文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダの中から一意に一つのオーダを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダ制御値の場合;

b) CH(子オーダ)のORC-1-オーダ制御値の場合;

c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダ制御値の場合;

ORC-2-依頼者オーダ番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダ制御の下のテーブルの注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じある。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

定義: 実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第1成分は、オーダ詳述セグメントを識別する文字列である(例 OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわた

JAHIS © 2010 All right reserved.

って持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3-実施者オーダ番号は、OBR-3-実施者オーダ番号と同じある。実施者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない (この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する) 。これが特に重要なのは、結果がORUメッセージで送られる時である。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMGメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることはない。

本規約ではOBR-3-実施者オーダ番号と同一内容とする。

ORC-4　Placer Group Number　依頼者グループ番号 (EI)　00218

定義:オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分の文字列がすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

ORC-5　Order Status オーダ状態(ID) (ID)　00219

定義: オーダの状態。取りうる値についてはHL7テーブル0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7テーブル0038に示すオーダ状態は、HL7テーブル0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

臨床検査依頼では使用しない。

テーブル 0038 - Order status　オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available　部分的完了
CA	Order was canceled　オーダが取り消された
CM	Order is completed　オーダが完了した
DC	Order was discontinued　オーダが中断した
ER	Error, order not found　エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold　オーダが保留
IP	In process, unspecified　進行中、不定
RP	Order has been replaced　オーダが取替えられた

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

Value	Description
SC	In process, scheduled　進行中、予定

ORC-6　Response Flag 応答フラグ (ID)　00220

定義:これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7テーブル0121-応答フラグを参照のこと。

テーブル 0121 - Response flag　応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only　例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child　Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments　Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly　Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned　MSAセグメントのみが返却される

ORC-7　Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ)　00221

定義:(**このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている**)TQ1セグメントを参照のこと。

ORC-8　Parent 親 (EIP)　00222

Components:　<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>
Subomponents for Placer Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>
Subomponents for Filler Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

定義:親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。
第2成分は、親オーダの実施者オーダ番号を含んでいる。
依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。ORC-8-親は、OBR-29-親と同じである。

ORC-9　Date/Time Of Transaction　トランザクション日時 (TS)　00223

定義:　このトランザクションがオーダアプリケーションに入る日時。新規オーダを作成するメッセージの場合は、これは、オーダが入れられた日付および時間である。
　たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダへの訂正のための『取り換え』た時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力の場所も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダに関連づけてはいない。

ORC-10　Entered By　入力者 (XCN)　00224

定義:　要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。
要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11　Verified By 検証者 (XCN)　00225

定義:　入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12　Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN)　00226

定義:　要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。ORC-12-オーダ依頼者は、OBR-16-オーダ依頼者と同じである。
要求を作成することに責任がある依頼する医師などID。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ORC-13　Enterer's Location 入力者の場所 (PL)　00227

Components:　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

Subcomponents for Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Comprehensive Location Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Authority for Location (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリーを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

入力者の場所のデータ型はPL型なので、

入院の場合、

<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N

外来の場合

<科コード>^^^^^C

と設定することにし、person location type の指定を必須とした。

person location type には、C:診療科、D:部門、N:病棟を設定する。

ORC-14　Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN)　00228

定義：要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。ORC-14-コールバック用電話番号は、OBR-17-オーダコールバック用電話番号と同じである

ORC-15　Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS)　00229

定義：変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ［訳注:原文はORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した］有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じORCセグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例としてORCイベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時がORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある;プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある;子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16　Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CE)　00230

定義：オーダ制御コード(HL7テーブル0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17　Entering Organization 入力組織 (CE)　00231

Components:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

定義: 入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織
入力者の所属(CE型)なので、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱う。

ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CE) 00232
定義: オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233
定義: 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 受益者注意コード (CE) 01310
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、HCFAの条件を満たす為に導入された。

参照 : テーブル *0339 – Advanced beneficiary notice code*

テーブル0339 – Advanced beneficiary notice code

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者は支払いの義務があり，それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は支払いを了承し請求書を送ることを要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311
Components: <organization name (ST)> ^ <organization name type code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <check digit (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)> ^ <name representation code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>
Subcomponents of assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>
Subcomponents of assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

定義:このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312
Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ < address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義: このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する

ORC-23 Ordering facility phone numberオーダ施設電話番号 (XTN) 01313
Components: [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code (ID)> ^ <telecommunication equipment type (ID)> ^ <email address (ST)> ^ <country code (NM)> ^ <area/city code (NM)> ^ <phone number (NM)> ^ <extension (NM)> ^ <any text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

ORC-24 Ordering provider address オーダ提供者住所 (XAD) 01314
Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ < address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義:このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

ORC-25　Order status modifier　オーダ状態変更　(CWE)　01473

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義:　このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更, または、再生の記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はHL7により定義されたものとは異なり, APにより状態コードを任意に設定できる。データタイプはCEである。

使用規則:このフィールドは ORC-5 状態が指定されていれば 使用される。

ORC-26　Order status modifier　事前保険金受給通知上書き理由　(CWE)　01641

Components:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。

条件:このフィールドは ORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が利用者定義表 0339―受益者注意コードに 3 或いは 4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。

ORC-27　Filler's Expected Availability Date/Time　実施者サービス可能日時　(TS)　01642

Components:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能或いは臨床検査結果が可能となる場合に記述する。

ORC-28　Confidentiality Code　守秘コード　(CWE)　00615

Components:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。(例えば厳重注意、注意不要、注意など)。可能な値に関しては、 *テーブル0177 – 守秘コード* を参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

テーブル 0177 – 守秘コード

値	内容	コメント
AID	AIDS patient	
EMP	Employee	
ETH	Alcohol/drug treatment patient	
HIV	HIV(+) patient	
PSY	Psychiatric patient	
R	Restricted	
U	Usual control	
UWM	Unwed mother	
V	Very restricted	
VIP	Very important person or celebrity	

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ORC-29　Order Type　オーダタイプ　(CWE)　01643

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていなければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、 *テーブル 0482 – オーダタイプ*を参照のこと。

例:理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方箋をもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。.

テーブル 0482 – オーダタイプ

値	内容	コメント
I	入院患者オーダ	
O	外来患者オーダ	

ORC-30　Enterer Authorization Mode　承認モード入力　(CNE)　01644

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、 オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、 *テーブル 0483 承認モード* f を参照のこと。

テーブル 0483 – 承認モード

値	内容	コメント
EL	電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	
IP	本人自ら	
MA	Mail	
PA	紙	
PH	電話	
RE	再帰的 (自動化システム)	
VC	TV 会議	
VO	口頭	

JAHIS © 2010 All right reserved.　

7.6 OBR - Observation Request Segment　検査要求セグメント

概説(ASTM 1238－91から抜粋)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断要求(たとえば生理検査、EKG)あるいは検査要求(たとえば生体検査、身体検査)など特定要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントを指定する。内視鏡検査(たとえば上部消化管)では通常、個々の検査ごとに一つの独立したオーダセグメントを生成する。

図4－8にOBRセグメント属性一覧を示す。このセグメント内の(＋)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBRセグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。従って、実施者が新規オーダを受理する場合、(＋)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダ番号が設定されるが、依頼者オーダ番号はブランクでもよい。

OBR－7－検査日時およびOBR－8－検査終了日時は検査時間である。内視鏡検査の場合は、検査の開始･終了時刻を表す。

OBR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00237	Set ID – Observation Request ID設定　－　検査要求	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	250	CE	R	R		00238	Universal Service ID 検査項目群ID	
5	2	ID	X	B		00239	Priority 優先度	N
6	26	TS	X	O		00240	Requested Date/time 要求日時	N
7	26	TS	C	O		00241	Observation Date/Time　検査日時	C
8	26	TS	O	O		00242	Observation End Date/Time　検査終了日時	
9	20	CQ	O	N		00243	Collection Volume　採取量	
10	250	XCN	O	N	Y	00244	Collector Identifier　採取者識別子	
11	1	ID	O	N		00245	Specimen Action Code　検体処置コード	
12	250	CE	O	O		00246	Danger Code 危険(検体)コード	
13	300	ST	O	O		00247	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	26	TS	B	N		00248	Specimen Received Date/Time　検体受理日時	
15	300	SPS	B	N		00249	Specimen Source　検体採取元	
16	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
17	250	XTN	O	O	2	00250	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	60	ST	O	O		00251	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	60	ST	O	O		00252	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	60	ST	O	O		00253	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	60	ST	O	O		00254	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	26	TS	C	O		00255	Results Rpt/Status Chng – Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	C
23	40	MOC	O	O		00256	Charge to Practice + 課金	N
24	10	ID	O	O		00257	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	1	ID	C	O		00258	Result Status + 結果状態	
26	400	PRL	O	O		00259	Parent Result + 親結果	
27	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	N
28	250	XCN	O	O	Y	00260	Result Copies To 結果配布先	
29	200	EIP	O	C		00261	Parent Number　親番号	子の場合は必須
30	20	ID	O	O		00262	Transportation Mode 患者移動モード	
31	250	CE	O	O	Y	00263	Reason for Study 検査理由	
32	200	NDL	O	O		00264	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	200	NDL	O	O	Y	00265	Assistant Result Interpreter +　結果判定アシスタント	
34	200	NDL	O	O	Y	00266	Technician + 医療技術者	
35	200	NDL	O	O	Y	00267	Transcriptionist +　口述記録者	N
36	26	TS	O	O		00268	Scheduled Date/Time +　予定日時	
37	4	NM	O	N		01028	Number of Sample Containers　検体容器数	
38	250	CE	O	N	Y	01029	Transport Logistics of Collected Sample　採取検体搬送	
39	250	CE	O	N	Y	01030	Collector's Comment　採取者コメント	
40	250	CE	O	O		01031	Transport Arrangement Responsibility　搬送調整者	
41	30	ID	O	O		01032	Transport Arranged　搬送調整結果	
42	1	ID	O	O		01033	Escort Required　随行者要否	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
43	250	CE	O	O	Y	01034	Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント	
44	250	CE	O	O	N	00393	Procedure Code　手続きコード	
45	250	CE	O	O	Y	01316	Procedure Code Modifier　手続きコード修飾子	
46	250	CE	O	O	Y	01474	Placer Supplemental Service Information　依頼者補給サービス情報	
47	250	CE	O	O	Y	01475	Filler Supplemental Service Information 実施補給サービス情報	
48	250	CWE	C	C	N	01646	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason　医学的に必要な複製手続き理由	
49	2	IS	O	O	N	01647	Result Handling　結果操作	

+：検査依頼の場合は使用しない

Optionality

R - required
O - optional
C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
X - not used with this trigger event
B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）

R - required
O - optional
C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
X - not used with this trigger event
B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
N - not used usually. use only on the site

Repetition

N - no repetition
Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

OBR フィールド定義

OBR-1　Set ID - Observation Request セットID-OBR (SI)　00237

定義：最初の送信オーダには通し番号1が割り当てられ、2番目のオーダには通し番号2が割り当てられるものとする。3番目以降同様。
上位ORCに対する通番。初期値1、増分1。
必要に応じ同一ORCセグメントに対して1から付番される通し番号（オプション）。

OBR-2　Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI)　00216

定義：ORC－2－依頼者オーダ番号に同じ。
第1成分の文字列で個々のOBRを識別する。15文字以内が望ましいが必須要件ではない。これは依頼アプリケーションによって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2の成分ネームスペースIDは、ユーザによって定義されたコード化された値であり、特定のアプリケーションと一意に結び付けられている。HL7においては「6文字以内が望ましいが必須要件ではない。」とされているが、日本における運用では6文字以内とする。ORC-2との関係についてはORC-2の説明を参照のこと。

OBR-3　Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI)　00217

定義：このフィールドは、実施アプリケーションと関連したオーダ番号である。オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。
第1成分は個々のオーダセグメント（例えばOBR)を識別する文字列である。これはオーダ実施（受信）アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーション（例えばEIS）によるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。この固有性は長期間継続しなければならない。
第2から第4までの成分は、実施者アプリケーションIDを含むが、これらはHDデータ型の形をしている。第2の成分はユーザに定義されたコード化された値であって、ネットワーク上の他のアプリケーション中から特定のアプリケーションを一意に識別する。HL7においては「6文字以内が望ましいが必須要件ではない。」とされているが、日本における運用では6文字以内とする。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ORC-3との関係についてはORC-3の説明を参照のこと。

OBR-4　Universal Service ID 検査項目群ID (CE)　00238

定義：要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカル・コードまたは”汎用”コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。”汎用”手順による識別子を使用することが望ましい。

【内視鏡】親オーダの場合は目的と種別を指定するコードを設定する。例えば、目的であれば検査、治療を指定するコード、種別であれば上部、下部などを指定するコードである。子オーダの場合は詳細指示を指定するコードを設定する。例えば、食道、胃などの臓器を指定するコードや下部通常内視鏡などのモダリティを指定するコード、ポリペクトミーなどの手技を指定するコードである。

OBR-5　Priority 優先度 (ID)　00239

定義：このフィールドは単に下位互換性のためだけに残されている。これは使用しない。以前の優先度はTQ1-9－優先度で指示する。

OBR-6　Requested Date/Time 要求日時 (TS)　00240

定義:このフィールドは単に下位互換性のためだけに残されている。これは使用しない。
【内視鏡】以前の要求日時／時間は、TQ1-7－開始日／時間で指示する。

OBR-7　Observation Date/Time 検査日時 (TS)　00241

定義：検査開始日時。

OBR-8　Observation End Date/Time 検査終了日時 (TS)　00242

定義：検査終了日時。

OBR-9　Collection Volume 採取量 (CQ)　00243

定義：検体検査の場合検体量。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-10　Collector Identifier 採取者ID (XCN)　00244

定義：検体検査が要求された場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-11　Specimen Action Code 検体処置コード (ID)　00245

定義：このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-12　Danger Code 危険(検体)コード (CE)　00535

定義：危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しない場合がある。
成分: <危険情報コード(CE)>^<危険情報テキスト(TX)>

OBR-13　Relevant Clinical Information 関連臨床情報 (ST)　00247

定義：このフィールドには、患者に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。たとえば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および検査診断に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。
ただし、オーダセグメントの直後に一連のOBXセグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。従って、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などはOBXセグメントを利用することを推奨する。

OBR-14　Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS)　00248

定義：診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

OBR-15　Specimen Source 検体採取元(検査材料) (SPS)　00249

成分:<検体採取元名あるいはコード(CE)>^<添加剤(TX)>^<フリーテキスト(TX)>^<部位(CE)>^<部位修飾子(CE)>^<採取方法修飾子(CE)>

定義：検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。

【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-16　Ordering Provider 依頼者 (XCN)　00226

定義：検査依頼者のID。IDコードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これはORC－12－依頼者と同じである。検査依頼医師をセットする。

OBR-17　Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番 (XTN)　00250

定義：状態あるいは結果を標準フォーマットで報告するさいの電話番号。可能であれば、内線または呼出番号(あるいはその両方)も併せて指定する。

OBR-18　Placer Field #1 依頼者フィールド＃1 (ST)　00251

定義：依頼者フィールド＃1。依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。

OBR-19　Placer Field #2 依頼者フィールド＃2 (ST)　00252

定義：依頼者フィールド＃1に類似。

OBR-20　Filler Field #1 実施者フィールド＃1 (ST)　00253

定義：実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。

OBR-21　Filler Field #2 実施者フィールド＃2 (ST)　00254

定義：実施者フィールド＃1に類似（実施者により任意の使用目的に定義可能）。

OBR-22　Results Rpt/Status Cheng - Date/Time 結果報告/状態変更－日時 (TS)　00255

定義：結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)

OBR-23　Charge To Practice 課金 (MOC)　00256

HISは検査項目から課金情報を生成する。

OBR-24　Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門ID (ID)　00257

定義：診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスのIDがここに記録される。採りうる値については、HL7テーブル0074－診断サービス部門ID－を参照のこと。

テーブル 0074 - Diagnostic service section ID　診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology	OUS	OB Ultrasound
BG	Blood gases	OT	Occupational Therapy
BLB	Blood bank	OTH	Other
CUS	Cardiac Ultrasound	OSL	Outside Lab
CTH	Cardiac catheterization	PHR	Pharmacy
CT	CAT scan	PT	Physical Therapy
CH	Chemistry	PHY	Physician (Hx. Dx, admission note, etc.l)
CP	Cytopathology	PF	Pulmonary function
EC	Electrocardiac (e.g., EKG,　EEC, Holter)	RAD	Radiology
EN	Electroneuro (EEG, EMG,EP,PSG)	RX	Radiograph
HM	Hematology	RUS	Radiology ultrasound
ICU	Bedside ICU Monitoring	RC	Respiratory Care (therapy)
IMM	Immunology	RT	Radiation therapy
LAB	Laboratory	SR	Serology
MB	Microbiology	SP	Surgidal Pathology
MCB	Mycobacteriology	TX	Toxicology
MYC	Mycology	VUS	Vascular Ultrasound
NMS	Nuclear medicine scan	VR	Virology
NMR	Nuclear magnetic resonance	XRC	Cineradiograph
NRS	Nursing service measures		

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

OBR-25　Result Status 結果状態 (ID)　00258

定義：このオーダの結果状態。状態は、オーダに関連する結果すべてに適用される。オーダ状態の照会のさい、OBXセグメントで実現されるレベルの応答より詳細なレベルの応答が必要でないときに、このフィールドがよく使用される。このフィールドへは、実施者しか値を設定することができない。各結果の状態が必要な場合、OBX－11－検査結果状態を使用することができる。採りうる値については、HL7テーブル0123－結果状態－を参照のこと。

テーブル 0123 - Result status 結果状態

Value	Description
O	Order received; specimen not yet received　オーダ受信；検体未到着
I	No results available; specimen received, procedure incomplete　結果無効；検体到着、手続き不完全
S	No results available; procedure scheduled, but not done　結果無効；手続き予定未実施
A	Some, but not all, results available　部分的結果あり
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained　予備；初期結果確認無効、最終結果未確認
C	Correction to results　結果訂正
R	Results stored; not yet verified　結果ストア；未確認
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result.　最終結果；結果格納・確認済。訂正結果のみ書き換え可能
X	No results available; Order canceled.　結果無効；オーダキャンセル
Y	No order on record for this test. (Used only on queries)　オーダによらない検査結果(参照のみ可能)
Z	No record of this patient. (Used only on queries)　患者に対する結果なし(参照のみ可能)

到着確認時‘I’、部分結果報告時‘A’、未承認結果報告時‘R’、最終結果報告時‘F’とする

OBR-26　Parent Result 親結果 (PRL)　00259

Components : <Parent Observation Identifier (CE) ^ <Parent Observation Sub-identifier (ST)> ^ <Parent Observation Value Descriptor (TX)>

Subcomponents for Parent Observation Identifier (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは他のタイプ(たとえば毒物学)との連携を可能にするために定義される。この重要な情報は、OBR-29-親番号の情報と組合せて、このオーダに関する親結果のOBXセグメントを一意に識別する。

OBR-27　Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ)　00221

定義:**このフィールドは下位互換を保つためだけに残している**。TQ1セグメントを参照のこと。

OBR-28　Result Copies To 結果配布先 (XCN)　00260

定義：検査報告書を受け取る人。ローカルの取り決めによって、ID番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。報告書送付先として科別や病棟を指示してもよい。

OBR-29　Parent Number 親番号 (EIP)　00261

定義：ORC－8－親と同一。但し、ORUメッセージ（到着確認／検査結果）では、OMGメッセージのORC-2(,ORC-3)と同一。子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。

親フィールドには、成分が2つある。第1成分には親の依頼者オーダ番号が入る。第2成分はオプションであり、ここには親の実施者オーダ番号が入る。このフィールドは、副成分をもつ、依頼者オーダ番号成分と実施者オーダ番号成分の2つの成分で伝達される。

OBR-30　Transportation Mode 患者移動モード (ID)　00262

定義：適用可能な場合、患者を移動するかどうか(あるいは移動方法)。採りうる値に関しては、HL7テーブル0124－患者移動モードーを参照のこと

テーブル 0124 - Transportation Mode 移動モード

Value	Description
CART	Cart – patient travels on cart or gurney　患者はカートまたは担架で移動する
PORT	The examining device goes to patient's location　検査装置が患者のもとへ移動する
WALK	Patient walks to diagnostic service　患者は歩行により移動する
WHLC	Wheelchair　車いすを使用する

OBR-31　Reason For Study　検査理由　(CE)　00263

定義：適切な回答をうるのにこのフィールドを使用しなければならない検査もある。

OBR-32　Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL)　00264

定義：検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

OBR-33　Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント　(NDL)　00265
定義: この検査の診断を支援した立会臨床医。

OBR-34　Technician 医療技術者 (NDL)　00266
定義: 実施担当臨床技師。

OBR-35　Transcriptionist 口述筆記者 (NDL)　00267
定義: 報告書の口述筆記を担当する人、通常、本フィールドは使用しない。

OBR-36　Scheduled - Date/Time スケジュール日時 (TS)　00268
定義: 実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37　Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM)　01028
定義:受領検体容器の数。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-38　Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CE)　01029
定義:このフィールドは診断サービス実施者への検体到着で意味がある。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-39　Collector's Comment 採取者コメント (CE)　01030
定義:検体に関する付加的コメント。
【内視鏡】内視鏡では使用しない。

OBR-40　Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者 (CE)　01031
定義:予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。例えば依頼者、実施者、患者など。

OBR-41　Transport Arranged 搬送調整結果 (ID)　01032
定義:検体搬送手配の結果状態。

テーブル 0224 - Transport Arranged 搬送調整

Value	Description
A	Arranged　手配済み
N	Not Arranged　未手配
U	Unknown　不明

OBR-42　Escort Required 随行者要否 (ID)　01033
定義:患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。OBR-43の併用が一般的。

テーブル 0225 - Escort Required 随行者要否

Value	Description
R	Required　必要
N	Not Required　不要
U	Unknown　不明

OBR-43　Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント (CE)　01034
定義:患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。

OBR-44　Procedure code　手続きコード (CE)　00393
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
定義: このフィールドのもしあればフィールド4において報告された汎用サービスIDと共に関連した手続きに割り当てられた唯一の識別子である。使用者定義テーブル 0088－手続きコード(HL7-節 6.5.4.3 参照)に定義されたテーブルの値を使用される。このフィールドは, 臨床関連のシステムと互換性を取る為CEタイプである。

OBR-45　Procedure code modifier　手続きコード修飾子　(CE)　01316
Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>
定義:このフィールドはフィールド 44 において報告された手続きコードに適用できれば手続きコード修飾子を含む。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

OBR-46　Placer supplemental service information　依頼者補給サービス情報　(CE)　01474

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、依頼者システムから OBR-4 汎用サービス ID で報告された手続きコードにより実施者システムまで送られた補給サービス情報を含む。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。多重補給サービス情報要素は報告される。

参照：　*テーブル 0411 - Supplemental service information values*.

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。 例えば、腕の治療及びオーダは右か左かを区別しないし、また、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

【内視鏡】種別や臓器については、OBR-4 Universal Service ID にコード化して記述することを推奨する。

OBR-47　Filler supplemental service information　実施者補給サービス情報　(CE)　01475

Components:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID によって報告された処置コードにより依頼者システムから実施者システムに送られる補給サービス情報として使われる。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。典型的に、それは OBR-46 依頼者補給情報により実施者システムに反映される、そのオーダが修正されない限り実施者システムは実際にこれを用いて遂行された物のどちらかのケースを報告するのに使われる。多重補給サービス情報要素は報告される。

参照：テーブル *0411 - Supplemental service information values*.

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。 例えば、腕の治療及びオーダは右か左かを区別しないし、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

テーブル0411 - Supplemental service information values

Value	Description
	No suggested values Individual implementations may use vocabularies such as the SNOMED DICOM Micro-glossary (SDM) or private (local) entries. 特別な導入では SNOMED や DICOM，マイクログロッサリ，そして私用な物も用いられる

OBR-48　Medically Necessary Duplicate Procedure Reason　医学的に必要な複製手続き理由　(CWE) 01646

Components:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:この項目は OBR-44(手続きコード)の理由を文書で証明するために使用される。医学的に必要な事項、患者のために同じ日や以前に行われたサービスなどの複写である。理由はコード化されるかもしれないし、あるいは、それは自由なテキスト・エントリーする。
この項目は会計用情報としてその行為を複写したものである。

OBR-49　Result Handling　検査結果操作　(IS)　01647

定義:結果の取り扱いに関する情報を送信する。例えば、オーダは、リクエスターへのリターンのための患者に結果(例えば X 線フィルム)が与えられることを明示する。
特別なこと無ければ使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル 0507 – Observation Result Handling 検査結果操作

Value	Description
F	Film-with-patient
N	Notify provider when ready

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.7 OBX - Observation/Result Segment　検査結果セグメント

OBXセグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。その構造を図7－9に要約する。

その主な機能はレポート・メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダに含めることもできる。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報をOBXで伝送する。

OBX属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00569	Set ID – Observational SimpleセットID － OBX	
2	2	ID	C	R		00570	Value Type 値型	
3	250	CE	R	R		00571	Observation Identifier 検査項目	
4	20	ST	C	C		00572	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	65536	*	C	R	Y	00573	Observation Value 検査値	
6	250	CE	O	O		00574	Units 単位	
7	60	ST	O	N		00575	References Range 基準値範囲	
8	5	IS	O	O	5	00576	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	5	NM	O	N		00577	Probability 確率	
10	2	ID	O	N	Y	00578	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	1	ID	R	R		00579	Observ Result Status 検査結果状態	
12	26	TS	O	N		00580	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	20	ST	O	N		00581	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	26	TS	O	O		00582	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	250	CE	O	O		00583	Producer's ID 実施者ID	
16	250	XCN	O	O	Y	00584	Responsible Observer 検査責任者	
17	250	CE	O	N	Y	00936	Observation Method　検査方法	
18	22	EI	O	O	Y	01479	Equipment Instunce　Identifier　装置コード	
19	26	TS	O	N		01480	Date/Time of the Analysis　分析日付	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

検査結果コメントの例

検査材料、検査方法、検査結果への補足、検査できなかったことへの説明、などのコメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議で値型CEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。

OBX フィールド定義

OBX-1　Set ID - Observation Simple セットID － OBX　(SI)　00569

定義：同一のOBRセグメントに対し1から付番される通し番号。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

OBX-2　Value Type値型　(ID)　00570

定義: この項目は、OBX内の検査結果値のフォーマットを含んでいる。OBX-11「検査結果状態」が「X」でない場合、それは値を持たねばならない。値がCEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値はHL7表0125－値型－に列記される。

検査値は、第5章5.4節「データタイプ」で定義されたデータ型のフォーマットに応じて表記されなければならない。例えば、PNは成分区切り文字により分離した6つの成分から成る。

NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので（結果が測定器で計りきれないことを示すために＞300を使う場合など）、文字列（ST）データ型を持つことがある。例えば”＞300”では、”＞”は記号であり桁”300”は数値と考えられる。しかしながら、STタイプのこの使用は推奨されない。なぜならSN（構造化した数値）データ型は今そのような報告を受入れ、さらにSNデータ型によって受信システムが大きさを解釈できるからである。

HL7データ型はすべて有効であり表0125に含まれている。ただし、CM、CQ、SIおよびIDは除く。CM定義が意味を持つためには、CMに関する詳細が項目定義に含まれていなければならない。OBX-5－検査値はデータ型OBX-3によって影響を及ぼされる一般的な項目定義である。したがって、CMはこの文脈中で定義されない。CQは無効である。なぜならOBX-5－検査値のためのユニットが、OBX-6ユニットを備えたOBXセグメント中で明示的に常に指定されるからである。SIは無効である。なぜなら、それは単にHL7メッセージ・セグメントに適用されるに過ぎないからである。IDは無効である。なぜなら、それは一定の項目定義を必要とするからである。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値（参照ポインタ）を使用しなければならない。例えば、検査が画像（ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像）から成る場合、画像そのものはOBXで送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOMなどの他の標準インタフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

テーブル 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address
CE	Coded Entry
CNE	Coded With No Exceptions
CWE	Ceded With Exceptions
CF	Coded Element With Formatted Values
CK	Composite ID With Check Digit
CN	Composite ID And Name
CP	Composite Price
CX	Extended Composite ID With Check Digit
DT	Date
ED	Encapsulated Data
FT	Formatted Text (Display)
MO	Money
NM	Numeric
HD	Hierarchic Designator
RP	Reference Pointer
SN	Structured Numeric
ST	String Data.
TM	Time
TN	Telephone Number
TS	Time Stamp (Date & Time)
TX	Text Data (Display)
XAD	Extended Address
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations
XPN	Extended Person Number
XTN	Extended Telecommunications Number

値型の構成成分については 5.4 データ型を参照のこと

これらのデータ型の十分な定義は5章の節5.4「データ型」の中で与えられる。構造化した数値（SN）データ型は、バージョン2.3で初めて扱われ、それが提供するものは、報告範囲（例えば3－5あるいは

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

10－20)、滴定濃度(例えば1:10)および範囲外インディケータ(例えば>50)であって、構造化されコンピュータが解釈できる方法で提供される。
我々は、OBXセグメント中のFTデータ型を許可する。しかし、その使用は推奨しない。フォーマッティングされたテキストは意味のある構造を通常意味する。例えば異なるライン上で報告された独立している3つの診断のリストを意味する。しかし、理想的には、独立している診断の3つの文中の構造は3つの個別のOBXセグメントとして報告される。
大量のテキストを送るとき以外、TXは使用されてはならない。TXデータ型では、反復区切記号が段落の区切りを識別するためだけに使用できる。短い、そして恐らくコード化できるテキスト文字列を送るためSTを使用すること。
CDAドキュメントは、ドキュメント(MDMまたはORUのような)を交換することができるすべてのメッセージ中でOBXセグメントで交換されることになっている。OBXセグメント内では、MIMEパッケージがカプセルに入れられた(ED)データタイプとしてコード化される。

OBX-3　Observation Identifier 検査項目ID (CE)　00571

成分: 〈識別子〉^〈テキスト〉^〈コーディング方式名〉^〈代替識別子〉^〈代替テキスト〉^〈代替コーディング方式名〉
定義:　検査項目を表す一意な識別子。検査結果コメントをセットする場合検査項目IDを接尾辞で修飾したコードを用いる。検査結果コメントの扱いを参照。
大半のシステムでは、識別子は受信システムが検査情報を処理するために、他の検査属性を列記した検査項目マスタテーブルを参照するために使用される。検査IDと検査項目マスタテーブルとの関係は、請求記録中の課金コードと課金マスタテーブルの関係に類似している。

OBX-4　Observation Sub-ID 検査サブID (ST)　00572

定義:　1つのOBRの下で編成された複数のOBXセグメントが同じ検査項目IDを持つ場合、それぞれのOBXセグメントを識別するのに使う。たとえば、胸部X線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つのOBXセグメント(1つの診断所見に1つのOBXセグメント)が必要である。これらOBXセグメントの1番目のサブIDに1、2番目のサブIDに2、および3番目のサブIDに3を入れることにより、HL7は、編集あるいは交換に際し各OBXセグメントを一意に識別することができる。

OBX-5　Observation Value 検査結果値 (*)　00573

定義:　検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中のOBX－2－値型で設定されるデータ型に応じて表記される。このフィールドはOBXセグメントの必須フィールドである。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかに拘らず、回答はASCII文字コードで記録されるものとする。
数値型の検査結果であっても比較演算子や接尾辞を持つ場合、値型が文字列STの場合と構造化数値SNの場合によって、検査結果値の表記が異なるので注意、例えば、ST型では100以上(>100)や 2+であるが、SN型では >^100 や ^2^+ となる。可能な限りSN型を使用することを推奨する。
論理上独立している検査の報告
内視鏡検査や「病歴・身体計測」などの叙述的レポートの主要箇所は、個別のOBXセグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別のOBXセグメントで報告すべきである;つまり、1個のOBXセグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、OBX－6－単位およびOBX－8－異常フラグ、およびOBX－9－確率の内容が明白に解釈ができるようになる。たとえば電解質およびバイタルサイン・セットは、4つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。2つの診断(うっ血性心不全と肺炎など)は、それが退院サマリの一部として報告されたのかあるいは胸部X線レポートの一部として報告されたのかに拘らず、さらに2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された2つの細菌性生物は、2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。
1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部(修飾子)として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回応答することができる(通常、反復区切り文字により分離されたCEデータ型として)。たとえば、右上葉(1つのコードとして記録される)と肺炎(別のコードとして記録される)の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復区切り文字により分離されるだろう。
共通の検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CE)が続くことである。この場合、論理検査情報は複数のOBXセグメントで送ることができる。たとえば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注記を表すCEデータ型である場合など。実施者が複数のコード化注記を報告しているとすると、その複数のコード化注記はすべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復区切り文字で分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント(正常なフラグ/単位、および/あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント)を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX6～12の値は、同じOBX－3－検査項目とOBX－4－検査サブIDを持つ後続のOBXセグメントではnullとすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは1単位として扱われる。どれか1つが置換または削除されると、すべてが置換される。

コード化値

OBXセグメントにCEデータ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび(または)テキストの組合せとして保管される。(「OBR　1」の1番目と2番目のOBXセグメント、「OBR　2」の1番目と2番目のOBXセグメントに記述されている結果。)検査は、(推奨検査を表す)検査セットID、(診断を表す)診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコード化結果などである。

コード化検査に保管された情報は必ずしもコード化する必要はない。たとえば、胸部X線診断がCEデータ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、たとえば以下のように記述して、“結果コード”の第2成分としてテストを記録しなければならない。

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE.

しかし、個別の診断、　指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|

ように送信するのでなく、以下のように送信すること。

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE|
OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|.

テキスト記述(成分2)の代わりに、あるいはテキスト記述(成分2)に加えて、コンピュータが理解し得るコードを含む完全コード化結果(成分1)を送信すればさらによい。

CE値の中に複数の値を含むようにしても良い。これらはコードとテキストの混合物でありうる。しかしそれらが1つの診断、所見あるいは概念を構築するため必要な場合に限る。テキストが独立している値としてコードの後に来る場合、それはコードの装飾子あるいは追加として解釈される。例えば、

OBX|1|CE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I1C~^MASSIVE HEART

成分2のテキストは成分1のコードの正確な記述とすべきである。同様に、もし使用されれば成分5のテキストは成分4のコードの正確な記述とするべきである。

OBX の CDA への挿入:

CDAドキュメントはOBXセグメントを交換に使用する。OBX－2結果値タイプの値はEDである。OBX－5検査結果にMIMEデータも含む。その成分は以下に通りである。

- OBX－2 データ構成タイプの設定
- OBX-5.3-データサブタイプ　値'x-hl7-cda-level-one'の設定
- OBX-5.4-エンコード値 'A'.　(注意：MIME package はそれ自身は Base64 でエンコードしない。多くの MIME package は Base64 でエンコードされる。ある MIME package は ASCII テキストで送信される。もちろん値の内容は 'A' not 'Base64'である。)
- OBX-5.5-データ値 MIME package. MIME package は Base64 でエンコードされている。2 章にあるように, "データ要素はHL7のデリミタで分離されなければならい (他の文字は 改行のように ASCII印字されない文字か ASCII 文字以外)、そして節 2.7 でエスケープ文字を定義している'。受信業務ではそのデータは解除する必要がある。その結果、CR/LF は MIME package でもエスケープされる (i.e., converted to '\X0D0A\') 。最初の

JAHIS © 2010 All right reserved.　

MIME コンテンツタイプは 'application/x-hl7-cda-level-one+xml' に設定される、CDA はそれを含んでいる。
CDAドキュメントはマルチメディアを参照するため転送時に MIME として問題ないようにしなければならない。.

OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text
(ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

バックグラウンド:検査の値が連続的な目盛りで測定される場合、OBXセグメントの単位項目内で測定単位を報告しなければならない。HL7バージョン2.2の仕様の中では、単位を報告する項目はすべてデータ型CEにある。単位コードのためのデフォルト値コーディングシステムは、単一ケースの(大文字だけ、または小文字だけの)単位(ISO 2955-83)のISO省略形、およびISO省略形と矛盾しない拡張形から構成される。我々はISO+としてこのコーディングシステムを指定する(図7－13を参照)。
ISOの単位の省略形および拡張形の両方が、節7.4.2.6.2「ISOおよびANSIの慣習的な単位省略形」の中で定義される、ISO+省略形はデフォルト値コーディングシステムのためのコードである。したがって、ISO+単位が使用される場合、ISO+省略形だけを送る必要がある。また、単位項目の内容は、HL7と下位互換性を持つ。

報告する単位の識別

我々は、ISO+省略単位を排他的に使用するように検査担当者に強く奨励するが、必要な場合米国の慣習的な単位(ANSIX3.50)およびローカルに定義されたコードを含む他のコードシステムの使用を許す。ローカルな単位はLまたは99zzzと呼ばれる。ここでzは英数字である(図7－2および7－3を参照)。ANSIX3.50-1986は、これらの規格を丁寧に説明し、またフィートまたはガロンのような米国の慣習的な単位のための、単一ケース省略形の表を提供している。
我々は当初ANSIX3.50-1986の米国の慣習的な単位をデフォルト値ISO+コーディングシステムの中に含める意図があった。しかしながら、ISOの省略形と米国の慣習的な単位の省略形の間に重複がある。例えば、ftは米国の慣習的な単位でフィートの省略形であり、ISOの中のfemtoteslaの省略形である;
ptは米国の慣習的な単位でパイントの省略形であり、ISOの中のpicoteslaの省略形である(ANSI文書は、一部のISO単位の省略形に関するISOの文書とさらに異なることに留意すること)。潜在的な曖昧さを回避するために、我々はもう1つのコーディングシステムすなわちANS+を定義した。それに含まれるのは、米国の慣習的な単位(例えばフィート、ポンド)、ANSIX3.50-1986に定義されたISOの省略形、図7－13に列挙された非メートル系の単位、およびこれらの単位のISOの組合せである。一部のANSI ISO単位省略形はISOの中のそれらの省略形と異なることに留意すること(図7－13の下の注を参照)。
ANS+仕様は、ISOおよび米国の慣習的な単位の両方、およびさまざまな非メートル系の単位を含んでいるので、省略形のうちのいくつかは曖昧である。特別の検査の文脈では混同はほとんどないけれども、この曖昧さがあるのでANS+単位コードはできるだけ避けた方がよい。
ANS+単位コード(省略形)が送信される場合、ANS+は、項目の第3の(第6の)成分に含まれていなければならない。もし距離の単位がメーター(ISO+)として送信されれば、ISO+が単位のデフォルト値コーディングシステムなので、それはmとして送信される。しかしながら、もし米国の慣習的な単位のフィートで送信されれば、単位はft^^ANS+として送信される。要求されたとき、単位の全文は第2の成分として送ることができる。これはCEデータ型の慣習に従った形である。

ISOおよびANSIの両方とも1セットの混合ケースの(大文字と小文字が混合した)省略形を提供する。しかし、これらの省略形は意味の損失なしで単一のケースに変換できない。それゆえこの仕様書内では使用すべきでない。この仕様書の内容は、ケースの如何を問わず(大文字か小文字かに関係なく)解釈できるよう要求されているからである。
ISOおよびANSIの慣習的な単位省略形
ISOは7つの基礎的な測定次元からその単位を作っている。すなわち、メーター、キログラム、秒、アンペア、ケルビン、モルおよびカンデラである(図7－6を参照)。他の単位は、基礎単位に接頭辞を付けて誘導する。これによって目盛りを変え、および／または2つ以上の基礎単位または誘導単位を代数的に組み合わせたものを作る。しかしながら、いくつかの誘導単位はそれ自身の省略形を持っている(図7－6を参照)。米国の慣習的な単位の省略形は図7－6に与えられる。

JAHIS © 2010 All right reserved.

ISOの規則は、ANSIX3.50の中でよく説明されており、倍数接頭辞を加えることにより、異なる目盛の単位を作成する方法を提供する。これらの接頭辞は単語または省略形として表現できる。この規格では、我々が省略形だけに関心がある。

図 7－6　ISO の単一ケース単位の省略形

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
基礎単位コード／省略形					
アンペア	A	ケルビン	k	メーター	m
カンデラ	Cd	キログラム	kg	モル	mol
				秒	s
指定された名前および省略形を持つ誘導単位					
クーロン	C	時間	hr	パスカル	pal
日	D	ジュール	j	ボルト	v
セルシウス度	cel	分（時間の）	min	ワット	w
ファラド	F	ニュートン	n	ウェーバー	wb
ヘルツ	Hz	オーム	ohm	年	ann
他の単位					
原子質量単位	U	グレー	gy	角度の分	mnt
ベル	B	ヘンリー	h	ラジアン	rad
デシベル	Db	リットル	l	ジーメンス	sie
度	deg	ルーメン	lm	ステラジアン	sr
グラム	G	ルクス	lx	テスラ	t
十分なセットに関しては、ISA2955-1983 を参照すること。					

倍数接頭辞のISOの省略形は図7－12に与えられる。10-24（1兆分の1のさらに1兆分の1）から1024（1兆×1兆）の範囲の接頭辞がある。キロ（×1000）の単一ケース省略形はkである。1000秒から成る単位の省略形はksであり、1000グラムはkgであり、1000メートルはkmであり、以下同様である。いくつかの接頭辞は基礎単位の省略形を共有する。例えばファラドとフェムト（10-18）は両方とも省略形はfである。混乱を回避するために、ISOは接頭辞だけの単独使用を禁止する。また1つの複合単位に2つの接頭辞を使用することを推奨しない。したがってfは常にファラドを意味し、ffは、1ファラドの100万分の1のさらに1兆分の1を意味する。複合した接頭辞は許されない。
単位は指数関数的に何乗または何乗分の1で表現できる。正の指数はその数を単位の省略形の直後に付ける。つまり平方メーターはm2によって表示される。負の指数は基礎単位の直後に負数を付ける。例えば、1平方メートル当たりはm-2で表される。分数の指数は分数を括弧の中に入れて表す：メーターの平方根はm（1／2）として表現される。単位の掛け算は単位の間の終止符（ .）によって示される。例えば、メーター掛ける秒はm.sで表す。スペースが許されないことに留意すること。割り算は2つの単位の間の斜線（／）によって示される。例えば毎秒メーターはm／sとして表示される。ISO単位省略形の代数的な組合せであって、基礎ISO単位の割り算、掛け算または累乗によって作ったものも有効なISO省略形単位である。累乗は掛け算または割り算に優先する。例えば、1ヘルツ当たりのマイクロボルトの2乗（スペクトルのパワーの単位）はuv2／hzと表され、マイクロボルトの2乗割る1ヘルツとして評価される。一方、1ヘルツの平方根当たりのマイクロボルト（スペクトルの振幅の単位）はuv／hz（1／2）と表され、マイクロボルト割る1ヘルツの平方根として評価される。もし2つ以上の割り算演算子が表現中に含まれるならば、結合は括弧内に入れて曖昧さを避ける。しかし最良のアプローチは、a／（b／c）を変換してa.c／bあるいa.c.b-1として表現を単純化することである。
ISOコードは、構造単位では正用法である。これらの単位の構造の規則は図7-6と図7-8に基づいてい

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

る。図7-7は、英語単位だけにつかわれるべきで、それは図7-8との連結に使うべきではない。ISO＋表（図7-13）はこの正用法からの単位構成のようなもっとも公共に含まれる。他のISO単位は同じように正当な用法から由来する。

図 7－7　一部の米国の慣習的な単位の ANSI+単位コード

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
長さ		体積		時間	
インチ	in	立方フィート	cft	年	yr
フィート	ft	立方インチ	cin	月	mo
マイル（法定）	mi	立方ヤード	cyd	週	wk
海里	nmi	大さじ	tbs	日	d
ロッド	rod	小さじ	tsp	時間	hr
ヤード	yd	パイント	pt	分	min
		クォート	qt	秒	sec
		ガロン	gal		
		オンス（流体）	foz		
面積		質量			
平方フィート	sqf	ドラム	dr		
平方インチ	sin	グレーン	gr（常衡）		
平方ヤード	syd	オンス（重量）	oz		
		ポンド	lb		
他の ANSI 単位、誘導単位、およびその他					
**英国の熱単位　btu		**華氏の温度　degf		**ミリラド　mrad	
立方フィート/分　cft/min		**フィート／分　ft／min		**RAD　ラド	
注：　時間の慣習的な米国の単位の省略形は、年を除いて ISO と同じである。年の場合は ISO=ANN、AMSI=yr である。X3.50 の中のメートル単位は、次のものを除いて ISO と同じである：パスカル（「pa」は ANSI、「pal」は ISO）；ANSI は「min」を時間と角度の両方に使用し、一方 ISO は「mnt」を角度に使用している；そして秒は ISA では「s」と略され、ANSI では「sec」と略される。 注：ANS＋仕様米国、ISO 両方の単位を含む、雑多なニモニック単位があり受け入れがたいものもある。そのため実際の検査では混乱がある、ANS+コードの削除のためには理由になる。					
この一覧表は全部を網羅したものではない。他のメートル系および米国の標準単位については、ANSIX3.50-1986、テーブル 1 を参照すること。					
**ANSI で明示的に列挙されていない非メートル系単位					

図 7－8　倍数接頭辞のための単一ケース ISO 省略形

接頭辞		コード	接頭辞		コード
ヨッタ*	10^{24}	Ya	ヨクト	10^{-24}	y
ゼッタ*	10^{21}	Za	ゼプト	10^{-21}	z
エクサ	10^{18}	Ex	アト	10^{-18}	a
ペタ	10^{15}	Pe	フェムト	10^{-15}	f
テラ	10^{12}	T	ピコ	10^{-12}	p

JAHIS © 2010 All right reserved.

接頭辞		コード	接頭辞		コード
ギガ	10^9	G	ナノ	10^{-9}	n
メガ	10^6	Ma	マイクロ	10^{-6}	u
キロ	10^3	K	ミリ	10^{-3}	m
ヘクト	10^2	H	センチ	10^{-2}	c
デカ	10^1	Da	デシ	10^{-1}	d
*これらの省略形は、単一ケース省略形の ISO 仕様の中では定義されていない。					

図7－9は、共通のISO誘導単位の省略形を列挙する。それに含まれるものは、一般的な単位の標準の単位省略形（例えばミリ当量）、国際単位、mm（Hg）、そして数えるために除法記号によって示すもの、分母だけで分子のないもの、例えば／c、であって上記に引用したISO規格の一部でないものである。我々は、単位表を拡張して、薬ルートおよび生理学上の測定量を一層受け入れ、またその他の方法でバージョン2.2のギャップを埋めた。

我々は、単位の定義においてIUPAC1995のシルバーブック2に一般に従った。しかしながら、IUPACは、単位を報告し表示するための基準を指定し、それらを識別するために8ビット・データセットを使用する。この規格は、患者情報の送信に関係がある。したがって、我々は大文字、小文字に無関係な英字、および少数の特殊文字（例えば、「.」、「／」、「（」、「）」、「*」、および「__」）に限定して、送信中に起こりうる混乱を回避した。したがって、我々はISO 2955-1983（情報処理－制限のある文字セットを持ったシステム中の、SIおよび他の単位の表現）、およびANSIX3.50-1986（制限のある文字セットを持ったシステム中の、米国の慣習的な単位、SIおよび他の単位の表現）の、大文字、小文字に無関係の単位省略形を、それらが定義されている場合、使用する。これは、場合によってはIUPAC省略形がISO+と異なる省略形を持つことを意味する。例えばIUPAC省略形が標準の英字だけを使用していたとしてもである。例えば、パスカルはIUPACの中のではPaと略される。しかしISO+（ISO 2955に従う）の中ではPALである。なぜならPaは大文字、小文字に無関係な表示として（Paと）見るとピコアンペアを意味するからである。しかしながら、送信用の要件は、エンドユーザに紙またはビデオで報告するプレゼンテーションのためIUPAC基準を使用することを妨げない。

すべての単位省略形は大文字、小文字に無関係である。ミリリットルは、ML、mlあるいはmLと書くことができる。このテーブルでは、我々はすべての省略形に対して小文字を使用した。ただしLは大文字にした。数字の1（1）と混同しないようにである。これは表示方法の変更であって規則の変更ではない。システムとしては通常どおり大文字または小文字で引き続き送信すべきである。

説7.18.4. 図7-9-「一般的なISO誘導単位およびISO拡張子」を参照する。

ローカルの単位コード

ローカルコードは、第3の成分の中で99zzzのコード・ソースを示すことによって単位に使用できる。ここで99zzzは英数字の文字列である。ローカルコードの場合には、コードのテキスト名あるいは単位の記述も（第2の成分中で）送信されるべきである。その結果を受信システムが、別のサービスによって送られた同じ測定の結果と比較できるようにするためである（2章の節2.9「データ型」を参照）。「L」はコードがローカルに定義されることを示すために第3の成分に保存されるべきである。さらに特定化されたローカルコード指示も、CEデータ型定義中で指定されたように、使用できる。

OBX-7　References Range 基準値範囲 (ST)　00575

定義:　検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-8　Abnormal Flags 異常フラグ (IS)　00576

定義:この項目は結果の正常状態を示すテーブルルックアップを含んでいる。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗菌物質感受性の場合、解釈コードは次のとおりである:　S＝敏感;R＝耐性;I＝中間;MS＝少し敏感;VS＝過敏。（詳細については、ASTM　1238－調査－を参照）。採りうる値については、ユーザ定義表0078－異常フラグ－を参照。

検査室で、胸部X線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

常な場合はN、異常な場合はAとして報告すべきである。複数のコード（例えば異常と悪化）を報告する場合は、反復区切り文字（例えばA～W）により分離されるだろう。

ユーザ定義表 0078　異常フラグ

値	内容
L	基準値下限以下
H	基準値上限以上
LL	パニック下限以下
HH	パニック上限以上
<	測定限界下限未満
>	測定限界上限超
N	正常（非数値結果に適用）
A	異常（非数値結果に適用）
AA	非常に異常（数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される
Null	範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	大幅な上昇変化
D	大幅な下降変化
B	改善－－方向が適用されない場合使用
W	悪化－－方向が適用されない場合使用
微生物感受性の場合のみ	
S	敏感
R	耐性
I	中間
MS	少し敏感
VS	過敏

結果は、結果の正確な数値を指定せずに正常状態を報告することによってメモ書きによって報告されることがある。そのようなメモは、臨床ノートはありふれたことで、その場合医師は「グルコース結果は正常であった」と書くだけである。そのようなメモ報告は薬品の経験報告にも見られる。そのような場合、結果は、OBX-5－検査値の中でなにかの値を指定せずに、「OBX-8－異常なフラグ」中の正常コードを報告することによって、OBXの中で報告できる。

OBX-9　Probability 確率 (NM)　00577

定義:　定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。
【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-10　Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID)　00578

定義:判定の元になった集団を指示。
【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-11　Observ Result Status 検査結果状態 (ID)　00579

定義:　採りうるコードについては、HL7テーブル0085－検査結果状態－を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。
検査依頼時に動的に検査要求を指定しなければならない場合、たとえば糖負荷試験におけるサンプリング時間（前、30、60、120分など）、OBXセグメントの結果状態を"O"とすることでOMGメッセージ

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

における検査項目の定義として使用できる。その場合検査項目は必須であるがOBX-2、OBX-5はNullである。
【内視鏡】検査依頼メッセージでは、‘O’のみ使用する。但し、プロファイル情報など検査に必要な情報の場合は、検査依頼メッセージであっても、検査済みのプロファイル情報という意味で、‘F’を使用する。

テーブル 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBXレコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail desctiption only (no result) 依頼詳細記述 （結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 －－ 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as ‘preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) たとえば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

OBX-12 Effective Date Last Obs Normal Value 最新正常値有効日付 (TS) 00580
定義： 測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-13 User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検 (ST) 00581
定義： これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。
【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-14 Date-Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582
定義： 検査日時は撮影検査が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者ID (CE) 00583
定義： 検査実施責任者の一意な識別子。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584
定義： 要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936
定義:検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

OBX-18 Equipment instance identifier 装置識別ＩＤ (EI) 01479
Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>
定義:このフィールドは検査に用いられる装置の識別IDである。これは、施設の装置マスタリストからきている識別IDである。マスタリストにおいて施設はnamespace IDをもとに、若しくはそれがない場合は実施者ID(OBX-15)をもとに識別される。装置タイプ、シリアルナンバーなどの情報はマスタリストより取得することが可能であろうが、それらの情報を全てのOBXに格納して送信することを想定しているわけではない。このフィールドの繰り返しにより、装置の階層構造を示すことができる(低階層が先)。つまり、装置のモジュール、モジュールで構成した装置、複数の装置をさらにまとめたクラスタなどである。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

OBX-19　Date/time of the analysis 分析日付　(TS)　01480

定義:このフィールドは、実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.8 TQ1 - Timing/Quantity　タイミング/数量セグメント

TQ1セグメントは、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求（時間にこだわらず）での量、頻度、優先度の値に幅を持たせることが可能になる。

【内視鏡】内視鏡では優先度で使用し、優先度の指定は必須とする。

TQ1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	R		01627	Set ID - TQ1　TQ1をIDにセット	
2	20	CQ	O	O		01628	Quantity　数量	
3	540	RPT	O	O	Y	01629	Repeat Pattern　繰返しパターン	
4	20	TM	O	O	Y	01630	Explicit Time　明示的な時間	
5	20	CQ	O	O	Y	01631	Relative Time and Units　関連時間/単位	
6	20	CQ	O	O		01632	Service Duration　サービス期間	
7	26	TS	O	O		01633	Start date/time　開始日時	
8	26	TS	O	O		01634	End date/time　終了日時	
9	250	CWE	O	R	Y	01635	Priority　優先度	
10	250	TX	O	O		01636	Condition text　条件テキスト	
11	250	TX	O	O		01637	Text instruction　テキスト指令	
12	10	ID	C	C		01638	Conjunction　連結	
13	20	CQ	O	O		01639	Occurrence duration　発生期間	
14	10	NM	O	O		01640	Total occurrence's　総発生	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

TQ1 フィールド定義

TQ1-1　Set ID - TQ1　(SI)　01627

定義:最初の伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同順。

TQ1-2　数量　(CQ)　01628

Components:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

Subcomponents for Units (CE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき量を数量的に指定する。もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自固有な発行者/実行者番号が与えられることを強く推奨する。

TQ1-3　繰返しパターン　(RPT)　01629

Components:　<Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period

JAHIS © 2010 All right reserved.　

Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

Subcomponents for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:繰返しの頻度は、その治療が管理されるべき頻度である。オーダエントリシステムで使用された頻度と SIG コード表と同様である。

このフィールドは、もっと複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、"|QD~HS|"として繰り返される。

数量タイミング仕様がある期間の後異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しを示すために使用されなければならない。現状の TQ1 の終了日は現状タイミング仕様の終了を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング仕様が開始する時を示す。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは平行して実行されるかを決定する。

TQ1-4 明示的時間 (TM) 01630

定義:このフィールドはTQ1-3のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。Dこのフィールドは、実際の管理時間が施設内でまちまちであるケースで TQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が一日よりももっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ管理時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求(TQ1-7 によって与えられる)の実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後、最初の明示的時間に最初の管理が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングによって更新される。

使用上の注意:このフィールドは、繰返しパターンが存在しない場合には無効。

TQ1-5 相対的時間と単位 (CQ) 01631

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

Subcomponents for Units (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、明示的時間間隔フィールドの値を上書きする。

CQ データ型の単位コンポーネントは、時間単位に制約される。

例:

```
TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ANS+  - Q1H is defined with an interval between services of 60 minutes
TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ANS+  - Q6H is defined with an interval between services of 6 hours
TQ1|1|1|QD||1^d&&ANS+  - QD is defined with an interval between services of 1 day
```

TQ1-6 サービス期間Service Duration (CQ) 01632

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

Subcomponents for Units (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。

このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位ポーションは、時間の単位に制約される。

例:ワイヤープールを3日間に一日 20 分。3日ともサービス期間。

```
TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+|||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

TQ1-7 開始日/時間 (TS) 01633

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、サービスが開始されるべき最早日/時間を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日/時間は暗示されるかサービス要求記録(例えば緊急-STAT)の他のフィールドによって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。

サービス実施では、しばしばサービス要求を受け取った後、このフィールドに値が記録される。しかしながら、終了時間は、サービス実施の内部使用のため、開始日/時間をベースとして計算している。

JAHIS © 2010 All right reserved.

TQ1-8　終了日/時間　(TS)　01634

Components:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:サービス要求者によって実施される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日/時間を含む。仮に指定された時間によってサービスが実行されなかった場合、そのサービスはまったく実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するものではなく、サービス実施が終了日/時間を記入するかも知れない。それを受け取る施設と実際開始時間をベースとして。

終了日/時間の値に関わらず、サービスは期間或いは終了日/時間によって指定された最早日/時間で停止されるべき。

TQ1-9　優先度　(CWE)　01635

Components:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、要求の優先度を記述する。

【内視鏡】優先度は以下に示す通りであるが、優先度を指定しない場合でも、デフォルトの"R"を指定する必要があり、省略はしない。

例）R

S^緊急

テーブル0485—拡張優先度コード

値	内容	コメント
S	Stat	最も高い優先度（緊急）
A	ASAP	S オーダの後で記入（できるだけ早く）
R	Routine	デフォルト（ルーチン）
P	Preop	（術前）
C	Callback	
T	Timing critical	要求はできるだけ要求時間に近づけることが重要。例えば抗菌レベル。
TS<integer>		タイミングは<整数値＞秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値＞分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値＞時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値＞日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値＞週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値＞月以内であることが重要
PRN	As needed	

TQ1-10　条件テキスト　(TX)　01636

定義:これは薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。

このフィールドの存在は、この薬がどのように、かつ或いはいつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということを意味するためと捉えるべき。

TQ1-11　テキスト指令　(TX)　01637

定義:このフィールドは、指示のフルテキスト版である。（オプション）

TQ1-12　連結　(ID)　01638

定義:このフィールドは、2番目の TQ1 セグメントを従える。可能な値に関しては、*テーブル 0472 – TQ 連結 ID* を参照のこと。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

テーブル 0472 - TQ 連結ID

値	内容	コメント
S	同期（Synchronous）	同期. 今回の指定の後に次の指定を行う(*TQ1-7－開始日時、および TQ1-8－終了日時*により制限を受けなければ）。 “S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に 2 番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の 1 時間は Q15 分ごとに血圧を測定し、次の日には 2 時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期 （Asynchronous）	今回の指定と並行して次の指定を行う(*TQ1-7－開始日時、および TQ1-8－終了日時*により制限を受けなければ）。連結“A”により、投薬時などに散見される、2 つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン 1 錠、火曜、木曜、土曜、日曜には 1／2 錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき（採血など）時間・優先度から、サービスを終了すべき（結果報告など）時間・優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、TQ1-8 終了日時及び TQ1-6 継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この 2 つの成分のうち 1 つだけが存在する。
条件ルール：TQ1 セグメントがメッセージ内で繰返される場合、TQ1 セグメントに続く連続を意味する適切な継続時間コードで入力されるべきである。

TQ1-13　発生期間　(CQ)　01639

Components:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>
Subcomponents for Units (CE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはサービスの単独能力についての期間を含んでいる。 このフィールドの数量成分は、入力時ポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。
例えばワールプールを3日間、1日で20分を3回。TQオプションで繰り返し無し。

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ANS+|9<cr>

TQ1-14　発生総数　(NM)　01640

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日/時間(TQ1-8)と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日/時間を越えて延びる場合は、終了日/時間を優先する。その他の場合は発生数を優先する。
例：ワールプールを３日間、１日で２０分を３回。総発生数が９回。The total occurrences would be 9.

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ANS+|9<cr>

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

7.9 IPC - Imaging Procedure Control Segment
画像手続き制御セグメント

IPC セグメントは画像サービス要求を実行するのに必要なタスクに関する情報を含んでいる。この情報には、場所、タイプ、機器（モダリティ）のインスタンスIDや段階（プロシジャのステップ）が含まれる。

IPC属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	80	EI	R	R		01330	Accession Identifier　受付番号	
2	22	EI	R	O		01658	Requested Procedure ID　要求手続きID	
3	70	EI	R	R		01659	Study Instance UID　検査インスタンスUID	
4	22	EI	R	O		01660	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	16	CE	O	R		01661	Modality　モダリティ	
6	250	CE	O	O		01662	Protocol Code　プロトコルコード	
7	22	EI	O	O		01663	Scheduled Station Name　予約済ステーション名	
8	250	CE	O	O		01664	Scheduled Procedure Step Location 予約済手続きステップ場所	
9	16	ST	O	O		01665	Scheduled AE Title　予約済AEタイトル	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

IPC フィールド定義

IPC-1 Accession Identifier 受付番号(EI) 01330

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:EIS によって生成された画像サービス（要求）に対する実施オーダを識別する識別子である。この番号は、オーダ実施番号と1対1に対応するが、EIS による作業を内部的に追跡するのに使用され、かつ部門内で機器間のコミュニケーションにも使用される。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。このフィールドの要素と同じ値を表す DICOM 属性(0008,0050)については DICOM Part3 を参照のこと。

IPC-2 Requested Procedure ID 要求手続きID(EI) 01658

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^<Universal ID Type (ID)>

定義:画像サービスのオーダの一部として実行するEISによって選択された要求手続きの識別子を表す。このフィールドの最初の要素は、要求手続きを特定するための文字列である。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。この文字列は、オーダ内の要求手続きを一意に特定できる必要がある(受付番号=accession number で指定される)。この固有性は、時間の経過

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

によらず一貫していなければならない。このフィールドと同じ値を表す DICOM 属性(0040,0001)については DICOM Part3 を参照のこと。第二成分から第四成分には、ワークフロー管理用 EIS の ID を含む。これは、HDデータ型である。第二成分は、ユーザ定義のコード値で、これはネットワークの他のアプリケーションからそのアプリケーションを一意に特定するものである。文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。要求手続きの第二成分は、オーダ実施者を識別する。

IPC-3 Study Instance UID 検査インスタンスUID(EI) 01659

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:要求手続きによって収集すべきである画像や他の DICOM オブジェクトに対して、EIS によって割り当てられた画像検査のグローバルな識別子である。これは Entry Identifier data type のケースである。第一成分は検査を特定する文字列である。DICOM との互換性を保つために文字数は 64 桁に制限する必要がある。このフィールドと同じ値を表す DICOM 属性(0020,000D)については DICOM Part3 を参照のこと。第二成分から第四成分には、EIS の ID を含む。これは、HDデータ型である。第二成分は、ユーザ定義のコード値で、これはネットワークの他のアプリケーションからそのアプリケーションを一意に特定するものである。文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。検査インスタンス UID の第二成分は、オーダ実施者を識別する。

IPC-4 Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID(EI) 01660

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:要求手続きの特定の手続きステップ(副手続き)の識別子である。この要求手続きは、EIS が画像サービスのオーダの対として選択した手順である。これは Entry Identifier data type のケースである。第一成分は、手続きステップを識別する文字列である。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。このフィールドと同じ値を表す DICOM 属性(0040,0009)については DICOM Part3 を参照のこと。第二成分から第四成分には、EIS の ID を含む。この ID は、HD データ型である。第二成分はユーザ定義のコード値でこれはネットワークの他のアプリケーションからそのアプリケーションを一意に特定するものである。文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。要求手続き番号[1]の第二成分は、オーダ実施者を識別する。

IPC-5 Modality モダリティ(CE) 01661

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:手続きステップの実行によりデータ収集を要求された設備のタイプ。収集されたデータは、要求手続きに対応した画像検査のイメージを生成するために使用される。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。このフィールドの第一成分と同じ値を表す DICOM 属性(0008,0060)については DICOM Part3 を参照のこと。

IPC-6 Protocol Code プロトコルコード(CE) 01662

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:予約済手続きステップの実行するプロトコルを識別する登録をコード化した。プロトコルコードは、オペレータの操作のように機器の設定を識別するかもしれない。 プロトコルは、特定の手続きステップを実行するための手続き計画によって記述された動作の仕様である。予約済手続き計画は、1つ以上の手続きコードで伝達される唯一のプロトコルを含んでいる。プロトコルインスタンスを特定するコードは、ローカルに確立されるか、機器メーカや専門家団体によって提供されたプロトコルカタログから選択される。複数プロトコルは、1つの予約済手続きステップには存在しない。このフィールドの第一成分から第三成分と同じ値を表す DICOM 属性(0040,0008)については DICOM Part3 を参照のこと。

[1] 予約済み手続きステップ ID の誤り

JAHIS © 2010 All right reserved.

DICOMとの互換性を保つために第一成分の文字数は16桁に、第二成分の文字数は64桁に制限する必要がある。

IPC-7 Scheduled Station Name 予約済ステーション名(EI) 01663

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースのインスタンスを特定する。このフィールドの第一成分は、特定の機器を識別する文字列である。DICOMとの互換性を保つために文字数は16桁に制限する必要がある。このフィールドの第一成分と同じ値を表すDICOM属性(0040,0010)についてはDICOM Part3を参照のこと。第二成分から第四成分はHDデータ型により組織を識別する。

IPC-8 Scheduled Procedure Step Location 予約済手続きステップ場所(CE) 01664

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースに関するローカルに定義された物理的な位置を指定する。通常、位置は地理的に定義(例えば構内や建物、フロアなどで識別)されているが、別の意味で形成された設備の識別のために使用されることもある。フィールドの値は、ローカルに定義されたコード構成により得られる。DICOMとの互換性を保つために文字数は16桁に制限する必要がある。このフィールドの第一成分と同じ値を表すDICOM属性(0040,0011)についてはDICOM Part3を参照のこと。

IPC-9 Scheduled Station AE Title 予約済ステーションAEタイトル(ST) 01665

定義:特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースのAEタイトルを含む。AEタイトルは、通信用アドレス特定を目的としたDICOM互換のインスタンスを識別するIDである。DICOMとの互換性を保つために文字数は16桁に制限する必要がある。このフィールドの要素と同じ値を表すDICOM属性(0040,0001)についてはDICOM Part3を参照のこと。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.10 MSA - Message Acknowledgment Segmentメッセージ応答セグメント

MSAセグメントは、他のメッセージに対する応答内容を定義する。

MSA属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 肯定応答ｺｰﾄﾞ	
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID ﾒｯｾｰｼﾞ制御ID	
3	80	ST	B	B		00020	Text Message テキストメッセージ	
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number 予想ｼｰｹﾝｽ	
5			取消	取消		00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答ﾀｲﾌﾟ	
6	250	CE	B	B		00023	Error Condition ｴﾗｰ状態	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSA フィールド定義

MSA- 1 Acknowledgment Code 肯定応答ｺｰﾄﾞ 00018

定義: このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。テーブル0008－肯定応答コードを参照。

テーブル 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答ﾀｲﾌﾟ

Value	Description
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾
AE	基本モード:アプリケーション異常 拡張モード:アプリケーション肯定応答:異常
AR	基本モード:アプリケーション拒否 拡張モード:アプリケーション肯定応答:拒否
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾
CE	拡張モード:受諾肯定応:コミット異常
CR	拡張モード:受諾肯定応:コミット拒否

MSA-2 Message Control IDメッセージ制御ID （ST） 00010

定義:このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ （ST） 00020

定義: エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-4 Expected Sequence Number 次に来るべきシーケンス番号 （NM） 00021

定義: シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

JAHIS © 2010 All right reserved.

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type　遅延肯定応答タイプ　（ID）　00022

定義：このフィールドは下位互換性のためのものである。

テーブル 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ

Value	Description
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された
F	処理の後の承認

注意:MSA-5はv2.2で否定されたので、詳細はv2.5の規格からは削除されている。

MSA-6 Error Condition　エラー条件　（CE）　00023

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義:このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3－テキストメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

MSA-6はHL7v2.4で否決された。ERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

7.11 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

ERR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	493	ELD	B	B	Y		00024	エラーコードと位置	
2	18	ERL	O	O	Y		01812	エラー位置	
3	705	CWE	R	R		0357	01813	HL7エラーコード	
4	2	ID	R	R		0516	01814	影響度	
5	705	CWE	O	O		0533	01815	アプリケーションエラーコード	
6	80	ST	O	O	10		01816	アプリケーションエラーパラメータ	
7	2048	TX	O	O			01817	診断情報	
8	250	TX	O	O			01818	ユーザメッセージ	
9	20	IS	O	O	Y	0517	01819	人への通知指標	
10	705	CWE	O	O		0518	01820	無効型	
11	705	CWE	O	O	Y	0519	01821	無効理由コード	
12	652	XTN	O	O	Y		01822	ヘルプデスクコンタクトポイント	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ERR フィールド定義

ERR-1 エラーコードとロケーション (ELD) 00024

Components: <セグメント ID (ST)> ^ <セグメントシーケンス (NM)> ^ <フィールドポジション (NM)> ^ <コード識別エラー (CE)>

コード識別エラーの副成分 for Code Identifying Error (CE): <識別子 (ST)> & <テキスト (ST)> & <コード体系名称 (ID)> & <代替識別子 (ST)> & <代替テキスト (ST)> & <代替コード体系名称 (ID)>

定義:このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。V2.5 のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2 と ERR-3 をかわりに参照のこと。

有効な値については HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード を参照のこと

ERR-2 エラー位置 (ERL) 01812

Componets: <セグメントID (ST)> ^ <セグメントシーケンス(NM)> ^ <フィールドポジション (NM)> ^ <フィールド頻度 (NM)> ^ <成分番号 (NM)> ^ <副成分番号 (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関係するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

ERR-3　HL7 エラーコード　(CWE)　01813

Components: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義:HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値についてはテーブル 0357-メッセージエラー条件コードを参照のこと。

テーブル 0357 – メッセージエラー条件表

値	説明	コメント
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのヴァージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えばデータベースのロック)
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

ERR-4　影響度　(ID)　01814

定義:アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かがエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値はテーブル 0516-エラー影響度を参照のこと。もし ERR-3 の値が"0"の場合、ERR-4 の値は"I"となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったこと示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

テーブル 0516 – エラー影響度

値	説明	コメント
W	警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む, 例)患者へ伝えるべき情報
E	エラー	トランザクションが失敗した。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ERR-5　アプリケーションエラーコード　(CWE)　01815

Componets: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義:発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨される値はテーブル 0533-アプリケーションエラーコードを参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージは java .text.MessageFormat approach4 フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

テーブル 0533 – アプリケーションエラーコード

値	記述	コメント
	推奨値なし	

ERR-6　アプリケーションエラーパラメータ　(ST)　01816

定義:特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大 10 パラメータまで反復が可能である。

例:ERR-5 で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1,日付,媒体}までの期間、{0,数字,通貨単位}の免責をうけることができる”と一致し、ERR-6 における最初の 2 つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は 2002 年 12 月 31 日までの期間、250 ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

ERR-7　診断情報　(TX)　01817

定義:ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

ERR-8　ユーザメッセージ　(TX)　01818

定義:アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

|この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

ERR-9　人への通知指標　(IS)　01819

定義:誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される(患者に知らせてはいけない場合など)。推奨される値はテーブル 0517-情報人物コードを参照のこと

テーブル 0517-情報人物コード

値	説明	コメント
PAT	患者に知らせる	
NPAT	患者に知らせてはいけない	
USR	ユーザに知らせる	
HD	ヘルプデスクに知らせる	

JAHIS © 2010 All right reserved.　

ERR-10　無効型　(CWE)　01820

Componets: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義:特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨される値はテーブル 0518 無効型を参照のこと。

テーブル 0518 –無効型

値	説明	コメント
EXTN	拡張無効	命令された期間より長くサービスを実行する際に指定する無効
INLV	間隔無効	命令された間隔よりも早くサービスの反復を実行する際に指定される無効
EQV	等価無効	システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定される無効

ERR-11　無効理由コード　(CWE)　01821

Components: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義:エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨される値はテーブル 0519-無効理由を参照のこと

テーブル 0519－無効理由

値	説明	コメント
…	推奨値なし	

ERR-12　ヘルプデスクコンタクトポイント　(XTN)　01822

Componets: <記述電話番号 (ST)> ^ <遠距離通話使用コード (ID)> ^ <遠距離通話機器型 (ID)> ^ <Eメールアドレス (ST)> ^ <国コード (NM)> ^ <地域/町コード (NM)> ^ <地域番号 (NM)> ^ <拡張 (NM)> ^ <任意テキスト (ST)> ^ <拡張電話局番 (ST)> ^ <特別ダイアルコード (ST)> ^ <形式外電話番号 (ST)>

定義:特定のエラーに関係するヘルプデスクサポートの電話、E メール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

JAHIS © 2010 All right reserved.

7.12 QRD – Query Definition Segment　問合せ定義セグメント

QRDセグメントを使用して問合せを定義する。応答では問い合わせメッセージのQRDセグメントをエコーバックする。

QRD属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	26	TS	R	R		00025	Query Date/Time 照会日付/時間	
2	1	ID	R	R		00026	Query Format Code 照会フォーマットコード	
3	1	ID	R	R		00027	Query Priority 照会優先度	
4	10	ST	R	R		00028	Query ID 照会ID	
5	1	ID	O	N		00029	Deferred Response Type 遅延応答型	
6	26	TS	O	N		00030	Deferred Response Date/Time 遅延応答日付/時間	
7	10	CQ	R	R		00031	Quantity Limited Request 量限定要請	
8	250	XCN	R	R	Y	00032	Who Subject Filter 対象人物フィルタ	
9	250	CE	R	R	Y	00033	What Subject Filter対象主題フィルタ	
10	250	CE	R	R	Y	00034	What Department Data Code 対象部門データコード	
11	20	VR	O	O	Y	00035	What Data Code Value Qual. 対象データコード修飾子	
12	1	ID	O	O		00036	Query Results level 照会結果レベル	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QRD フィールド定義

QRD-1　Query Date/Time 問合せ日時（TS）00025

定義:このフィールドはアプリケーションプログラムが問合せを作成した日付を含んでいる。

QRD-2　Query Format Code 問合せフォーマットコード（ID）00026

定義:このフィールドでは、採りうるコードについては、テーブル0106－問合せフォーマットコードを参照。

通常はR(診療記録用モード)を指定する。

テーブル0106－ Query/Response Format Code　問合せフォーマットコード

Value	Description
D	応答が表示モードにある
R	応答が診療記録用モードにある
T	応答が表用フォーマットにある

QRD-3　Query Priority　問合せ優先度（ID）00027

定義:このフィールドは応答が期待される時間枠を含んでいる。採りうるコードについては、テーブル0091－問合せ優先度参照。テーブル値と以降のフィールドは、応答の時間枠を指定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

D(遅延応答)はバッチ問合せ時に、ホスト側の処理の問題で即時応答が保証できない様な場合に使用する。応答日付／時間指定遅延応答は処理や運用が複雑になる可能性があり、通常は使用しない。

テーブル0091 - Query Priority 問合せ優先度

Value	Description
D	延引
I	即時

QRD-4 Query ID 問合せID（ST）00028

定義:このフィールドはその問合せに対する一意な識別子を含んでいる。問合せアプリケーションが割り当てる。応答アプリケーションがそのまま返す。

QRD-5 Deferred Response Type 遅延応答タイプ（ID）00029

定義:このフィールドでは採りうる値については、HL7テーブル0107－遅延応答タイプを参照。
QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

テーブル0107- Deferred Response Type 遅延応答タイプ

Value	Description
B	指定された日付／時間の前に
L	指定された日付／時間の後に

QRD-6 Deferred Response Date/Time 遅延応答日時（TS）00030

定義:このフィールドは遅延応答を送る前か後の日時を含んでいる。存在しない場合、応答は可能になった時点で送ることができる(上記QRD-5－遅延応答タイプを参照)。
QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

QRD-7 Quantity Limited Request 数量限定要求（CQ）00031

Components: <quantity (NM) ^ <units (CE)>
定義:このフィールドは要求システムが受諾できる応答の最大長を含んでいる。有効な応答は、第2成分内で指定した単位で与えられた数値である。採りうる値については、テーブル0126－数量限定要求を参照。デフォルトはLIである。
臨床検査システムにおいては通常RD(診療記録)を指定する。

テーブル0126- Quantity Limited Request 量限定要請

Value	Description
CH	文字
LI	行
PG	ページ
RD	診療記録
ZO	ローカルに定義される

QRD-8 Who Subject Filter 対象人物フィルタ（XCN）00032

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (ST)> ^ <given name (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <code identifying the check digit scheme employed(ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)>
Subcomponents of assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>
Subcomponents of assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>
定義:対象人物、つまりだれに関する問合せかを識別する。
通常の運用では次のフォーマットになる。

患者ID^姓^名

JAHIS © 2010 All right reserved.

ここで、姓・名は半角カナ以外の文字とする。(2バイトコードも可)
(注)このフィールドは繰り返し可であるが、複数の患者を指定した場合はQRD-10(対象部門データコード)で指定する内容と各患者の対応が判別できなくなるため、このフィールドを用いて複数の患者を指定する場合はQRD-10を使用しないものとする。

QRD-9　What Subject Filter 対象主題フィルタ （CE） 00033

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
定義:このフィールドは要求に応えるために必要な情報の種類を記述する。有効なコードはトランザクション問合せのタイプを定義し、実装時に施設で拡張することができる。
OSQメッセージ(オーダ照会)においてはORDを使用する。

テーブル0048- What Subject Filter 対象主題フィルタ

Value	Description
ADV	助言／診断
ANU	看護ユニットルックアップ（ベッドにいる患者を返す。空きベッドは除く）
APN	患者名ルックアップ
APP	医師ルックアップ
ARN	看護ユニットルックアップ（ベッドの患者を返す。空きベッドも含む）
APM	カルテ番号問合せ。そのカルテ番号の受付け番号を返す。
APA	口座番号問合せ。一致した受付け番号を返す。
CAN	取り消し。問合せを取り消すために使用される。
DEM	デモグラフィックス
FIN	財務
GOL	目標
MRI	最も最近の入院患者
MRO	最も最近の来院患者
NCK	ネットワーク時刻
NSC	ネットワーク状態変更
NST	ネットワーク統計
ORD	オーダ
OTH	他
PRB	問題
PRO	手順
RES	結果
RAR	処方管理情報
RER	処方コード化オーダ情報
RDR	処方調剤情報
RGR	処方投与情報
ROR	処方箋情報
SAL	すべての予約関連情報。空いた予約枠、予約された予約枠、予約停止枠予約枠を含む
SBK	識別された予定における予約された予約枠
SBL	識別された予定における予約停止枠予約枠
SOP	識別された予定における空いた予約枠
SSA	単一の予約に利用できる時間予約枠
SSR	再度の予約に利用できる時間予約枠
STA	状態
VXI	予防接種情報

QRD-10　What Department Data Code 対象部門データコード（CE） 00034

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>
定義:このフィールドは検査番号、手順番号、薬剤コード、項目番号、オーダ番号などが指定可能である。このフィールドの内容は、直前のフィールドの内容により決定される。このフィールドには、反復区切り文字で区切ることにより、複数の発生を含むことができる。
本フィールドには、原則としてORC-2(依頼者番号)を指定するものとする。
検体番号等でやり取りする必要がある場合には、HIS側－LIS側両者で話し合って内容を決めておくこと。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

QRD-11　What Data Code Value Qual. 対象データ・コード値修飾子（VR）00035

Components: <first data code value (ST)> ^ <last data code value (ST)>

定義:このフィールドは対象データコード値修飾子を含んでいる。その問合せをさらに規定するウィンドウまたは範囲。このフィールドには、成分セパレータによって区切られた開始／停止が含まれることがある。

QRD-10で指定する番号の範囲指定はこのフィールドで行う。

QRD-12　Query Results level 結果レベル（ID）00036

定義:このフィールドは結果の詳細レベルを制御するのに使用する。採りうるコードについては、テーブル0108－問合せ結果レベルを参照。

臨床検査依頼照会では通常はO（オーダとオーダ状態）を指定する。

臨床検査結果照会では通常はT（すべての結果）を指定する。

テーブル0108- Query Results level 問合せ結果レベル

Value	Description
O	オーダとオーダ状態
R	長文を除いた結果
S	状態のみ
T	すべての結果

JAHIS © 2010 All right reserved.　

7.13 QRF – Query Filter Segment　問合せフィルタセグメント

QRFセグメントはQRDセグメントとともに使用し、問合せの内容をさらに細かくする。応答では問い合わせメッセージのQRFセグメントをエコーバックする。

QRF属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	ST	R	R	Y	00037	Where Subject Filter 対象場所フィルタ	
2	26	TS	O	O		00038	When Data Start Date/Time 対象データ開始日時	B/N
3	26	TS	O	O		00039	When Data End Date/Time 対象データ終了日時	B/N
4	60	ST	O	N	Y	00040	What User Qualifier 対象ユーザ資格名	
5	60	ST	O	N	Y	00041	Other QRY Subject Filter 他のQRY主題フィルタ	
6	12	ID	O	O	Y	00042	Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子	
7	12	ID	O	O	Y	00043	Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状態修飾子	
8	12	ID	O	O	Y	00044	Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子	
9	60	TQ	O	O		00694	When Quantity/Timing Qualifier 数量/タイミング修飾子	
10	10	NM	O	O	Y	01442	Search Confidence Threshold　サーチ範囲	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QRF フィールド定義

QRF-1　Where Subject Filter 対象場所フィルタ（ST）00037

定義:このフィールドはその問合せが関連する部門、システム、サブシステムを識別する。このフィールドは、LAB~HEMOなどのように繰り返すことができる。

QRF-2　When Data Start Date/Time 対象データ開始日時（TS）00038

定義:このフィールドは対象となるデータの開始日時の情報を含んでいる。ここで指定した値も含む。

QRF-3　When Data End Date/Time 対象データ終了日時（TS）00039

定義:このフィールドは対象となるデータの終了日時の情報を含んでいる。ここで指定した値も含む。

QRF-4　What User Qualifier 対象ユーザ修飾子（ST）00040

定義:このフィールドは関心データの特性をさらに定義する識別子を含んでいる。
通常、本フィールドは使用しない。

QRF-5　Other QRY Subject Filter 他のQRY対象フィルタ（ST）00041

定義:このフィールドは2つのシステム間で使用する施設定義のフィルタを含んでいる。このフィルタは、関係するアプリケーションや施設に対し特定の意味を持つコードとフィールド定義を使用する。
通常、本フィールドは使用しない。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

QRF-6　Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子（ID）00042

定義:このフィールドはQRF-2－対象データ開始日時とQRF-3－対象データ終了日時で参照される日付のタイプを指定する。

臨床検査依頼照会では通常はSCHD(予定日時)を指定する。

テーブル0156- Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子

Value	Description
ANY	範囲内の任意の日時
COL	収集日時。フィルムまたはサンプル収集日時と同等
ORD	オーダ日時
RCT	取り消し日時。検体受領日時。臨床検査部門での検体の受領
REP	結果報告日時。臨床検査部門での報告日時
SCHED	予定日時

QRF-7　Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状況修飾子（ID）00043

定義:このフィールドはQRF-2－対象データ開始日時およびQRF-3対象データ終了日時により定義された日付範囲で選択した対象の状況のタイプを示す。

通常はANY(任意の状態)を指定する。

テーブル0157- Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状況修飾子

Value	Description
ANY	任意の状態
CFN	現在の最終値。最終か修正かを問わない。
COR	修正のみ（修正付きの最終なし）
FIN	最終のみ（修正なし）
PRE	予備
REP	報告完了日時

QRF-8 Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子（ID）00044

定義:このフィールドはその日時範囲で特定のタイプの値が指定できる。

通常はREV(範囲内の全ての値)を指定する。

テーブル0158- Date/Time Selection Qualifier 日時選択資格要素

Value	Description
1ST	範囲内の最初の値
ALL	範囲内のすべての値
LST	範囲内の最終値
REV	範囲内のすべての値であって、日時の逆順に返されたもの（別途指示がないかぎりこれがデフォルトである）

QRF-9　When Quantity/Timing Qualifier タイミング／量修飾のとき（TQ）00694

Components: <quantity (CQ)> ^ <interval (CM)> ^ <duration> ^ <start date/time (TS)> ^ <end date/time (TS)> ^ <priority (ID)> ^ <condition (ST)> ^ <text (TX)> ^ <conjunction (ID)> ^ <order sequencing>

定義:このフィールドによって、間隔定義が使用され問合せに対する多重応答を指定することができる。この実施者を追加すると、新しい問合せ使用は、「QRF-2－データ開始日付／時間の時」および「QRF-3－データ終了日付／時間の時」を将来の導入において使用できなくなる。

QRF-10　Search confidence threshold　サーチ範囲（NM）01442

定義:このフィールドは、条件に合った敷値を確立した、数値を含んでいる。この値は応答システムの条件に合った患者のレコードを返すとき、利用される。

例: |0.50| or |8.25|

オプションフィールドの使い方として、検索システムが患者とのマッチ数を採用する数値アルゴリズムを潜在的に決定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

7.14 TXA – Transcription Document Header Segment
電子媒体化文書ヘッダセグメント

TXA セグメントは記述された文書に関する情報を含んでいるが、文書のテキストを含んでいない。メッセージは文書状態の変更の結果作成される。この情報は他のヘルスケア・システムを更新し、それらがレポートシステムにおいて利用可能なレポートを識別することを可能にする。これらのシステムで TXA メッセージ情報を管理することで、レポートシステムへの文書を要求する検索条件を構築するために利用可能となる。

TXA属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00914	Set ID – TXA セットID ー TXA	
2	30	IS	R	R		00915	Document Type 文書タイプ	
3	2	ID	C	C		00916	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	
4	26	TS	O	O		00917	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	250	XCN	C	C	Y	00918	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	26	TS	O	O		00919	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	26	TS	C	C		00920	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	26	TS	O	O	Y	00921	Edit Date/Time 編集日付／時刻	
9	250	XCN	O	O	Y	00922	Originator Code/Name 起案者コード／名前	
10	250	XCN	O	O	Y	00923	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	250	XCN	C	C	Y	00924	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	30	EI	R	R		00925	Unique Document Number 一意的な文書番号	
13	30	EI	C	C		00926	Parent Document Number 親文書番号	
14	22	EI	O	O	Y	00216	Placer Order Number 依頼者発注番号	
15	22	EI	O	O		00217	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	30	ST	O	O		00927	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	2	ID	R	R		00928	Document Completion Status 文書完成状態	
18	2	ID	O	O		00929	Document Confidentiality Status 文書機密性状態	
19	2	ID	O	O		00930	Document Availability Status 文書利用可能性状態	
20	2	ID	O	O		00932	Document Storage Status 文書保管状態	
21	30	ST	C	C		00933	Document Chamge Status 文書変更理由	
22	250	PPN	C	C	Y	00934	Authentication Person, Time Stamp 確証担当者、時刻スタンプ	
23	250	XCN	O	O	Y	00935	Tribal Citizenship 配布されたコピー（受取人のコードおよび名前）	

Optionality
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan（JAHIS仕様での取り扱い）
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

TXA フィールド定義

TXA-1　Set ID – TXA セットID － TXA (SI)　00914

定義:トランザクションの追加、変更、削除の目的でトランザクションを一意的に識別する数字を含んでいる。

TXA-2　Document Type 文書タイプ (IS)　00915

定義:(レポートシステムで定義された)文書のタイプを識別する。利用者定義表0270－文書タイプ」を参照。組織でさらに文書タイプを加えることは自由である。

テーブル 0270 – Document Type 文書タイプコード

Value	Description
AR	Autopsy report 解剖報告書
CD	Cardiodoagnostics 心臓診断
CN	Consultation 診察
DI	Diagnostic imaging 画像診断
DS	Discharge summary 退院要約
ED	Emergency department report 救急救命室報告書
HP	History and physical examination 病歴および理学検査
OP	Operative report 手術報告書
PC	Psychiatric consultation 精神分析診察
PH	Psychiatric history and physical examination 精神分析病歴および理学検査
PN	Procedure note 手順ノート
PR	Progress note 進行ノート
SP	Surgical pathology 外科病理学
TS	Transfer summery 転院要約

TXA-3　Document Content Presentation 文書内容のプレゼンテーション (ID)　00916

定義:これは、メッセージがいくつかのOBXセグメント中で示されるような内容を含んでいる場合は常に要求される条件付きのフィールドである。このフィールドはこの文書が入手されたか、または作成された方法を識別する。有効な値については、「HL7表0191－参照データの主要なタイプ」 HL7 Table 0191 – Type of referenced data を参照すること。

テーブル 0191 –Type of referenced data 参照データの主要なタイプ

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data 他のアプリケーションデータ。特に解読できないバイナリデータ(HL7 V2.3 and later)
AU	Audio data 音声データ (HL7 V2.3 and later)
FT	Formatted text 形式化テキスト (HL7 V2.2 only)
IM	Image data 画像データ (HL7 V2.3 and later)
multipart	MIME multipart package MIMEマルチパートパッケージ(CDA per 2.5.2)
NS	Non-scanned image スキャンされていない画像(HL7 V2.2 only)
SD	Scanned document スキャンされた文書 (HL7 V2.2 only)
SI	Scanned image スキャンされた画像 (HL7 V2.2 only)
TEXT	Machine readable text document 機械で読めるテキスト文書(HL7 V2.3.1 and later)
TX	Machine readable text document 機械で読めるテキスト文書 (HL7 V2.2 only)

TXA-4　Activity Date/Time アクティビティ日付／時刻(TS)　00917

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、手順あるいは活動を実行した日付であるとして文書中で識別された日付／時刻を含んでいる。この日付は、手術、非侵襲的な手順、診察、検査などの日付を識別することができる。

TXA-5　Primary Activity Provider Code/Name プライマリィアクティビティ・プロバイダーのコードと名前(XCN)　00918

JAHIS © 2010 All right reserved.　

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^<Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^<Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^<Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^<Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:このフィールドは、手順あるいは活動の実行の、責任者として文書中で識別された人物の名前を含んでいる。このフィールドは、看護者のコードおよび名前(可能な場合)を含んでいる。このフィールドは、TXA-4－アクティビティ日付の値の存在に基づく条件付きフィールドである。

TXA-6　Origination Date/Time　作成日付／時刻　(TS)　　00919

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、文書を作成した(口述診療記録や診療記録したなど)日付および時刻を含んでいる。

TXA-7　Transcription Date/Time　記録日付／時刻　(TS)　　年齢　00920

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、入力情報を実際に電子媒体化した日付および時刻を含んでいる。このフィールドは、「口述診療記録した」のケースを除きTXA-17－文書完成状態」の値の存在に基づく条件付きフィールドである。

TXA-8　Edit Date/Time　編集日付／時刻　(TS)　　00921

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、文書を編集した日付および時刻を含んでいる。

TXA-9　Originator Code/Name　作成者のコード／名前　(XCN)　　00922

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^<Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^<Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^<Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^<Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:文書を起こした(すなわち、口述診療記録した)人物を識別する。文書の作成者は、文書の認証に責任を負う人物と異なってもよい。

TXA-10　Assigned Document Authenticator　割り当てられた文書認証者　(XCN)　　00923

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^<Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^<Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^<Name Assembly Order (ID)> ^<Effective Date (TS)> ^

JAHIS © 2010 All right reserved.　

<Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^<Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:このフィールドは文書の認証に責任を負う人物を識別するが、この人物は作成者と異なってもよい。複数の人が認証に責任を負ってもよい。このフィールドは、繰り返すことが許される。

TXA-11 Transcriptionist Code/Name 記録者のコード／名前 (XCN) 00924

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^<Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^<Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^<Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)>^<Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:このフィールドは、文書を電子媒体化する人物を識別する。これは条件付きの値である。この値はすべての電子媒体化された文書上で必要とされる。

TXA-12 Unique Document Number 一意な文書番号 (EI) 00925

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^<Universal ID Type (ID)>

定義:このフィールドは、送信システムによって割り当てられた一意な文書番号を含んでいる。この文書番号は、受信システムが将来の更新のときにこの文書に一致させるために、また同様に問合せのとき文書を識別するため使用される。ベンダーが一意な文書番号を提供しない場合、あるタイプの文書識別子をここに入力するのがよいか、あるいは一意な文書ファイル名を利用するのがよい。

TXA-13 Parent Document Number 親文書番号 (EI) 00926

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID(ST)>^<Universal ID Type (ID)>

定義:このフィールドは、この文書が属する親文書を識別する文書番号を含んでいる。親文書番号は、受信システムが将来の更新のときにこの文書に一致させるために使用される。これはT05(文書補遺通知)、T06(文書補遺通知および内容)、T09(文書置換通知)、およびT10(文書置換通知および内容)で常に要求される条件付きのフィールドである。

TXA-14 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^<Universal ID Type (ID)>

定義:最初の成分はオーダ詳細セグメント(例えばOBR)を識別する依頼者オーダ番号である。この文字列は特定の依頼者アプリケーションにおいてオーダ(オーダ詳細セグメントで指定されたように)を他のオーダから一意に識別しなければならない。この番号の一意性は時間が経過しても維持されなければならない。第2から第4までの成分は医療機関のネットワーク上にある他のアプリケーションからそのアプリケーションを一意に定義する文字列である。

TXA-15 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^<Universal ID Type (ID)>

JAHIS © 2010 All right reserved.

定義:最初の成分はオーダ詳細セグメント(例えばOBR)を識別する実施者オーダ番号である。この文字列は特定の実施者アプリケーションにおいてオーダ(オーダ詳細セグメントで指定されたように)を他のオーダから一意に識別しなければならない。この番号の一意性は時間が経過しても維持されなければならない。第2から第4までの成分は医療機関のネットワーク上にある他のアプリケーションからそのアプリケーションを一意に定義する文字列である。

TXA-16 Unique Document File Name 一意な文書ファイル名 (ST) 00927

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:送信システムによって文書に割り当てられた一意な名前を含んでいる。このファイル名は受信システムが将来の更新の際、この文書に一致させるために使用される。

TXA-17 Document Completion Status 文書完成状態 (ID) 00928

定義:このフィールドは、文書の現在の完成状態を識別する。定義表の有効な値について「HL7表0271－文書完成状態」*HL7 table 0271 - Document completion status*を参照すること。

テーブル 0271 – Document completion status 文書完成状態

Value	Description
DI	Dictated 口述記録済
DO	Documented 文書化済
IP	In Progress 進行中
IN	Incompleted 未完成
PA	Pre-authenticated 認証前
AU	Authenticated 認証済
LA	Leagally authenticated 法律上認証済

TXA-18 Document Confidentiality Status 文書機密状態 (ID) 00929

定義:この情報に特別の機密性保護をどの程度適用するのがよいかを識別するオプションのフィールドである。データ要素をこれらの分類に割り当てるかどうかは、医療組織の裁量に任されている。有効な値に関しては「HL7表0272－文書機密状態」*HL7 table 0272 - Document confidentiality status*を参照すること。

テーブル 0272 – Document confidentiality status 文書機密状態

Value	Description
V	Very restricted 非常に制限された
R	Restricted 制限された
U	Usual control 通常の管理

TXA-19 Document Availability Status 文書可用性状態(ID) 00930

定義:診療での利用に対する文書の利用可能性を識別するオプションのフィールドである。もし文書を認証する前に文書を診療に使用することを、組織の業務規則が許している場合、このフィールドの値は「AV」に設定されるのがよい。文書が診療に利用可能になった場合、それを変更または削除することができない。ある時点で誤った文書が利用可能になっており、置換が適切でない場合、それは「取り消された」とマークして除去するが、これは文書が誤った患者に割り当てられる場合と同様である。追加情報が補遺を介して提供されねばならないが、補遺は別途認証され日付／時刻が刻印される。もし状態が「利用可能である」文書の内容を改訂しなければならない場合、これは代替文書を発行することによって行うが、代替文書は別途認証され日付／時刻が刻印される。有効な値については、「HL7表0273－文書利用可能性状態」*HL7 table 0273 - Document availability status*を参照すること。

JAHIS © 2010 All right reserved.

テーブル 0273 – Document availability status 文書可用性状態

Value	Description
AV	Available for patient care 患者ケアに利用可能
CA	Deleted 患者ケアに利用可能
OB	Obsolete 廃棄
UN	Usual control 通常の管理

TXA-20 Document Storage Status 文書保管状態 (ID) 00932

定義:このオプションのフィールドは文書の保管状態を識別する。有効な値については、「HL7表0275－文書保管状態」を参照すること。*HL7 table 0275 - Document storage status* を参照すること。

テーブル 0275 – Document storage status 文書保管状態

Value	Description
AV	Active 有効
AA	Active and Archived 有効かつ書庫格納済
AR	Archived 書庫格納済(有効ではない)
PU	Purged 削除済

TXA-21 Document Change Reason 文書変更理由 (ST) 00933

定義:この自由なテキストフィールド(30文字までの制限)は、文書状態変更の理由を含んでいる。

TXA-22 Authentication Person,Time Stamp(set) 認証者、タイムスタンプ (PPN) 00934

定義:このフィールドは一組の「誰」が「いつ」認証したかの成分を含んでいる(認証が手作業あるいは電子的のいずれにしても)。日付/時刻の領域は認証された日付/時刻を記述している。残る領域は認証者を特定している。もし、認証者あるいは認証時刻に Nullではない値が入っているとき双方の値はNull以外の値が入る。これは条件付きのフィールドである。「TXA-17－文書完成状態」の状態がAU(認証された)あるいはLA(法律上認証された)の場合、すべての成分が要求される。

TXA-23 Distributed Copies 配布されたコピー (XCN) 00935

定義:このフィールドはこの文書の写しを受け取った人物を識別する。

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

7.15 EVN - Event Type Segment 事象型セグメント

EVNセグメントは受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知するときに使用する。

HL7属性表- EVN – Event Type 事象型

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	B	B		00099	Event Type Code 事象型コード
2	26	TS	R	R		00100	Recorded Date/Time 事象記録日時
3	26	TS	O	C		00101	Date/Time Planned Event 事象計画日時
4	3	IS	O	O		00102	Event Reason Code 事象理由コード
5	3225	XCN	O	O	Y	00103	Operator ID 操作者 ID
6	26	TS	O	C		01278	Event Occurred 事象発生日時
7	227	HD	O	R		01534	Event Facility 事象施設

EVN フィールド定義

EVN-1 Event Type Code 事象型コード (ID) 00099

定義:このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。事象型コード情報の伝達のためには、「MSH-9メッセージ型」の2番目の成分(トリガイベント)を用いることが推奨される。このフィールドは、入院、転科転棟、または患者登録などのトリガイベントに相当する事象からなる。有効な値についてはHL7表003を参照のこと。

EVN-2 Recorded Date/Time 事象記録日時 (TS) 00100

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義:殆どのシステムではトランザクションが入力されたシステム日時をデフォルトとしているが、上書きすることも許可されている。

EVN-3 Date/Time Planned Event 事象計画日時 (TS) 00101

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドはこの事象が計画された日時からなる。PV2-8 予定入院日時、PV2-9予定退院日時、PV2-47予定帰院日時の場合できる限り使用するよう推奨する。

EVN-4 Event Reason Code 事象理由コード (IS) 00102

定義:このフィールドはこの事象についての理由からなる。推奨値は使用者定義表0062-事象理由を参照。

使用者定義表 0062 - Event reason 事象理由

Value	Description	Comment
01	Patient request 患者の要求	
02	Physician/health practitioner order 医者／医療提供者のオーダ	
03	Census management 調査管理	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

EVN-5 Operator ID 操作者ID (XCN) 00103

定義:このフィールドはトリガイベントに対して責任のある個人を識別する。推奨値は使用者定義表0188-操作者IDを参照。

使用者定義表0188 - Operator ID 操作者ID

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

JAHIS © 2010 All right reserved.

EVN-6　Event Occurred　事象発生日時 (TS)　01278

成分:　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは事象が実際に発生した日時からなる。例えば、転科転棟(A02転科転棟)で、このフィールドは実際に患者が転科転棟した日時からなる。取消事象で、このフィールドは実際に取消が発生した日時からなる。

EVN-7　Event Facility 事象施設　(HD)　01534

成分:　<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:このフィールドはその事象が発生した実際の施設を識別しメッセージを送信した施設(MSH-4)と区別される。おそらく操作者(EVN-5)がその事象を入力した施設である。

使用例:システムAはその患者が最初に登録されたところにある。この登録メッセージはMPI、システムBに送信される。MPIはこの更新事象を同報する必要があり、送信施設となる。この新しいフィールドにより事象が発生した最初の施設情報を保持することができる。MPIは最初の事象発生施設について権限割当機能を実行しているといえるID番号について権限を割り当てることができる。

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

7.16 ZE1 - Performed Data Segment 実施情報セグメント

ZE1セグメントでは、内視鏡検査の実施情報で、「手技情報」「医療従事者情報」「使用物品情報」等の情報を含んでいる。1つの検査オーダに対し、複数の実施情報が生じた場合に、ZE1セグメントは複数存在する。

ZE1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI		R		ZE001	セット ID ー ZE1
2	20	IS		R		ZE002	制御コード　予定／実施
3	483	CWE		R		ZE003	手技
4	16	NM		O		ZE004	手技回数
5	483	CWE		O		ZE005	医事加算
6	292	JCC		O		ZE006	医療従事者種別　医師／内視鏡技師／看護師
7	3002	XCN		O	Y	ZE007	医療従事者
8	20	IS		O		ZE008	使用物品種別　薬品／器材／材料
9	250	ZRD		O	Y	ZE009	使用物品
10	850	XTN		O		ZE010	連絡先
11	199	ST		O		ZE011	実施フィールド
12	199	ST		O		ZE012	会計フィールド

ZE1 フィールド定義

ZE1-1　セットID ー ZE1　(SI)　ZE001

定義:同一グループのZE1セグメントに対し1から付番される通し番号を指定する。

注意:メッセージ単位の通し番号ではない。

ZE1-2　制御コード　(IS)　ZE002

定義:伝達する実施情報に対し、予定か実績かを表す区分を指定する。

【内視鏡】主として RS（実績）のみを使用する。

テーブルー制御コード

Value	Description	Comment
PL	予定	
RS	実績	

ZE1-3　手技 (CWE)　ZE003

定義:内視鏡検査の実施に関わる手技を指定する。

例:上部通常内視鏡.生検採取のオーダに対し、食道と胃にて生検採取の実施をした場合は2つのZE1セグメントで、個々に異なる値を設定することもできる。

ZE1-4　手技回数　(NM)　ZE004

定義:ZE1-3で指定した手技の回数を指定する。

ZE1-5　医事加算　(CWE)　ZE005

定義:医事加算を指定する。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

ZE1-6　医療従事者種別　(JCC)　ZE006

定義:関わった医療従事者の職種と雇用形態を指定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

ZE1-7　医療従事者　(XCN)　ZE007

定義：関わった医療従事者の氏名を指定する。医療従事者種別とセットで記載する。繰り返し可能。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

ZE1-8　使用物品種別　(IS)　ZE008

定義：検査で使用した物品の種別を指定する。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

ZE1-9 使用物品　(ZRD)　ZE009

定義：検査で使用した物品を指定する。

【内視鏡】内視鏡検査では使用しない。

ZE1-10 連絡先　(XTN)　ZE010

定義：連絡先を指定する。

ZE1-11 実施フィールド　(ST)　ZE011

定義：実施に関するコメントなどを設定する。

ZE1-12 会計フィールド　(ST)　ZE012

定義：会計に関するコメントなどを設定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

付録 - １．消化器内視鏡検査依頼メッセージの例

Case 1 上部消化管　通常検査依頼、全体報告のみ

(1A-1) 内視鏡検査依頼(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査依頼メッセージ
HIS_20080120103020 を 2008 年 1 月 20 日 10 時 30 分 20 秒に送信。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20080120103020||OMG^O19^OMG_019|
        HIS_20080120103020|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は東京太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 10345678 である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは外来で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。

```
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんは 1 月 3 日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。胃潰瘍の疑い(臨床病名)。
新橋晴彦先生は臨床病名に対する精査のため、上部消化管の検査を、2008 年 1 月 20 日の 14 時 30 分の開始予定で、検査前日に依頼した。
オーダ番号は 200801192152100 である。患者さんの血液型はA型Rh＋である。患者さんには視覚障害がある。

```
ORC|NW|200801192152100||||||20080119215210|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦
        ^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
ORC|PA|200801192152100||||||20080119215210|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO||||||F<cr>
OBX|2|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR||||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-24^外来所見^JSHR||1 月 3 日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。
        ||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胃潰瘍の疑い||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査||||||F<cr>
ORC|CH|200801192152101||||||200801192152100|20080119215210|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801192152101||11000000000^検査.上部.-.-.-.-^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200801192152100|CART<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103020 ＜メッセージが、2008年1月20日10時30分20秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120103020
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	10345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎（漢字氏名） トウキョウ タロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214 ＜1950年12月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	O（外来患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	中田 隆（職員番号 112233）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科）

JAHIS © 2010 All right reserved.

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（NWの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801192152100（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080119215210 ＜2008年1月19日21時52分10秒にオーダの登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科） C（診療科） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）＜依頼医「新橋 晴彦」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	O （外来患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1 セットID － TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（NWの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11^検査.上部^LENDO（NWの時）、 11^検査.上部^LENDO（PAの時）、 11000000000^検査.上部 .-.-.-.-^LENDO（CHの時）

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120143000　＜2008年1月20日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801192152100（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	CART　＜患者はカートまたは担架で移動する＞

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4、5（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE (ID=1,2)、 TX、(ID=3,4,5)
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式）（ID=1）、 04-03（JSHR：視覚障害）（ID=2）、 MS3-24（JSHR：外来所見）（ID=3）、 MS3-34（JSHR：臨床病名）（ID=4）、 MS3-04（JSHR：内視鏡検査理由）（ID=5）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1（LBLABO：A）(ID=1)、 SV（JSHR：重度）(ID=2)、 1月3日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。（ID=3）、 胃潰瘍の疑い（ID=4）、 臨床病名に対する精査（ID=5）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

(1A-2)内視鏡検査依頼の肯定応答(EIS→HIS)

EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査依頼の肯定応答(アプリケーション受諾:AA)メッセージを 2008 年 1 月 20 日 10 時 30 分 22 秒に送信。
メッセージサンプル(1A-1)に対する肯定応答(AA)メッセージ。

MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20080120103022||ORG^O20^ORG_O20|
EIS_20080120103022|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|HIS_20080120103020<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103022 ＜メッセージが、2008年1月20日10時30分22秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORG^O20^ORG_O20
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103022
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120103020

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

（1B-1）内視鏡検査通知（EIS→PACS/REPORT）

メッセージ 1A を受けて EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査通知メッセージ
EIS_20080120103025 と EIS_20080120103026 を、それぞれ 2008 年 1 月 20 日 10 時 30 分 25 秒と 26 秒のタイミングで送信。

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20080120103025||OMI^O23^OMI_O23|
        EIS_20080120103025|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20080120103026||OMI^O23^OMI_O23|
        EIS_20080120103026|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200801200010000、検査インスタンス UID は 1.2.392.1114.2008.543233.1、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOUKYOU^TAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|NW|200801192152100||||||20080119215210|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦
        ^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>

ORC|PA|200801192152100||||||20080119215210|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-24^外来所見^JSHR||〇月 × 日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。
        ||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胃潰瘍の疑い||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査||||||F<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>

ORC|CH|200801192152101|||||200801192152100|20080119215210|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152101||11000000000^検査.上部.-.-.-.-^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||20080119215210|CART<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103025（PACSへ送信時）、20080120103026（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103025（PACSへ送信時）、EIS_20080120103026（REPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	10345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎（漢字氏名） トウキョウ タロウ（カナ氏名） TOUKYOU TAROU（アルファベット氏名） ＜アルファベット氏名については、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成する必要がある＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200801200010000
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1114.2008.543233.1
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（1A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

（1B−2）内視鏡検査通知の肯定応答（PACS/REPORT→EIS）

PACS_CAMEL あるいは REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査通知の肯定応答（アプリケーション受諾：AA）メッセージを、それぞれ 2008 年 1 月 20 日 10 時 30 分 27 秒と 28 秒のタイミングで送信。
メッセージサンプル（1B-1）に対する肯定応答メッセージ。

【PACS_CAMEL → EIS_NIHON へ送信する場合。メッセージ制御 ID は PCS_20080120103027】

MSH|^~\&|PACS_CAMEL||EIS_NIHON||20080120103027||ORI^O24^ORI_O24|
PCS_20080120103027|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|EIS_20080120103025<cr>

【REPORT_ZEBRA → EIS_NIHON へ送信する場合。メッセージ制御 ID は REP_20080120103028】

MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20080120103028||ORI^O24^ORI_O24|
REP_20080120103028|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|EIS_20080120103026<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSから送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTから送信時）
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103027（PACSから送信時）、20080120103028（REPORTから送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORI^O24^ORI_O24
10	Message Control ID メッセージ制御ID	PCS_20080120103027（PACSから送信時）、REP_20080120103028（REPORTから送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103025（PACSから送信時）、EIS_20080120103026（REPORTから送信時）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

(1C-1) 患者到着通知(EIS→HIS)

メッセージ 1A を EIS が受けた後、対象の患者が内視鏡室の受付に到着。
受付処理のタイミングで、EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む患者到着通知メッセージ EIS_20080120133035 を 2008 年 1 月 20 日 13 時 30 分 35 秒に送信。

MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20080120133035||ORU^R01^ORU_R01|
EIS_20080120133035|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
ORC|OK|200801192110350|||||||20080120132918|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦
^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
OBR||200801192110350||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦
^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120133035 ＜メッセージが、2008年1月20日13時30分35秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120133035
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	10345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎（漢字氏名） トウキョウ タロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214 ＜1950年12月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

JAHIS © 2010 All right reserved.

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	O（外来患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	中田 隆（職員番号 112233）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科）

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	OK（オーダ受付）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192110350
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080120132918 ＜2008年1月20日13時29分18秒にオーダの受付作業を行った。＞
10	Entered By 入力者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科） C（診療科） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）＜依頼医「新橋 晴彦」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	O （外来患者オーダ）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192110350
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11^検査.上部^LENDO
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120143000 ＜2008年1月20日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	
30	Transportation Mode 患者移動モード	CART ＜患者はカートまたは担架で移動する＞

(1C-2)患者到着通知の肯定応答(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む患者到着通知の肯定応答メッセージ(アプリケーション受諾:AA)HIS_20080120133103 を 2008 年 1 月 20 日 13 時 31 分 03 秒に送信。
メッセージサンプル(1C-1)に対する肯定応答メッセージ。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20080120133103||ACK^R01^ACK|
        HIS_20080120133103|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|EIS_20080120133035<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120133103
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ACK^R01^ACK
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120133103
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

JAHIS © 2010 All right reserved.

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120133035

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

(1D-1) 内視鏡検査実施報告(EIS→HIS)

前処置及び検査の実施
東京太郎さんは、看護師の名古屋良子、内視鏡技師の尾張玲子により咽頭麻酔(セルシン)、抑制剤(キシロカインスプレー)の前処置を受ける。
2008 年 1 月 20 日 14 時 45 分 12 秒、内視鏡医の大江戸信吉先生が内視鏡を挿入。小江戸義弘医師が立ち会った。
食道の中に要検査箇所を発見し、14 時 48 分 30 秒に生検を行った。
更に胃の中の凹凸を確認する為に色素散布(インジゴカルミン)し色素内視鏡検査を実施。
14 時 59 分 08 秒に十二指腸でも生検を行った後、色素散布による色素内視鏡検査を実施。
15 時 10 分 56 秒スコープ抜去。

検査実施メッセージ
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査実施メッセージを
2008 年 1 月 20 日 15 時 20 分 42 秒に送信

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20080120152042||OMI^Z23^OMI_Z23|
        EIS_20080120152042|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は東京太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 10345678 である。
患者さんは外来で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOUKYOU^TAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

2008 年 1 月 20 日 14 時 45 分に、上部消化管通常検査
オーダ番号は 20080119252100 である。
受付番号は A200801200010000、検査インスタンス UID は 1.2.392.1114.2008.543233.1、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
ORC|NW|200801192152100||||||20080120152042|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦
        ^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>

ORC|PA|200801192152100||||||20080120152042|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||
         556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
         556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO||||||F<cr>
OBX|2|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR||||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-24^外来所見^JSHR||〇月×日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。
        ||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胃潰瘍の疑い||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査||||||F<cr>
 IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

手技1で、胃・十二指腸ファイバースコピー（挿入：2008/01/20 14:45:12，抜去：2008/01/20 15:10:56）
実施者は大江戸信吉（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は尾張玲子（内視鏡技師）・名古屋良子（看護師）
使用薬剤は、セルシン 5mg・キシロカインスプレー・インジゴカルミン
器材は、GIF-XQ240/内視鏡
色素内視鏡検査を実施医判断で実施

```
ORC|CH|200801192152101||||||200801192152100|20080120152042|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152101||11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>
ZE1|1|RS|11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LENDO<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-P1^開始時間^JSHR||20080120144512||||||F<cr>
OBX|6|TS|TM-P2^終了時間^JSHR||20080120151056||||||F<cr>
OBX|7|CWE|PF-01^実施加算項目^JSHR||11000000327^色素内視鏡加算^LENDO||||||F<cr>
OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン 5mg^HOT^1^AMP&管&MR9P||||||F<cr>
OBX|9|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101682602^キシロカインスプレー^HOT^1^KAI&回&JSHR||||||F<cr>
OBX|10|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||111963301^インジゴカルミン^HOT^1^KAI&回&JSHR||||||F<cr>
OBX|11|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170067938^GIF-XQ240^JAN||||||F<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>
```

手技2で、胃・十二指腸生検（1回目：2008/01/20 14:48:30，2回目：2008/01/20 14:59:08）
実施者は大江戸信吉（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は尾張玲子（内視鏡技師）・名古屋良子（看護師）
器材は、生検鉗子（FB-19C-1）

```
ORC|CH|200801192152102||||||200801192152100|20080120152042|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152102||11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>
ZE1|1|RS|11010001401^検査.上部.食道.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検時間^JSHR||20080120144830||||||F<cr>
OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN||||||F<cr>
ZE1|2|RS|11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検時間^JSHR||20080120145908||||||F<cr>
OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN||||||F<cr>
IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120152042 ＜メッセージが、2008年1月20日15時20分42秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^Z23^OMI_Z23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120152042
11		P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性（CHは実施手技の内容に置き換える）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（NWの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時：手技１） 200801192152102（CHの時：手技２）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801192152100（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080120152042 ＜2008年1月20日15時20分42秒に実績登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科） C（診療科） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	01（内科）＜依頼医「新橋 晴彦」の所属科＝依頼科＞
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	O （外来患者オーダ）

TQ1属性（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1 セットID － TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request セットID － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（NW、PAの時） 200801192152101（CHの時：手技１） 200801192152102（CHの時：手技２）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11^検査.上部^LENDO（NWの時）、 11^検査.上部^LENDO（PAの時）、 11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LENDO（CHの１つ目：手技１） 11000001401^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO（CHの２つ目：手技２）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	2008012014300000 ＜2008年1月20日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801192152100（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	CART ＜患者はカートまたは担架で移動する＞

JAHIS © 2010 All right reserved.

ZE1属性 （OBR CH の1つ目:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1 （手技１）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセット ID － OBX	1～11（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5,6） CWE（ID=7,11） ZRD （ID=8～10）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-P1（JSHR：開始時間）（ID=5）、 TM-P2（JSHR：終了時間）（ID=6）、 PF-01 （JSHR ： 実 施 加 算 項 目 ）（ID=7）、 DE-02（JSHR：薬品）（ID=8～10）、 DE-06（JSHR：内視鏡） （ID=11)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	123456(従事者ID)大江戸信吉(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID) 小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID) 名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/01/20 14:45:12（JSHR：開始時間）（ID=5）、 2008/01/20 15:10:56（JSHR：終了時間）（ID=6）、 11000000327（LENDO：色素内視鏡加算）（ID=7）、 100555401（HOT：セルシン5mg） 1管 （ID=8）、 101682602（HOT：キシロカインスプレー） 1回（ID=9）、 111963301（HOT：インジゴカルミン）1回（ID=10）、 4953170067938（JAN：GIF-XQ240）（ID=11）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

ZE1属性 （OBR CH の2つ目:手技2 に対する食道への生検）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1 （手技２－生検１）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	11010001401^検査.上部.食道.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技2 に対する食道への生検）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5） CWE（ID=6）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検時間）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	123456(従事者ID)大江戸信吉(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/01/20 14:48:30（ID=5）、 4953170029578（JAN：FB-19C-1）（ID=6 ）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

ZE1属性 （OBR CH の2つ目:手技2 に対する胃への生検）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	2 （手技２－生検２）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技2 に対する胃への生検）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5） CWE（ID=6）

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検時間）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	123456(従事者ID)大江戸信吉(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/01/20 14:59:08（ID=5）、 4953170029578（JAN：FB-19C-1）（ID=6 ）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC（PA）属性、TQ1属性、（左記ORCに対する）OBX属性については、メッセージサンプル（1A-1）に同じ。IPC属性については、メッセージサンプル（1B-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(1E-1) 検査報告書状態通知(REPORT→EIS)

メッセージ 1B に対して、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知メッセージ REP_20080120162058 を 2008 年 1 月 20 日 16 時 20 分 58 秒に送信。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20080120162058||MDM^T01^MDM_T01|
    REP_20080120162058|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

新橋晴彦先生により依頼された胃・十二指腸の上部通常内視鏡検査が、実施され、大江戸信吉先生により検査レポートが 2008 年 1 月 20 日 16 時 20 分に作成された。一意的な文書番号は DOC_200801192152100 である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOUKYOU^TAROU^^^^^L^A
    ||19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200801192152100||||||20080120162045|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦
    ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
    556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>

ORC|PA|200801192152100||||||20080120162045|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦
    ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
    556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>

ORC|CH|200801192152101||||||200801192152100|20080120162045|
    556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
    01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152101||11020301000^検査.上部.胃.穹窿部(胃底部).上部通常内視鏡.-^LENDO|||
    20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>

ORC|CH|200801192152102||||||200801192152100|20080120162045|
    556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
    01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152102||11020401000^検査.上部.胃.体部.上部通常内視鏡.-^LENDO|||
    20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>

TXA|1|DI||||||20080120162013|123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200801192152100||
    200801192152100|||AU<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120162058 ＜メッセージが、2008年1月20日16時20分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T01^MDM_T01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080120162058
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	RE（検査付帯情報）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（REの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時）、 200801192152102（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801192152100（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080120162045
10	Entered By 入力者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科） C（診療科）
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	O （外来患者オーダ）

JAHIS © 2010 All right reserved.

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（REの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時）、 200801192152102（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11^検査.上部^LENDO（REの時）、 11^検査.上部^LENDO（PAの時）、 11020301000^検査.上部.胃.穹窿部（胃底部）.上部通常内視鏡.-^LENDO（CHの時）、 11020401000^検査.上部.胃.体部.上部通常内視鏡.-^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120143000
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	新橋 晴彦（職員番号 556677）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801192152100（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	CART＜患者はカートまたは担架で移動する＞

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080120162013 ＜作成完了した検査レポートを2008年1月20日16時20分13秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	大江戸 信吉（職員番号 123456）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
	前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200801192152100
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801192152100
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

PID属性、PV1属性については、メッセージサンプル(1B-1)に同じ。TQ1属性については、メッセージサンプル（1A-1）に同じ。

（1E−2）検査報告書状態通知の肯定応答（EIS→REPORT）

EIS_NIHON から REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知の肯定応答メッセージ（アプリケーション受諾：AA）EIS_20080120162101 を 2008 年 1 月 20 日 16 時 21 分 01 秒に送信。メッセージサンプル（1E-1）に対する肯定応答メッセージ。

MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20080120162101||ACK^T01^ACK|
EIS_20080120162101|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|REP_20080120162058<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120162101 ＜メッセージが、2008年1月20日16時21分01秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ACK^T01^ACK
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120162101
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080120162058

JAHIS © 2010 All right reserved.

(1F-1) 検査報告書通知(REPORT→HIS)

メッセージ 1B に対して、REPORT_ZEBRA から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知メッセージ REP_20080120162059 を 2008 年 1 月 20 日 16 時 20 分 59 秒に送信。病理依頼として、胃・十二指腸生検で2検体がある。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||HIS_FUJIYAMA||20080120162059||MDM^T02^MDM_T02|
        REP_20080120162059|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOUKYOU^TAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200801192152100|||||||20080120162045|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦
        ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||200801201430|||||||||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>

ORC|PA|200801192152100|||||||20080120162045|556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦
        ^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152100||11^検査.上部^LENDO|||200801201430|||||||||
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||CART<cr>

ORC|CH|200801192152101||||||200801192152100|20080120162045|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152101||11020301000^検査.上部.胃.穹窿部(胃底部).上部通常内視鏡.-^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>

ORC|CH|200801192152102||||||200801192152100|20080120162045|
        556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||
        01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801192152102||11020401000^検査.上部.胃.体部.上部通常内視鏡.-^LENDO|||
        20080120143000|||||||||556677^新橋^晴彦^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200801192152100|CART<cr>

TXA|1|DI|multipart|||||20080120162013|123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200801200010000||
        200801200010000|||AU<cr>

OBX|1|EI|STUID^検査インスタンス UID^JSHR||1.2.392.1114.2008.543233.1||||||F<cr>
OBX|2|EI|ACCNO^受付番号^JSHR||A200801200010000||||||F<cr>
OBX|3|CWE|PATHOODR^病理検査依頼^JSHR||Y^病理オーダあり^LPATHO||||||F<cr>
OBX|4|ED|EP01^Endoscopy Report for Pathology Order^JSHR||
        ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=||||||F<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120162059 ＜メッセージが、2008年1月20日16時20分59秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T02^MDM_T02
10	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080120162059
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	multipart
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080120162013
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	大江戸 信吉（職員番号 123456）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200801200010000
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801200010000
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセット ID － OBX	1、2、3、4（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	EI（ID=1,2）、 CWE（ID=3）、 ED(ID=4)
3	Observation Identifier 検査項目	STUID（JSHR：検査インスタンスUID）(ID=1)、 ACCNO（JSHR：受付番号）(ID=2)、 PATHOODR(JSHR：病理検査依頼)(ID=3)、 EP01（JSHR：Endoscopy Report for Pathology Order）(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Observation Value 検査値	1.2.392.1114.2008.543233.1(ID=1)、 A20080120001000(ID=2)、 Y（LPATHO：病理オーダあり）(ID=3)、 ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc… dD4NCg==?=（CDAのMIMEエンコード）(ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（1D-1）に同じ。

（1F−2）検査報告書通知肯定応答（HIS→REPORT）

HIS_FUJIYAMA から REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知の肯定応答メッセージ（アプリケーション受諾：AA）HIS_20080120162108 を 2008 年 1 月 20 日 16 時 21 分 08 秒に送信。
メッセージサンプル（1F-1）に対する肯定応答メッセージ。

MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||REPORT_ZEBRA||20080120162108||ACK^T02^ACK|
HIS_20080120162108|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|REP_20080120162059<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120162108 ＜メッセージが、2008年1月20日16時21分08秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ACK^T02^ACK
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120162108
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080120162059

JAHIS © 2010 All right reserved.

Case 2 上部消化管　処置（治療）を含む依頼　－EMR－詳細手技指示あり

（2A-1）内視鏡検査依頼（HIS→EIS）

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の漢字を含む内視鏡検査依頼メッセージ
HIS_20080120103255 を 2008 年 1 月 20 日 10 時 32 分 55 秒に送信。
なお、送信先システムからの応答電文（ORG）<2A-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20080120103255||OMG^O19^OMG_019|
        HIS_20080120103255|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は、福岡千尋、女性、1980 年 10 月 21 日生、患者 ID は 97531111 である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P||19801021|F|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは内科に入院しており、主治医は田中一郎先生である。病棟は E02 棟 21 号室である。

```
PV1|||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんの胃の病変部の病理検査を行った結果、癌と判明。
東京和夫先生は、患部切除処置を含む内視鏡検査を、2008 年 1 月 20 日 16 時 50 分の開始予定で、検査前日に依頼した。
なお、東京和夫先生は、E05 棟 01 号室のオーダ端末を使用し、検査依頼を入力した。
切除部位は胃上部。治療手技は EMR。オーダ番号は 200801191835230 である。
患者の血液型は A 型、感染情報として、HBs 抗原が陰性である。

```
ORC|NW|200801191835230||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|03-01^HBs 抗原^JSHR||01^-^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-04^病理診断^JSHR||病変部は癌|||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||胃上部病変部切除。|||||F<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
        (EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||
        200801191835230|WALK<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103255 ＜メッセージが、2008年1月20日10時32分55秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120103255
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	97531111
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	福岡 千尋（漢字氏名） フクオカ チヒロ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19801021 ＜1980年10月21日生＞
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I（入院患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	E02病棟 21病室 ＜患者「福岡 千尋」の居場所＞
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	田中 一郎（職員番号 000032）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（JSHR : 内科） ＜患者「福岡 千尋」の居場所の診療科＝入院科＞

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801191835230（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080119115025 ＜2008年1月19日11時50分25秒にオーダの登録操作を行った。ここではサンプルのため、前日のオーダ登録としている。＞
10	Entered By 入力者	東京 和夫（職員番号 000038）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
13	Enterer's Location 入力場所	E05（病棟コード） 01（病室コード） ＜ここは、端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（JSHR：内科） ＜依頼医「東京 和夫」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID ー TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 ー 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	21^治療.上部^LENDO（NWの時）、 21^治療.上部^LENDO（PAの時）、 21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR)^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120165000
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801191835230（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4 （上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE (ID=1,2) 、 TX (ID=3,4)
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式）(ID=1)、 03-01（JSHR：HBs抗原）(ID=2)、 DC-04(JSHR：病理診断)(ID=3) 、 DC-01（JSHR：内視鏡依頼）(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1（LBLABO：A）（ID=1）、 01（JSHR：-）(ID=2)、 病変部は癌（ID=3）、 胃上部病変部切除。(ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(2B-1) 内視鏡検査通知(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 2A-1 を受けて、EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の漢字を含む内視鏡検査通知メッセージ EIS_20080120103258 と EIS_20080120103259 を、それぞれ 2008 年 01 月 20 日 10 時 32 分 58 秒と 59 秒のタイミングで送信し、送信先の各システムで正常に受信されている。なお、送信先の各システムからの応答電文(ORI)<2B-2>のサンプルは記載していない。(記載省略)

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20080120103258||OMI^O23^OMI_O23|
    EIS_20080120103258|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20080120103259||OMI^O23^OMI_O23|
    EIS_20080120103259|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200801310050000、検査インスタンス UID は 1.2.392.1114.2008.543233.2、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P~FUKUOKA^CHIHIRO^^^^^L^A
    ||19801021|F|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|NW|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|03-01^HBs 抗原^JSHR||01^-^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-04^病理診断^JSHR||病変部は癌|||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||胃上部病変部切除。|||||F<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
    (EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||
    200801191835230|WALK<cr>
IPC|A200801310050000||1.2.392.1114.2008.543233.2||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103258（PACSへ送信時）、20080120103259（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103258（PACSへ送信時）、EIS_20080120103259（REPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	97531111
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	福岡 千尋（漢字氏名） フクオカ チヒロ（カナ氏名） FUKUOKA CHIHIRO（アルファベット氏名） ＜アルファベット氏名については、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成する必要がある＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19801021　＜1980年10月21日生＞
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200801310050000
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1114.2008.543233.2
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PV1属性、TQ1属性、ORC属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（2A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(2D-1) 内視鏡検査実施報告(EIS→HIS)

内視鏡検査室では、患者の福岡千尋さん到着を受けて前処置及び検査を実施

福岡千尋さんは、消泡剤(ガスコンドロップ)、咽頭麻酔(キシロカインゼリー)による前処置を看護師の名古屋　良子、内視鏡技師の尾張　玲子から受ける。
咽頭麻酔(キシロカインスプレー)、鎮静剤(セルシン)を、内視鏡医の大江戸信吉先生により投与される。
2008 年 1 月 20 日 16 時 56 分 12 秒、内視鏡医の大江戸信吉先生が内視鏡を挿入。内視鏡医の小江戸　義弘先生が立ち会った。
胃上部の悪性腫瘍に対する粘膜剥離術を施行。
残存腫瘍の有無確認のため、剥離周辺部を生検。

検査実施メッセージ
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査実施メッセージを、2008 年 1 月 20 日 17 時 35 分 30 秒に送信

```
MSH|^~\&|HIS_NIHON||EIS_FUJIYAMA||20080120173530||OMI^Z23^OMI_Z23|
        EIS_200801201735300|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は、福岡千尋、女性、1980 年 10 月 21 日生、患者 ID は 97531111 である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P||19801021|F|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは内科に入院しており、主治医は田中一郎先生である。病棟は E02 棟 21 号室である。

```
PV1|||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

2008 年 1 月 20 日 16 時 56 分 12 秒に、粘膜剥離術(悪性腫瘍)を実施、オーダ番号は 200801191835230 である。
受付番号は A200801200000002、検査インスタンス UID は、1.2.392.1114.2008.543235.1、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
ORC|NW|200801191835230|||||||20080120172530|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080120172530|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|03-01^HBs 抗原^JSHR||01^-^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-04^病理診断^JSHR||病変部は癌|||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||胃上部病変部切除。|||||F<cr>

IPC|A200801200000002||1.2.392.1114.2008.543235.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

手技 1 では、粘膜剥離術（悪性腫瘍）（挿入:2008/01/20 16:56:12, 抜去:2008/01/20 17:29:05）
実施者は大江戸信吉（医師）・小江戸義弘（医師）, 介助者は名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
使用薬剤は、ガスコンドロップ 2%・キシロカインゼリー・キシロカインスプレー・セルシン 5mg
使用物品は、EMR キット(K-001)
使用器材は、内視鏡 GIF-XQ240 であった。
手術の時刻（開始:2008/01/20 17:10:12, 完了:2008/01/20 17:25:20）。
手技1の回数は1回であった。

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080120172530|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||
200801191835230|WALK<cr>
ZE1|1|RS|21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(EMR)^LENDO<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-P1^開始時間^JSHR||20080120171012||||||F<cr>
OBX|6|TS|TM-P2^終了時間^JSHR||20080120172520||||||F<cr>
OBX|7|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||104232001^ガスコンドロップ 2%^HOT^12^ML&ミリリットル&MR9P||||||F<cr>
OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101677202^キシロカインゼリー^HOT^1^ML&ミリリットル&MR9P||||||F<cr>
OBX|9|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101682602^キシロカインスプレー^HOT^1^ KAI&回&JSHR||||||F<cr>
OBX|10|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン 5mg^HOT^11^AMP&管&MR9P||||||F<cr>
OBX|11|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170035951^K-001^JAN||||||F<cr>
OBX|12|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170067938^GIF-XQ240^JAN||||||F<cr>

IPC|A200801200000002||1.2.392.1114.2008.543235.1||ES<cr>

手技2では、胃生検（2008 年 1 月 20 日 17 時 26 分 55 秒）
実施者は大江戸信吉（医師）・小江戸義弘（医師）, 介助者は名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
器材は、生検鉗子（FB-19C-1）
手技の回数は1回であった。

ORC|CH|200801191835232||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835232||11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO|||
20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200801191835230|WALK<cr>
ZE1|1|RS|11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検時間^JSHR||20080120172655||||||F<cr>
OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN||||||F<cr>

IPC|A200801200000002||1.2.392.1114.2008.543235.1||ES<cr>

JAHIS © 2010 All right reserved.

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120173530 ＜メッセージが、2008年1月20日17時35分30秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^Z23^OMI_Z23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120173530
11		P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性（CHは実施手技の内容に置き換える）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時：手技１） 200801191835232（CHの時：手技２）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801191835230（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080120173530 ＜2008年1月20日17時35分30秒に実績の登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	東京 和夫（職員番号 000038）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
13	Enterer's Location 入力場所	E05（病棟コード） 01（病室コード） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（JSHR：内科）　＜依頼医「東京和夫」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

TQ1属性（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID ー TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 ー 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）、 200801191835232（CHの時）、
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	21^治療.上部^LENDO（NWの時）、 21^治療.上部^LENDO（PAの時）、 21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR)^LENDO（CHの時）、 11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO（CHの時）、
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120165000 ＜2008年1月20日の16時50分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801191835230（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

JAHIS © 2010 All right reserved.

ZE1属性 （CH の1つ目:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1（手技１）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR)^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～12（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5,6） ZRD（ID=7～10） CWE（ID=11,12）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-P1（JSHR : 開始時間）（ID=5）、 TM-P2（JSHR : 終了時間）（ID=6）、 DE-02 （JSHR : 薬品）（ID=7～10）、 DE-03 (JSHR：器材)(ID=11)、 DE-06 (JSHR：内視鏡)(ID=12)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	123456(従事者ID)大江戸信吉(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/01/20 17:10:12（ID=5）、 2008/01/20 17:25:20（ID=6）、 104232001（HOT : ガスコンドロップ2%） 1回2ml l （ID=7）、 101677202（HOT : キシロカインゼリー） 1回ml（ID=8）、 101682602（HOT : キシロカインスプレー）1回（ID=9）、 100555401（HOT : セルシン5mg）1回管（ID=10）、 4953170035951（JAN : K-001）（ID=11）、 4953170067938（JAN : GIF-XQ240）（ID=12）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

ZE1属性 （CH の2つ目:手技2に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1 （手技２）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	11010001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技2 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセット ID － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5） CWE（ID=6）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検時間）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	123456(従事者ID)大江戸信吉(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 20080120172655 (2008/01/20 17:26:55)（ID=5）、 4953170029578(JAN：FB-19C-1)（ID=6）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200801200000002
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1114.2008.543235.1
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PID属性、PV1属性、ORC（PA）属性、TQ1属性、（左記ORCに対する）OBX属性 については、メッセージサンプル（2A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(2E-1) 検査報告書状態通知(REPORT→EIS)

メッセージ 2B に対して、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知メッセージ 20080120174058.235 を 2008 年 01 月 20 日 17 時 40 分 58 秒に送信し、EIS_NIHON 側で正常に受信されている。
なお、EIS_NIHON から REPORT_ZEBRA への応答電文(ACK)<2E-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20080120174058|| MDM^T01^MDM_T01|
    20080120174058.235|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

東京和夫先生により依頼された粘膜切除術(EMR)が、実施され、大江戸信吉先生により検査レポートが 2008 年 01 月 20 日 17 時 40 分 45 秒に作成された。一意的な文書番号は DOC_200801200010000 である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P||19801021|F|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||WALK<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
    (EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||
    200801191835230|WALK<cr>

TXA|1|DI||||||20080120174045|123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200801200010000||
    200801191835230|||AU<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120174058 ＜メッセージが、2008年1月20日17時40分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T01^MDM_T01

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20080120174058.235
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性

1	Order Control オーダ制御	RE（検査付帯情報）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（REの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801191835230（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080119115025
10	Entered By 入力者	東京 和夫（職員番号 000038）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
13	Enterer's Location 入力場所	E05（病棟コード） 01（病室コード）
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（REの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	21^治療.上部^LENDO（REの時）、 21^治療.上部^LENDO（PAの時）、 21020001111^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR)^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120165000
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801191835230（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK（患者は歩行により移動する）

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080120174045 ＜作成完了した検査レポートを2008年01月20日17時40分45秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	大江戸 信吉（職員番号 123456）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200801200010000
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801191835230
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

PID属性、PV1属性については、メッセージサンプル(3B-1)に同じ。TQ1属性については、メッセージサンプル（2A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(2F-1) 検査報告書通知(REPORT→HIS)

メッセージ 2B に対して、REPORT_ZEBRA から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知メッセージ 20080120174058.235 を 2008 年 01 月 20 日 17 時 40 分 58 秒に送信し、HIS_FUJIYAMA 側で正常に受信されている。
なお、HIS_FUJIYAMA から REPORT_ZEBRA への応答電文(ACK)<2F-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_FUJIYAMA||20080120174058||MDM^T02^MDM_T02|
        20080120174058.235|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200801200010000、検査インスタンス 1.2.392.1114.2008.543353.3、である。
病理オーダあり。検査レポート文書が OBX にインクルードされる。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P||19801021|F|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
        (EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||||
        200801191835230|WALK<cr>

 TXA|1|DI||||||20080120174045|123456^大江戸^信吉^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200801200010000||
        200801191835230|||AU<cr>

OBX|1|EI|STUID^検査インスタンス UID^JSHR||1.2.392.1114.2008.543353.3||||||F<cr>
OBX|2|EI|ACCNO^受付番号^JSHR||A200801200010000||||||F<cr>
OBX|3|CWE|PATHOODR^病理検査依頼^JSHR||Y^病理オーダあり^LPATHO||||||F<cr>
OBX|4|ED|EP01^Endoscopy Report for Pathology Order^JSHR||
         ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=||||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120174058 ＜メッセージが、2008年1月20日17時40分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T02^MDM_T02
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20080120174058.235
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	multipart
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080120174045
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	大江戸 信吉（職員番号 123456）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200801200010000
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801191835230
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	EI（ID=1,2）、 CWE(ID=3)、 ED(ID=4)
3	Observation Identifier 検査項目	STUID（JSHR：検査インスタンスUID）(ID=1)、 ACCNO（JSHR：受付番号）(ID=2)、 PATHOODR(JSHR：病理検査依頼)(ID=3)、 EP01(JSHR：Endoscopy Report for Pathology Order)(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1.2.392.1114.2008.543353.3(ID=1)、 A200801200010000(ID=2)、 Y（LPATHO：病理オーダあり）(ID=3)、 ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=（CDAのMIMEエンコード）

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
		(ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（2E-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Case 3 ERCP（詳細手技依頼、検体取得なし、ERCP として放射線部門へ同時にオーダ）

(3A-1)内視鏡検査依頼（HIS→RIS、EIS）

HIS_FUJIYAMA から RIS_TOKYO、EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査依頼メッセージ HIS_20080216112506_1 と HIS_20080216112506_2 を 2008 年 2 月 16 日 11 時 25 分 6 秒に送信。なお、HIS_FUJIYAMA から RIS_TOKYO、EIS_NIHON の応答電文（ORG）<3A-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

※ ERCP 検査における HIS→RIS へのメッセージ及びその応答メッセージは、「JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.1」の規約本文及び付録に従って送信されるため、そちらを参照のこと。

【HIS→EIS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20080216112506||OMG^O19^OMG_019|
        HIS_20080216112506_2|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は江戸小太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 12345677 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは入院で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。入院日は 2008 年 1 月 1 日で、病棟は南棟 3 階 30 号室である。

```
PV1|||I|S03^30^^^^N||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01|||||||||||||||||||||||||||||||20080101<cr>
```

患者さんは以前黄疸を主訴とし近医を受診、エコー検査により胆管/膵癌の疑い（臨床病名）がある。
中田隆先生は臨床病名に対する精査のため、ERCP を 2008 年 2 月 21 日の 10 時 30 分の開始予定で、検査 1 週間前に依頼した。
オーダ番号は 200802141821590 である。患者さんの血液型はA型Rh＋である。

```
ORC|NW|200802141821590|||||||20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200802141821590|||||||20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR ||胆管/膵癌の疑い|||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査|||||F<cr>
ORC|CH|200802141821591|||||200802141821590|20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821591||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|||
        20080221103000|||||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||200802141821590|WALK<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	RIS_TOKYO、 EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080216112506 ＜メッセージが、2008年2月16日11時25分6秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080216112506_2
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	12345677
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	江戸 小太郎（漢字氏名） エド コタロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214 ＜1950年12月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I（入院患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	S03（南棟3階） 30（30号室） ＜患者「江戸 小太郎」の居場所＞
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	中田 隆（職員番号 112233）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科） ＜患者「江戸 小太郎」の居場所の診療科＝入院科＞
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	20080101

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（NWの時）、 200802141821590（PAの時）、 200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200802141821590（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080214182159 ＜2008年2月14日18時21分59秒にオーダの登録操作を行った。ここではサンプルのため、2前日のオーダ登録としている。＞
10	Entered By 入力者	中田 隆（職員番号 112233）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 隆（職員番号 112233）
13	Enterer's Location 入力場所	N02（病棟コード） S001（病室コード） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科） ＜依頼医「中田 隆」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID － TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（NWの時）、200802141821590（PAの時）、200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	23^治療.胆・膵^LENDO（NWの時）、23^治療.胆・膵^LENDO（PAの時）、23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080221103000 ＜2008年2月21日の10時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 隆（職員番号 112233）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200802141821590（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

JAHIS © 2010 All right reserved.

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセット ID ー OBX	1、2、3（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE(ID=1)、 TX（ID=2,3）
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式(ID=1)、 MS3-34（JSHR：臨床病名）(ID=2)、 MS3-04(JSHR：内視鏡検査理由)(ID=3)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1（LBLABO：A）(ID=1)、 胆管/膵癌の疑い(ID=2)、 臨床病名に対する精査(ID=3)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(3B-1) 内視鏡検査通知(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 3A-1 を受けて EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査通知メッセージ EIS_20080216123012_1 と EIS_20080216123012_2 を 2008 年 2 月 16 日 12 時 30 分 12 秒に送信。
なお、PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON の応答電文(ORI)<3B-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20080216123012||OMI^O23^OMI_O23|
        EIS_20080216123012_1|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20080216123012||OMI^O23^OMI_O23|
        EIS_20080216123012_2|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200802161230000、検査インスタンス UID は 1.2.392.1114.2008.543233.3、撮影モダリティは上部内視鏡である。

※ ERCP 検査における RIS→PACS/REPORT へのメッセージ及びその応答メッセージは、「JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.1」の規約本文及び付録を参照する。
※ なお、ERCP 検査における放射線モダリティに対する検査インスタンス UID は HIS→RIS へのメッセージに従うため、「JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.1」を参照のこと。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||I|S03^30^^^^N||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01|||||||||||||||||||||||||||||||20080101<cr>

ORC|NW|200802141821590||||||20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
IPC|A200802161230000||1.2.392.1114.2008.543233.3||ES<cr>

ORC|PA|200802141821590||||||20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胆管/膵癌の疑い||||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査||||||F<cr>
IPC|A200802161230000||1.2.392.1114.2008.543233.3||ES<cr>

ORC|CH|200802141821591||||||200802141821590|20080214182159|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

OBR||200802141821591||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|||
20080221103000|||||||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^|||||||||||||200802141821590|WALK<cr>
IPC|A200802161230000||1.2.392.1114.2008.543233.3||ES<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080216123012（PACSへ送信時）、20080216123012（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080216123012_1（PACSへ送信時）、EIS_20080216123012_2（REPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	12345677
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	江戸 小太郎（漢字氏名） エド コタロウ（カナ氏名） EDO KOTAROU（アルファベット氏名）＜アルファベット氏名については、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成する必要がある＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200802161230000
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1114.2008.543233.3
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PV1属性、TQ1属性、ORC属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（3A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(3D-1) 内視鏡検査実施報告(EIS→HIS)

内視鏡検査室では、患者の江戸小太郎さん到着を受けて前処置及び検査を実施

江戸小太郎さんは、消泡剤(ガスコンドロップ)、咽頭麻酔(キシロカインゼリー)を看護師の名古屋　良子、内視鏡技師の尾張　玲子により前処置を受ける。
咽頭麻酔(キシロカインスプレー)、鎮静剤(セルシン)を、内視鏡医の虎ノ門太郎により投与される。
2008 年 2 月 21 日 10 時 51 分 12 秒、内視鏡医の虎ノ門　太郎先生が内視鏡を挿入。内視鏡医の小江戸義弘先生が立ち会った。
十二指腸まで内視鏡を挿入し写真撮影、造影チューブを使い 2008 年 2 月 21 日 11 時 25 分 34 秒に ERCP を行った。造影剤にはイオパミロンを使用
写真撮影後、2008 年 2 月 21 日 11 時 41 分 12 秒にスコープを抜去。
検査終了後にレポートを作成した。

検査実施メッセージ
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査実施メッセージを、2008 年 2 月 21 日 12 時 05 分 25 秒に送信

```
MSH|^~\&|HIS_NIHON||EIS_FUJIYAMA||20080221120525||OMI^Z23^OMI_Z23|
        EIS_200802211205250|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は江戸小太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 12345677 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは入院で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。入院日は 2008 年 1 月 1 日で、病棟は南棟 3 階 30 号室である。

```
PV1|||I|S03^30^^^^N||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01|||||||||||||||||||||||||||||||20080101<cr>
```

2008 年 2 月 21 日 10 時 51 分に、ERCP 検査を実施、オーダ番号は 200802141821590 である。
受付番号は A200802161230000、検査インスタンス UID は、1.2.392.1114.2008.543233.3、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
ORC|NW|200802141821590||||||20080221120525|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200802141821590||||||20080221120525|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK <cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胆管/膵癌の疑い||||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査||||||F<cr>

IPC|A200802161230000||1.2.392.1114.2008.543233.3||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

手技 1 では、十二指腸ファイバースコピー（挿入:2008/02/21 10:51:12, 抜去:2008/02/21 11:41:21）
実施者は、虎ノ門太郎（医師）・小江戸義弘（医師）, 介助者は、名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
使用薬剤は、ガスコンドロップ 2%・キシロカインゼリー・キシロカインスプレー・セルシン 5mg・イオパミロン
使用物品は、造影チューブ PR-100-1
使用器材は、内視鏡 GIF-XQ240 であった。
手技1の回数は1回であった。
ERCP を実施した。

ORC|CH|200802141821591||||||200802141821590|20080221120525|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^|||
112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^|N02^S001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||||<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200802141821591||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|||
20080221103000|||||||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200802141821590|WALK<cr>
ZE1|1|RS|23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|1<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-P1^開始時間^JSHR||20080221105112||||||F<cr>
OBX|6|TS|TM-P2^終了時間^JSHR||20080221114121||||||F<cr>
OBX|7|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||104232001^ガスコンドロップ 2%^HOT^12^回 ML|||||F<cr>
OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101677202^キシロカインゼリー^HOT^1^ ML&ミリリットル&MR9P 回||||||F<cr>
OBX|9|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101682602^キシロカインスプレー^HOT^1^ KAI&回&JSHR|||||F<cr>
OBX|10|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン 5mg^HOT^1^ AMP&管&MR9P||||||F<cr>
OBX|11|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||111832201^イオパミロン^HOT^1^ BTL&瓶&MR9P||||||F<cr>
OBX|12|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170183560^PR-100-1^JAN||||||F<cr>
OBX|13|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170067938^GIF-XQ240^JAN||||||F<cr>
OBX|14|CWE|PF-01^実施加算項目^JSHR||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO||||||F<cr>

IPC|A200802161230000||1.2.392.1114.2008.543233.3||ES<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080221120525 ＜メッセージが、2008年2月21日12時05分25秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^Z23^OMI_Z2
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_200802211205250
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

JAHIS © 2010 All right reserved.

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（NWの時）、 200802141821590（PAの時）、 200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200802141821590（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080221120525 ＜2008年2月21日12時05分25秒に実績登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	中田 隆（職員番号 112233）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 隆（職員番号 112233）
13	Enterer's Location 入力場所	N02（病棟コード） S001（病室コード） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科） ＜依頼医「中田 隆」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（NWの時）、 200802141821590（PAの時）、 200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	23^治療.胆・膵^LENDO（NWの時）、 23^治療.胆・膵^LENDO（PAの時）、 23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080221103000 ＜2008年2月21日の10時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
16	Ordering Provider 依頼者	中田 隆（職員番号 112233）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200802141821590（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

ZE1属性 （OBR CH の1つ目:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1（手技１）
2	制御コード 予定／実施	RS（実施）
3	手技	23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性 （上記ZE1:手技1 に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセット ID － OBX	1～14（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5,6） ZRD（ID=7～11） CWE（ID=12,13,14）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-P1（JSHR : 開始時間）（ID=5）、 TM-P2（JSHR : 終了時間）（ID=6）、 DE-02 （JSHR : 薬品）（ID=7～11）、 DE-03 (JSHR：器材)(ID=12)、 DE-06 (JSHR：内視鏡)(ID=13)、 PF-01 (JSHR：実施加算項目）（ID=14)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/02/21 10:05:12（ID=5）、 2008/02/21 11:41:21（ID=6）、 104232001（HOT : ガスコンドロップ2%） 1回2ml（ID=7）、 101677202（HOT : キシロカインゼリー） 1回ml（ID=8）、 101682602（HOT : キシロカインスプレー）1回（ID=9）、 100555401（HOT：セルシン5mg）1管 （ID=10）、 111963301（HOT：イオパミロン）1瓶 （ID=11）、 4953170183560（JAN：PR-100-1）（ID=12）、 4953170067938（JAN：GIF-XQ240）（ID = 13）、 23000000301（LENDO：治療.胆・膵-.-.-.ERCP）（ID=14）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC（PA）属性、TQ1属性、（左記ORCに対する）OBX属性については、メッセージサンプル（3A-1）に同じ。IPC属性については、メッセージサンプル（3B-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(3E-1)検査報告書状態通知(REPORT→EIS)

メッセージ 3B-1 に対して、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知メッセージ REP_20080222144802_1 を 2008 年 2 月 22 日 14 時 48 分 02 秒に送信。
なお、EIS_NIHON から REPORT_ZEBRA の応答電文(ACK)<3E-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20080222144802||MDM^T01^MDM_T01|
        REP_20080222144802_1|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

中田隆先生により依頼された胃の胃底部と胃体部の上部通常内視鏡検査が、実施され、虎ノ門太郎先生により検査レポートが 2008 年 2 月 22 日 14 時 29 分に作成された。一意的な文書番号は DOC_200802220010000 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||I|S03^30^^^^N||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01|||||||||||||||||||||||||||||||20080101<cr>

ORC|RE|200802141821590|||||||20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200802141821590|||||||20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|CH|200802141821591||||||200802141821590|20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821591||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|||
        20080221103000|||||||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200802141821590|WALK<cr>

TXA|1|DI||||||20080222142905|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200802141821590||
        200802141821590|||AU<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080222144802 ＜メッセージが、2008年2月22日14時48分02秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T01^MDM_T01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080222144802_1
11	Processing ID 処理ID	P（Production）

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性

1	Order Control オーダ制御	RE（検査付帯情報）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（REの時）、 200802141821590（PAの時）、 200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200802141821590（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080222142912
10	Entered By 入力者	中田　隆（職員番号 112233）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田　隆（職員番号 112233）
13	Enterer's Location 入力場所	E05（病棟コード） 01（病室コード）
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 ー 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200802141821590（REの時）、 200802141821590（PAの時）、 200802141821591（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	23^治療.胆・膵^LENDO（REの時）、 23^治療.胆・膵^LENDO（PAの時）、 23000000036^ 治療.-.-.-.ERCP^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080221103000
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田　隆（職員番号 112233）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200802141821590（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK（患者は歩行により移動する）

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080222142905 ＜作成完了した検査レポートを2008年2月22日14時29分5秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200802141821590
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200802141821590
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

PID属性、PV1属性については、メッセージサンプル(3B-1)に同じ。TQ1属性については、メッセージサンプル（3A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(3F-1) 検査報告書通知(REPORT→HIS)

メッセージ 3B-1 に対して、REPORT_ZEBRA から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知メッセージ REP_20080222144802_2 を 2008 年 2 月 22 日 14 時 48 分 02 秒に送信。検体取得がないため、病理オーダの依頼はない。
なお、HIS_FUJIYAMA から REPORT_ZEBRA の応答電文(ACK)<3F-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||HIS_FUJIYAMA||20080222144802||MDM^T02^MDM_T02|
        REP_20080222144802_2|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|S03^30^^^^N||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01|||||||||||||||||||||||||||||||20080101<cr>

ORC|RE|200802141821590||||||20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200802141821590||||||20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821590||23^治療.胆・膵^LENDO|||20080221103000|||||||||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|CH|200802141821591||||||200802141821590|20080222142912|112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I||
        112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200802141821591||23000000301^治療.胆・膵.-.-.-.ERCP^LENDO|||
        20080221103000|||||||||112233^中田^隆^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200802141821590|WALK
        <cr>

TXA|1|DI|multipart|||||20080222142905|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200802141821590||
        200802141821590|||AU<cr>

OBX|1|EI|^STUID^検査インスタンス UID^JSHR||1.2.392.1114.2008.543233.3||||||F<cr>
OBX|2|EI|^ACCNO^受付番号^JSHR||A200802161230000||||||F<cr>
OBX|3|CWE|^PATHOODR^病理検査依頼^JSHR ||N^病理オーダなし^LPATHO||||||F<cr>
OBX|4|ED|EP01^Endoscopy Report for Pathology Order^JSHR^REPORT||
        ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=||||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080222144802 ＜メッセージが、2008年2月22日14時48分02秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T02^MDM_T02
10	Message Control ID メッセージ制御ID	REP_20080222144802_2

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	multipart
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20080222142905
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200802141821590
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200802141821590
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	EI（ID=1,2）、 CWE（ID=3）、 ED（ID=4）
3	Observation Identifier 検査項目	STUID(JSHR : 検査インスタンスUID)(ID=1)、 ACCNO(JSHR：受付番号)(ID=2)、 PATHOODR(JSHR：病理検査依頼)(ID=3)、 EP01(JSHR：Endoscopy Report for Pathology Order)(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1.2.392.1114.2008.543233.3(ID=1)、 A200802161230000(ID=2)、 N（JSHR : 病理オーダなし）（ID=3）、 ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc … dD4NCg==?=（CDAのMIMEエンコード）(ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（3E-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Case 4 超音波内視鏡併用（詳細手技依頼、複数モダリティ指定）

（4A-1）内視鏡検査依頼（HIS→EIS）

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査依頼メッセージ 20081019153020.001 を 2008 年 10 月 19 日 15 時 30 分 20 秒に送信し、EIS_NIHON 側で正常に受信されている。
なお、EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA への応答電文（ORG）<4A-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20081019153020||OMG^O19^OMG_019|
    20081019153020.001|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は江戸小太郎、男、1949 年 11 月 13 日生、患者 ID は 12345677 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P||19491113|M|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者は入院で内科にかかっており主治医は三木寛成先生である。入院先は北棟 5 階 N5901 号室 No.2 ベッドである。

```
PV1|||I|N05^N5901^N5901-02^^^N||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者は、胃底部に病変あり。前回検査のサンプルの病理検査の結果,偏平上皮癌（臨床病名）。
依頼医である内科の綿原善夫先生は粘膜下腫瘍の壁進達度の精査のため、通常の内視鏡に加えて超音波内視鏡の併用による検査を、2008 年 1 月 20 日の 14 時 30 分の開始予定で、検査前日に依頼した。患者は、独歩で検査場所まで来る予定。
オーダ番号は 200810190012400 である。
なお、綿原善夫先生は、南棟 1 階 S1001 号室にあるHISオーダ端末を使用し、検査依頼の操作を、2008 年 10 月 19 日 15 時 29 分 15 秒に行った。

```
ORC|NW|200810190012400|||||||20081019152915|73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
    73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200810190012400|||||||20081019152915|73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
    73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||175.3|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||83.4|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-03^内視鏡所見^JSHR||胃底部に病変あり。||||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-04^病理診断^JSHR||前回検査のサンプルの病理検査の結果,偏平上皮癌。||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||粘膜下腫瘍の壁進達度の精査||||||F<cr>
ORC|CH|200810190012401||||||200810190012400|20081019152915|73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012401||11020301000^検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-^LENDO|||
    20081020143000|||||||||73125393^綿原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

ORC|CH|200810190012402||||||200810190012400|20081019152915|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^|||
73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>

OBR||200810190012402||11020303000^検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-^LENDO|||
20081020143000|||||||||73125393^ 縞 原 ^ 善 夫 ^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081019153020 ＜メッセージが、2008年10月19日15時30分20秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20081019153020.001（EISへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	12345677
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	江戸 小太郎（漢字氏名） エド コタロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19491113 ＜1949年11月13日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	Ｉ（入院患者）
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	N05（北棟5階） N5901（N5901号室） N5901-02（No.2ベッド） ＜患者「江戸 小太郎」の居場所＞
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	

JAHIS © 2010 All right reserved.

6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	三木 寛成（職員ID 73125387）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科）　＜患者「江戸 小太郎」の居場所の診療科＝入院科＞

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200810190012400（NWの時）、 200810190012400（PAの時）、 200810190012401（CHの時）、 200810190012402（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200810190012400（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20081019152915 ＜2008年10月19日15時29分15秒にオーダの登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
13	Enterer's Location 入力場所	S01（南棟1階） S1001（S1001号室） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）　＜依頼医「縞原 善夫」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID ー TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

JAHIS © 2010 All right reserved.

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200810190012400（NWの時）、 200810190012400（PAの時）、 200810190012401（CHの時）、 200810190012402（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11（ローカルコード） 検査.上部（NWの時）、 11（ローカルコード） 検査.上部（PAの時）、 11020301000（ローカルコード） 検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-（CHの時）、 11020303000（ローカルコード） 検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120143000 ＜2008年1月20日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200810190012400（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4、5
2	Value Type 値型	NM（ID=1,2）、 TX（ID=3～5）
3	Observation Identifier 検査項目	01-01(JSHR：身長)(ID=1)、 01-02(JSHR：体重)(ID=2)、 MS3-03(JSHR：内視鏡所見)(ID=3)、 DC-04(JSHR：病理診断)(ID=4)、 MS3-04(JSHR：内視鏡検査理由)(ID=5)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	175.3(ID=1)、 83.4(ID=2)、 胃底部に病変あり。(ID=3)、 前回検査のサンプルの病理検査の結果,偏平上皮癌。(ID=4)、

JAHIS © 2010 All right reserved.

		粘膜下腫瘍の壁進達度の精査(ID=5)
6	Units 単位	cm(SI：cm)(ID=1)、 kg(SI：kg)(ID=2)
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(4B-1) 内視鏡検査通知(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 4A-1 を受けて、EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査通知メッセージ 20081019154530.123 と 20081019154539.934 のそれぞれを 2008 年 10 月 19 日 15 時 45 分 30 秒と 39 秒の 2 回のタイミングで送信し、送信先の各システムで正常に受信されている。
なお、送信先の各システムからの応答電文(ORI)<4B-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20081019154530||OMI^O23^OMI_O23|
    20081019154530.123|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20081019154539||OMI^O23^OMI_O23|
    20081019154539.934|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200810190012400、検査インスタンス UID は 1.2.392.1118.2008.543234.1、撮影モダリティは内視鏡である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||19491113|M|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|N05^N5901^N5901-02^^^N||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|NW|200810190012400|||||||20081019152915|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

ORC|PA|200810190012400|||||||20081019152915|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||175.3|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||83.4|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-03^内視鏡所見^JSHR||胃底部に病変あり。||||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-04^病理診断^JSHR||前回検査のサンプルの病理検査の結果,偏平上皮癌。||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||粘膜下腫瘍の壁進達度の精査||||||F<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

ORC|CH|200810190012401||||||200810190012400|20081019152915|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200810190012401||11020301000^検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-^LENDO
    |||20081020143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

ORC|CH|200810190012402|||||200810190012400|20081019152915|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^|||
73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012402||11020303000^検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-^LENDO
|||20081020143000|||||||73125393^ 縞 原 ^ 善 夫 ^^^^^^^L^^^^^|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>

IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081019154530（PACSへ送信時）、20081019154539（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20081019154530.123（PACSへ送信時）、20081019154539.934（RPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	12345677
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	江戸 小太郎（漢字氏名） エド コタロウ（カナ氏名） EDO KOTAROU（アルファベット氏名） ＜アルファベット氏名は、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成される＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19491113
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

JAHIS © 2010 All right reserved.

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200810190012400
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1118.2008.543234.1
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PID属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（4A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(4D-1) 内視鏡検査実施報告(EIS→HIS)

内視鏡検査室では、患者の江戸小太郎さん到着を受けて前処置及び検査を実施

江戸小太郎さんは、消泡剤(ガスコンドロップ)、咽頭麻酔(キシロカインゼリー)を看護師の名古屋　良子、内視鏡技師の尾張　玲子により前処置を受ける。
咽頭麻酔(キシロカインスプレー)、鎮静剤(セルシン)を、内視鏡医の虎ノ門太郎により投与される。
2008 年 10 月 20 日の 14 時 30 分 30 秒、内視鏡医の虎ノ門　太郎先生が内視鏡を挿入。内視鏡医の小江戸　義弘先生が立ち会った。
胃の中に、要検査箇所を発見し写真撮影後、2008 年 10 月 20 日 14 時 34 分に2回生検を行った。
病理検査依頼に必要な情報を入力し、写真撮影後、2008 年 10 月 20 日 14 時 46 分 23 秒に十二指腸でも生検を行い病理検査依頼に追記した。
胃に戻り、胃底部の病変部に対し、2008 年 10 月 20 日 14 時 59 分 15 秒に超音波プローブによる超音波内視鏡検査を実施。
写真撮影後、2008 年 10 月 20 日 15 時 06 分 16 秒にスコープを抜去。
検査終了後にレポートを作成した。

検査実施メッセージ
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査実施メッセージを、2008 年 10 月 20 日 16 時 20 分 58 秒に送信

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20081020162058||OMI^Z23^OMI_Z23|
        20081020162058.452|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は江戸小太郎、男、1949 年 11 月 13 日生、患者 ID は 12345677 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P||19491113|M|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者は入院で内科にかかっており主治医は三木寛成先生である。入院先は北棟 5 階 N5901 号室 No.2 ベッドである。

```
PV1|||N05^N5901^N5901-02^^^N||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

2008 年 10 月 20 日 14 時 30 分に、上部通常内視鏡検査及び超音波内視鏡検査を実施、オーダ番号は 200810190012400 である。
受付番号は A200810190012400、検査インスタンス UID は 1.2.392.1118.2008.543234.1、撮影モダリティは内視鏡である。
虎ノ門太郎先生が、実施入力の操作を、2008 年 10 月 20 日 16 時 20 分 45 秒に行った。

```
ORC|NW|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
        73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
        73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

ORC|PA|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
        73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20081020143000|||||||||
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||175.3|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||83.4|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|MS3-03^内視鏡所見^JSHR||胃底部に病変あり。||||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-04^病理診断^JSHR||前回検査のサンプルの病理検査の結果,偏平上皮癌。||||||F<cr>
OBX|5|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||粘膜下腫瘍の壁進達度の精査||||||F<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

手技 1 では、十二指腸ファイバースコピー（挿入:2008/10/20 14:30:30, 抜去:2008/10/20 15:06:16）
実施者は、虎ノ門太郎（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は、名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
使用薬剤は、ガスコンドロップ 2%・キシロカインゼリー・キシロカインスプレー・セルシン 5mg・イオパミロン
使用器材は、内視鏡 GIF-XQ240 であった。シリアル番号は 2813073。
使用物品は、超音波プローブ UM-3R。シリアル番号は 2231088。
手技1の回数は1回であった。
超音波内視鏡検査を実施した。

ORC|CH|200810190012401|||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012401||1103^検査.上部.十二指腸^LENDO
|||20081020143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
ZE1|1|RS|11030003000^検査.上部.十二指腸.指示なし.超音波内視鏡.-^LENDO|1<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^I||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-P1^開始時刻^JSHR||20081020143030||||||F<cr>
OBX|6|TS|TM-P2^終了時刻^JSHR||20081020150616||||||F<cr>
OBX|7|CWE|PF-01^実施加算項目^JSHR||11000003000^超音波内視鏡加算^LENDO||||||F<cr>
OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||104232001^ガスコンドロップ 2%^HOT^1^KAI&回&JSHR|||||F<cr>
OBX|9|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101677202^キシロカインゼリー^HOT^1^KAI&回&JSHR||||||F<cr>
OBX|10|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン 5mg^HOT^1^AMP&管&MR9P||||||F<cr>
OBX|11|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||111832201^イオパミロン^HOT^1^BTL&瓶&MR9P||||||F<cr>
OBX|12|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170067938^GIF-XQ240^JAN||||||F|||||||2813073<cr>
OBX|13|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170078491^UM-3R^JAN||||||F|||||||2231088<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

手技2では、胃生検（2008 年 1 月 20 日 14 時 34 分）2回、十二指腸生検（2008 年 1 月 20 日 14 時 46 分 23 秒）1回
実施者は、虎ノ門太郎（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は、名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
器材は、生検鉗子（FB-19C-1）
手技の回数は胃生検2回、十二指腸生検1回であった。

ORC|CH|200810190012402|||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012402||11^検査.上部^LENDO
|||20081020143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
ZE1|1|RS|11020001401^検査.上部.胃.指示なし.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO|2<cr>

JAHIS © 2010 All right reserved.

OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検実施時刻^JSHR||20081020143419|||||F<cr>
OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN^1^個|||||F<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>
ZE1|2|RS|11030001401^検査.上部.十二指腸.指示なし.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO|1<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^|||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検実施時刻^JSHR||20081020144623|||||F<cr>
OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN^1^個|||||F<cr>
IPC|A200810190012400||1.2.392.1118.2008.543234.1||ES<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020162058 ＜メッセージが、2008年10月20日16時20分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20081020162058.452
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

OBR属性　（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801192152100（NWの時）、 200801192152100（PAの時）、 200801192152101（CHの時：手技１） 200801192152102（CHの時：手技２）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11^検査.上部^LENDO（NWの時）、 11^検査.上部^LENDO（PAの時）、 1103^検査.上部.十二指腸^LENDO（CHの１つ目：手技１） 11^検査.上部^LENDO（CHの２つ目：手技２）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20081020143000　＜2008年10月20日の14時30分に検査を開始＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	縞原 善夫（職員番号 73125393）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801192152100（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK　＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

ZE1属性　（OBR CH の１つ目：手技１ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1　（手技１）
2	制御コード　予定／実施	RS（実施）
3	手技	11020001401^検査.上部.胃.指示なし.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性　（上記ZE1：手技１ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～13（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5,6） CWE（ID=7,12） ZRD（ID=8～11,13）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1） DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2） TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3） NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4） TM-P1（JSHR：開始時間）（ID=5） TM-P2（JSHR：終了時間）（ID=6） PF-01（JSHR：実施加算項目）（ID=7） DE-02（JSHR：薬品）（ID=8～11） DE-06(JSHR：内視鏡）（ID=12,13)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	

JAHIS © 2010 All right reserved.

5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/10/20 14:30:30）（ID=5）、 2008/10/20 15:06:16）（ID=6）、 11000003000（LENDO：超音波内視鏡加算）（ID=7）、 104232001（HOT：ガスコンドロップ2%） 1回（ID=8）、 101677202（HOT：キシロカインゼリー） 1回（ID=9）、 100555401（HOT：セルシン5mg）1管（ID=10）、 111832201（HOT：イオパミロン）1瓶（ID=11）、 4953170067938（JAN：GIF-XQ240）（ID=12）、 4953170078491(JAN：UM-3R)(ID=13)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	2813073 2231088

ZE1属性　（OBR CH の２つ目：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1　（手技２）
2	制御コード　予定／実施	RS（実施）
3	手技	11020001401^検査.上部.胃.指示なし.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	2

OBX属性　（上記ZE1：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5） CWE（ID=6）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検実施時刻）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	

JAHIS © 2010 All right reserved.

5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/10/20 14:34:19）（ID=5）、 4953170029578（JAN：FB-19C-1）1回（ID=6）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

ZE1属性　（OBR CH の１つ目：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1　（手技２）
2	制御コード　予定／実施	RS（実施）
3	手技	11020001401^検査.上部.十二指腸.指示なし.上部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性　（上記ZE1：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5） CWE（ID=6）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検実施時刻）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2008/10/20 14:34:19（ID=5）、 4953170029578（JAN：FB-19C-1）1回（ID=6）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

PID属性、PV1属性、ORC属性、OBX(PA)属性、IPC属性については、メッセージサンプル（4B-1）に同じ。
TQ1属性については、メッセージサンプル（4A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.　

（4E-1）検査報告書状態通知（REPORT→EIS）

メッセージ 4B に対して、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知メッセージ 20081020162058.235 を 2008 年 10 月 20 日 16 時 20 分 58 秒に送信し、EIS_NIHON 側で正常に受信されている。
なお、EIS_NIHON から REPORT_ZEBRA への応答電文（ACK）<4E-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20081020162058||MDM^T01^MDM_T01|
    20081020162058.235|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

縞原善夫先生により依頼された検査が、実施され、虎ノ門太郎先生により検査レポートが 2008 年 10 月 20 日 16 時 20 分 45 秒に作成された。一意的な文書番号は DOC_200810200010000 である。

```
PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||19491113|M|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|N05^N5901^N5901-02^^^N||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|
    ||||||||||||WALK<cr>
ORC|CH|200810190012401||||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012401||11020301000^検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-^LENDO
    |||20080120143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
ORC|CH|200810190012402||||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR|||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012402||11020303000^検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-^LENDO
    |||20080120143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
TXA|1|DI||||||20081020162045|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200810200010000||
    200810190012400|||AU<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020162058 ＜メッセージが、2008年10月20日16時20分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T01^MDM_T01

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

10	Message Control ID メッセージ制御ID	20081020162058.235（EISへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	RE（検査付帯情報）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200810190012400（REの時）、 200810190012400（PAの時）、 200810190012401（CHの時）、 200810190012402（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200810190012400（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20081020162045 ＜作成完了した検査レポートの登録操作を2008年1月20日16時20分45秒に行った。＞
10	Entered By 入力者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
13	Enterer's Location 入力場所	S01（南棟1階） S1001（S1001号室）
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200810190012400（REの時）、 200810190012400（PAの時）、 200810190012401（CHの時）、 200810190012402（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	11（ローカルコード） 検査上部（REの時）、 11（ローカルコード） 検査上部（PAの時）、 11020301000（ローカルコード） 検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-（CHの時）、 11020303000（ローカルコード） 検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120143000 ＜2008年1月20日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	

JAHIS © 2010 All right reserved.

10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	縞原 善夫（職員ID 73125393）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200810190012400（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20081020162045 ＜作成完了した検査レポートを2008年1月20日16時20分45秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200810200010000（一意的な文書番号）
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801200010000
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

PID属性、PV1属性については、メッセージサンプル(4B-1)に同じ。TQ1属性については、メッセージサンプル（4A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

（4F-1）検査報告書通知（REPORT→HIS）

メッセージ 4B に対して、REPORT_ZEBRA から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知メッセージ 20081020162058.987 を 2008 年 10 月 20 日 16 時 20 分 58 秒に送信し、HIS_FUJIYAMA 側で正常に受信されている。
なお、HIS_FUJIYAMA から REPORT_ZEBRA への応答電文（ACK）<4F-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||HIS_FUJIYAMA||20081020162058||MDM^T02^MDM_T02|
    20081020162058.987|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

PID|||12345677^^^^PI||江戸^小太郎^^^^^L^I~エド^コタロウ^^^^^L^P~EDO^KOTAROU^^^^^L^A||19491113|M|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|N05^N5901^N5901-02^^^N||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200810190012400|||||||20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012400||11^検査.上部^LENDO|||20080120143000|||||||||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|CH|200810190012401||||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012401||11020301000^検査.上部.胃.胃底部.上部通常内視鏡.-^LENDO
    |||20080120143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
ORC|CH|200810190012402||||||200810190012400|20081020162045|73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||
    73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I|S01^S1001^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200810190012402||11020303000^検査.上部.胃.胃底部.超音波内視鏡.-^LENDO
    |||20080120143000|||||||||73125393^縞原^善夫^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||200810190012400|WALK<cr>
TXA|1|DI|multipart|||||20081020162045|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200810200010000||
    200810190012400|||AU<cr>
```

受付番号は A200810190012400、検査インスタンス UID は 1.2.392.1118.2008.543234.1、である。
病理オーダあり。検査レポート文書が OBX にインクルードされる。

```
OBX|1|EI|STUID^検査インスタンス UID^JSHR||1.2.392.1118.2008.543234.1||||||F<cr>
OBX|2|EI|ACCNO^受付番号^JSHR||A200810190012400||||||F<cr>
OBX|3|CWE|PATHOODR^病理検査依頼^JSHR||Y^病理オーダあり^LPATHO||||||F<cr>
OBX|4|ED|EP01^Endoscopy Report for Pathology Order^JSHR||
    ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=||||||F<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020162058 ＜メッセージが、2008年10月20日16時20分58秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T02^MDM_T02
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20081020162058.987（HISへの送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	multipart
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20081020162045 ＜作成完了した検査レポートを2008年1月20日16時20分45秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200810200010000（一意的な文書番号）
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200801200010000
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4
2	Value Type 値型	EI(ID=1,2)、 CWE(ID=3)、 ED(ID=4)
3	Observation Identifier 検査項目	STUID(JSHR：検査インスタンスUID)(ID=1)、 ACCNO(JSHR：受付番号)(ID=2)、 PATHOODR(病理検査有無)(ID=3)、 EP01(JSHR：Endoscopy Report for

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

		Pathology Order)(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1.2.392.1118.2008.543234.1(ID=1)、 A200810190012400(ID=2)、 Y(LPATHO：病理オーダあり)(ID=3)、 ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=? UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4N Cg==?=(CDAのMIMEエンコード) (ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（4E-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Case 5 検体取得指示がある場合

（下部内視鏡検査の経過観察、観察部位指定、詳細部位コメント、検体取得指示）

(5A-1) 内視鏡検査依頼(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査依頼メッセージ 20071120193010.452 を 2007 年 11 月 20 日 19 時 30 分 10 秒に送信し、EIS_NIHON 側で正常に受信されている。
なお、EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA への応答電文(ORG)<5A-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20071120193010||OMG^O19^OMG_019|
    20071120193010.452|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は東京太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 10345678 である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
    虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者は外来で内科にかかっており主治医は三木寛成先生である。

```
PV1||O|01^^^^^C||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者は、昨年、大腸がん(臨床病名)を患った。
今回の診察医(依頼医)である内科の中田翔三先生はその後の処置における経過観察のため、下部内視鏡検査を具体的観察部位を指定し、検体採取(詳細位置をコメントで補足)を合わせて、2007 年 11 月 22 日の 14 時 30 分の開始予定(依頼日から2日後)で、依頼した。患者は、独歩で検査場所まで来る予定。
オーダ番号は 200711200012500 である。
なお、中田翔三先生は、内科の診察室内にあるHISオーダ端末を使用し、検査依頼の操作を、2007 年 11 月 20 日 16 時 30 分 43 秒に行った。

```
ORC|NW|200711200012500|||||||20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200711200012500|||||||20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||168.8|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||58.1|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||肛門より 50cm のところの検体サンプル取得。||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||大腸がんの経過観察||||||F<cr>
ORC|CH|200711200012501||||||200711200012500|20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012501||12052402401^検査.下部.S状結腸.S状結腸・下行結腸移行部.下部通常内視鏡.生検採
    取^LENDO|||20071122143000|||||||73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||
```


JAHIS © 2010 All right reserved.

200711200012500|WALK<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20071120193010 ＜メッセージが、2007年11月20日19時30分10秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20071120193010.452（EISへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	10345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎（漢字氏名） トウキョウ タロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214 ＜1950年12月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	O（外来患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	01（内科） C（診療科） ＜患者「東京 太郎」の居場所＝外来受診している診療科＞
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	三木 寛成（職員ID 73125387）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科） ＜患者「東京 太郎」の居場所の診療科＝受診科＞

JAHIS © 2010 All right reserved.

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200711200012500（NWの時）、 200711200012500（PAの時）、 200711200012501（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200711200012500（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20071120163043 ＜2007年11月20日16時30分43秒にオーダの登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	中田 翔三（職員ID 73125432）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 翔三（職員ID 73125432）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科）　C（診療科） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）　＜依頼医「中田 翔三」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	O （外来患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID － TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200711200012500（NWの時）、 200711200012500（PAの時）、 200711200012501（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	12（ローカルコード）　検査.下部（NWの時）、 12（ローカルコード）　検査.下部

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
		（PAの時）、 12052402401（ローカルコード） 検査.下部.S状結腸.S状結腸・下行結腸移行部.下部通常内視鏡.生検採取 （CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20071122143000 ＜2007年11月22日の14時30分の開始予定＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 翔三（職員ID 73125432）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200711200012500（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4
2	Value Type 値型	NM（ID=1,2）、 TX（ID=3,4）
3	Observation Identifier 検査項目	01-01（JSHR：身長）(ID=1)、 01-02（JSHR：体重）（ID=2）、 DC-01（JSHR：内視鏡依頼）（ID=3）、 MS3-04（JSHR：内視鏡検査理由）(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	168.8（ID=1）、 58.1（ID=2）、 肛門より50cmのところの検体サンプル取得。(ID=3)、 大腸がんの経過観察(ID=4)
6	Units 単位	cm(SI：cm)(ID=1)、 kg(SI：kg)(ID=2)
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(5B-1) 内視鏡検査通知(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 5A-1 を受けて、EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査通知メッセージ 20071120193230.768 と 20071120193230.769 のそれぞれを 2007 年 11 月 20 日 19 時 32 分 30 秒に、たまたま同じタイミングで送信し、送信先の各システムで正常に受信されている。
(EIS 上の PACS 向けと REPORT 向けの各電文送信プロセスは、別々に非同期で処理を行っている。)
なお、送信先の各システムからの応答電文(ORI)<5B-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20071120193230||OMI^O23^OMI_O23|
        20071120193230.768|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20071120193230||OMI^O23^OMI_O23|
        20071120193230.769|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200711200012500、検査インスタンス UID は 1.2.392.1118.2007.543235.1、撮影モダリティは内視鏡である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOKYO^TAROU^^^^^L^A||
        19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|01^^^^^C||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|NW|200711200012500|||||||20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
        73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
        73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
IPC|A2007112000125000||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>
ORC|PA|200711200012500|||||||20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
        73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
        73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||168.8|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||58.1|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||肛門より 50cm のところの検体サンプル取得。||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||大腸がんの経過観察||||||F<cr>
IPC|A2007112000125000||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>
ORC|CH|200711200012501||||||200711200012500|20071120163043|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
        73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012501||12052402401^検査.下部.S状結腸.S状結腸・下行結腸移行部.下部通常内視鏡.生検採
        取^LENDO|||20071122143000|||||||73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||
        200711200012500|WALK<cr>
IPC|A2007112000125000||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、 REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20071120193230（PACSへ送信時）、 20071120193230（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20071120193230.768（PACSへ送信時）、 20071120193230.769（REPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	10345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎（漢字氏名） トウキョウ タロウ（カナ氏名） TOKYO TAROU（アルファベット氏名） ＜アルファベット氏名は、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成される＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200711200012500
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1118.2007.543235.1
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PID属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（5A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(5D-1) 内視鏡検査実施報告(EIS→HIS)

内視鏡検査室では、患者の東京太郎さん到着を受けて前処置及び検査を実施

東京太郎さんは、看護師の名古屋　良子、内視鏡技師の尾張　玲子により腸内洗浄(ニフレック使用)の前処置を受ける。
鎮静剤(セルシン)を、内視鏡医の虎ノ門太郎により投与される。
2007 年 11 月 22 日の 14 時 52 分、内視鏡医の虎ノ門　太郎先生が内視鏡を挿入。内視鏡医の小江戸　義弘先生が立ち会った。
2007 年 11 月 22 日 15 時 07 分 20 秒に盲腸到達。抜きながら観察、検査は順調に進行し、正常所見であった。
写真撮影後、予定箇所の S 状結腸・下行結腸移行部より 3cm のところの下行結腸周辺から
生検(2007 年 11 月 22 日 15 時 24 分 15 秒)を行った。
病理検査依頼に必要な情報を入力し、2007 年 11 月 22 日 15 時 39 分 18 秒にスコープを抜去。

検査実施メッセージ
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む内視鏡検査実施メッセージを、2007 年 11 月 22 日 15 時 59 分 34 秒に送信

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20071122155934||OMI^Z23^OMI_Z23|
      20071120155934.452|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は東京太郎、男、1950 年 12 月 14 日生、患者 ID は 12345678 である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P||19501214|M|||
      虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者は外来で内科にかかっており主治医は三木寛成先生である。

```
PV1||O|01^^^^^C||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

2007 年 11 月 22 日 14 時 52 分に、下部内視鏡検査を観察部位を指定で実施、検体採取(詳細位置をコメントで補足)を合わせて実施、
オーダ番号は 200711200012500 である。
受付番号は A200711200012500、検査インスタンス UID は、1.2.392.1118.2007.543235.1、撮影モダリティは下部内視鏡である。
虎ノ門太郎先生が、実施入力の操作を、2007 年 11 月 22 日 15 時 58 分 02 秒に行った。

```
ORC|NW|200711200012500|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
IPC|A200711200012500||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>

ORC|PA|200711200012500||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|NM|01-01^身長^JSHR||168.8|cm^cm^SI|||||F<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

OBX|2|NM|01-02^体重^JSHR||58.1|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||肛門より 50cm のところの検体サンプル取得。||||||F<cr>
OBX|4|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||大腸がんの経過観察||||||F<cr>
IPC|A2007112000125000||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>

手技 1 では、大腸内視鏡検査（挿入:2007/11/22 14:52:31，抜去:2007/11/22 15:39:18）
実施者は、虎ノ門太郎（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は、名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
使用薬剤は、ニフレック 2L・セルシン 5mg
使用器材は、内視鏡 CF-Q240 であった。シリアル番号は、2313074。
手技1の回数は1回であった。

手技2では、大腸生検（2007 年 11 月 22 日 15 時 24 分 15 秒）
実施者は、虎ノ門太郎（医師）・小江戸義弘（医師），介助者は、名古屋良子（看護師）・尾張玲子（内視鏡技師）
器材は、生検鉗子（FB-19C-1）
手技の回数は1回であった。

ORC|CH|200711200012501||||||200711200012500|20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|||
73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012501||1206^検査.下部.大腸^LENDO|||20071122143000|||||||||
73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|||||||||||||||200711200012500|WALK<cr>

ZE1|1|RS|1206^検査.下部.大腸^LENDO^LENDO|1<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR
||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-P1^開始時刻^JSHR||20071122145231||||||F<cr>
OBX|6|TS|TM-P2^終了時刻^JSHR||20071122153918||||||F<cr>
OBX|7|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||112014103^ニフレック^HOT^1^PCK&包&MR9P||||||F<cr>
OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン 5mg^HOT^1^AMP&管&MR9P||||||F<cr>
OBX|9|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR|| 4953170068591^ CF-Q240^JAN|||||F|||||||2313074<cr>
IPC|A200711200012500||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>

ORC|CH|200711200012502||||||200711200012500|20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|||
73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|I|01^^^^^C||||01^内科^JSHR||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012502||12060002401^検査.下部.大腸.指示なし.下部通常内視鏡.生検採取^LENDO
|||20071122143000|||||||||73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^|||||||||||||||200711200012500|WALK<cr>
ZE1|2|RS|12060002401^検査.下部.大腸.指示なし.下部通常内視鏡.生検採取^LENDO|1<cr>
OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^^L^^^^^|||||||F<cr>
OBX|5|TS|TM-B1^生検実施時刻^JSHR||20071122152415||||||F<cr>
OBX|6|ZRD|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN^1^個||||||F<cr>
IPC|A200711200012500||1.2.392.1118.2007.543235.1||ES<cr>

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20071122155934 ＜メッセージが、2007年11月22日15時59分34秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^Z23^OMI_Z23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20071120155934.452
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

OBR属性　（ORC毎に作成）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200711200012500（NWの時）、 200711200012500（PAの時）、 200711200012501（CHの時：手技１） 200711200012502（CHの時：手技2）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	12^検査.下部^LENDO（NWの時）、 12^検査.下部^LENDO（PAの時）、 1206^検査.下部.大腸^LENDO（CHの１つ目） 12060002401^検査.下部.大腸.指示なし.下部通常内視鏡.生検採取^LENDO（CHの２つ目）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20071122143000　＜2007年11月22日の14時30分に検査を開始＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田翔三（職員番号 73125432）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200711200012500（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK　＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

ZE1属性　（OBR CH の１つ目：手技１ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1　（手技１）
2	制御コード　予定／実施	RS（実施）
3	手技	1206^検査.下部.大腸^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性　（上記ZE1：手技１ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1～9（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4） TS（ID=5,6） ZRD（ID=7,8） CWE（ID=9）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-P1（JSHR：開始時間）（ID=5）、 TM-P2（JSHR：終了時間）（ID=6）、 DE-02（JSHR：薬品）（ID=7～8）、 DE-06(JSHR：内視鏡）（ID=9)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2007/11/22 14:52:31（ID=5）、 2007/11/22 15:39:18）（ID=6）、 112014103（HOT：ニフレック）1包（ID=7）、 100555401（HOT：セルシン5mg）1管（ID=8） 4953170067938（JAN：GIF-XQ240)（ID=9）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	2313074

JAHIS © 2010 All right reserved.

ZE1属性　（OBR CH の１つ目：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	セットID － ZE1	1　（手技２）
2	制御コード　予定／実施	RS（実施）
3	手技	12060002401^検査.下部.大腸.指示なし.下部通常内視鏡.生検採取^LENDO
4	手技回数	1

OBX属性　（上記ZE1：手技２ に対する）

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational Simpleセットid － OBX	1～6（上位ZE1に対して連番）
2	Value Type 値型	XCN（ID=1～4）、 TS（ID=5）、 ZRD（ID=6）
3	Observation Identifier 検査項目	DR-02.EM-01（JSHR：正規従業員の実施医師）（ID=1）、 DR-02.EM-02（JSHR：派遣従業員の実施医師）（ID=2）、 TC-02.EM-01（JSHR：正規従業員の内視鏡技師）（ID=3）、 NS-01.EM-01（JSHR：正規従業員の看護師）（ID=4）、 TM-B1（JSHR：生検実施時刻）（ID=5）、 DE-03（JSHR：器材）（ID=6）
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	987654(従事者ID)虎ノ門太郎(従事者名)（ID=1)、 234567(従事者ID)小江戸義弘(従事者名)（ID=2)、 345678（従事者ID）尾張玲子（従事者名）（ID=3)、 456789(従事者ID)名古屋良子(従事者名)（ID=4)、 2007/11/22 15:24:15）（ID=5）、 4953170029578（JAN：FB-19C-1） 1回（ID=6 ）
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC属性、OBX(PA)属性、IPC属性については、メッセージサンプル（5B-1）に同じ。
TQ1属性については、メッセージサンプル（5A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

（5E-1）検査報告書状態通知（REPORT→EIS）

メッセージ 5B に対して、REPORT_ZEBRA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書状態通知メッセージ 20071122155934.237 を 2007 年 11 月 22 日 15 時 59 分 34 秒に送信し、EIS_NIHON 側で正常に受信されている。
なお、EIS_NIHON から REPORT_ZEBRA への応答電文（ACK）<5E-2>のサンプルは記載していない（記載省略）。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20071122155934||MDM^T01^MDM_T01|
    20071122155934.237|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

中田翔三先生により依頼された検査が、実施され、虎ノ門太郎先生により検査レポートが 2007 年 11 月 22 日 15 時 58 分 02 秒に作成された。一意的な文書番号は DOC_200711220020000 である。

```
PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOKYO^TAROU^^^^^L^A||
    19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|01^^^^^C||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200711200012500|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200711200012500|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|CH|200711200012501|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200711200012501||1206^検査.下部.大腸^LENDO|||20071122143000|||||||||
    73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200711200012500|WALK<cr>
TXA|1|DI||||||20071122155802|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200711220020000||
    200711200012500|||AU<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20071122155934 ＜メッセージが、2007年11月22日15時59分34秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T01^MDM_T01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20071122155934.237（EISへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	RE（検査付帯情報）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200711200012500（REの時）、 200711200012500（PAの時）、 200711200012501（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200711200012500（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20071122155802 ＜作成完了した検査レポートを2007年11月22日15時58分02秒に登録操作を行った。＞
10	Entered By 入力者	中田 翔三（職員ID 73125432）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 翔三（職員ID 73125432）
13	Enterer's Location 入力場所	01（内科）　C（診療科）
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（内科）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200711200012500（REの時）、 200711200012500（PAの時）、 200711200012501（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	12（ローカルコード）　検査.下部（REの時）、 12（ローカルコード）　検査.下部（PAの時）、 1206^検査.下部.大腸^LENDO　（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20071122143000　＜2007年11月22日の14時30分に検査を開始＞
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 翔三（職員ID 73125432）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200711200012500（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	＜MDM^T01時は、空値とする＞
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20071122155802 ＜作成完了した検査レポートを2007年11月22日15時58分02秒に登録操作を行った。＞
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200711220020000（一意的な文書番号）
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200711200012500
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（5D-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(5F-1) 検査報告書通知(REPORT→HIS)

メッセージ 5B に対して、REPORT_ZEBRA から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む検査報告書通知メッセージ 20071122155934.485 を 2007 年 11 月 22 日 15 時 59 分 34 秒に送信し、HIS_FUJIYAMA 側で正常に受信されている。
なお、HIS_FUJIYAMA から REPORT_ZEBRA の応答電文(ACK)<5F-2>のサンプルは記載していない(記載省略)。

```
MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||HIS_FUJIYAMA||20071122155934||MDM^T02^MDM_T02|
      20071122155934.485|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

PID|||10345678^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ^^^^^L^P~TOKYO^TAROU^^^^^L^A||
      19501214|M|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1||O|01^^^^^C||||73125387^三木^寛成^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|RE|200711200012500|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|PA|200711200012500|||||||20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012500||12^検査.下部^LENDO|||20071122143000|||||||||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
ORC|CH|200711200012501|||||||200711200012500|20071122155802|73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I||01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200711200012501||1206^検査.下部.大腸^LENDO|||20071122143000|||||||||
      73125432^中田^翔三^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||200711200012500|WALK<cr>
TXA|1|DI|multipart|||||20071122155802|987654^虎ノ門^太郎^^^^^^^L^^^^^I|||DOC_200711220020000||
      200711200012500|||AU<cr>
```

受付番号は A200711200012500、検査インスタンス UID は 1.2.392.1118.2007.543235.1 である。病理オーダあり。検査レポート文書が OBX にインクルードされる。

```
OBX|1|EI|STUID^検査インスタンス UID^JSHR||1.2.392.1118.2007.543235.1||||||F<cr>
OBX|2|EI|ACCNO^受付番号^JSHR||A200711200012500||||||F<cr>
OBX|3|CWE|PATHOODR^病理検査依頼^^JSHR||Y^病理オーダあり^LPATHO||||||F<cr>
OBX|4|ED|EP01^Endoscopy Report for Pathology Order^JSHR||
      ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=||||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	REPORT_ZEBRA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20071122155934 ＜メッセージが、2007年11月22日15

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
		時59分34秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	MDM^T02^MDM_T02
10	Message Control ID メッセージ制御ID	20071122155934.485（HISへの送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

TXA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID － TXA セットID － TXA	1
2	Document Type 文書タイプ	DI（画像診断）
3	Document Content Presentation 文書内容プレゼンテーション	multipart ＜MDM^T02時は、「multipart」を入れる＞
4	Activity Date/Time 活動日付／時刻	
5	Primary Activity Provider Code/Name 主要な活動提供者コード／名前	
6	Origination Date/Time 開始日付／時刻	
7	Transcription Date/Time 電子媒体化日付／時刻	
8	Edit Date/Time 編集日付／時刻	20071122155802
9	Originator Code/Name 起案者コード／名前	虎ノ門　太郎（職員番号 987654）
10	Assigned Document Authenticator 指定された文書確証担当者	
11	Transcriptionist Code/Name 電子媒体化担当者コード／名前	
12	Unique Document Number 一意的な文書番号	DOC_200711220020000（一意的な文書番号）
13	Parent Document Number 親文書番号	
14	Placer Order Number 依頼者発注番号	200711200012500
15	Filler Order Number 実施者発注番号	
16	Unique Document File Name 一意的な文書ファイル名	
17	Document Completion Status 文書完成状態	AU（承認された）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4
2	Value Type 値型	EI（ID=1）、 CE(ID=3)、 ED(ID=4)
3	Observation Identifier 検査項目	STUID(JSHR：検査インスタンスUID)(ID=1)、 ACCNO(JSHR：受付番号)(ID=2)、 PATHOODR(JSHR：病理検査有無)(ID=3)、 EP01(JSHR：Endoscopy Report for Pathology Order)(ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1.2.392.1118.2007.543235.1(ID=1)、 A200711200012500(ID=2)、 Y（LPATHO：病理オーダあり）(ID=3)、 ^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^=?UTF-8?B?PD94bWwgdmVyc…dD4NCg==?=（CDAのMIMEエンコード）(ID=4)
6	Units 単位	

JAHIS © 2010 All right reserved.　

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

PID属性、PV1属性、ORC属性、TQ1属性、OBR属性については、メッセージサンプル（5E-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

Case 6 上部消化管　処置(手術)を含む依頼　(治療依頼、詳細手技依頼あり、異常応答)

(6A-1) 内視鏡検査依頼(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の漢字を含む内視鏡検査依頼メッセージ
HIS_20080120103255 を 2008 年 1 月 20 日 10 時 32 分 55 秒に送信。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20080120103255||OMG^O19^OMG_019|
        HIS_20080120103255|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者氏名は、福岡千尋、女性、1980 年 10 月 21 日生、患者 ID は 97531111 である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P||19801021|F|||
        虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは内科に入院しており、主治医は田中一郎先生である。病棟は E02 棟 21 号室である。

```
PV1|||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんの胃の病変部の病理検査を行った結果、癌と判明。
東京和夫先生は、患部切除処置を含む内視鏡検査を、2008 年 1 月 20 日 16 時 50 分の開始予定で、検査前日に依頼した。
なお、東京和夫先生は、E05 棟 01 号室のオーダ端末を使用し、検査依頼を入力した。
切除部位は胃上部。治療手技は EMR。オーダ番号は 200801191835230 である。
患者の血液型は A 型、感染情報として、HBs 抗原が陰性である。

```
ORC|NW|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|03-01^HBs 抗原^JSHR||01^-^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-04^病理診断^JSHR||病変部は癌|||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||胃上部病変部切除。|||||F<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
        000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||||R<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^|||||||||||||200801191835230|WALK<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103255 ＜メッセージが、2008年1月20日10時32分55秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120103255
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	97531111
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	福岡 千尋（漢字氏名） フクオカ チヒロ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19801021 ＜1980年10月21日生＞
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I（入院患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	E02病棟 21病室 ＜患者「福岡 千尋」の居場所＞
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	田中 一郎（職員番号 000032）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（JSHR：内科） ＜患者「福岡 千尋」の居場所の診療科＝入院科＞

JAHIS © 2010 All right reserved.

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	200801191835230（CHの時）
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	20080119115025 ＜2008年1月19日11時50分25秒にオーダの登録操作を行った。ここではサンプルのため、前日のオーダ登録としている。＞
10	Entered By 入力者	東京 和夫（職員番号 000038）
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
13	Enterer's Location 入力場所	E05（病棟コード） 01（病室コード） ＜端末を操作した場所を示す＞
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	01（JSHR：内科） ＜依頼医「東京 和夫」の所属科＝依頼科＞
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Faciloity Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	I （入院患者オーダ）

TQ1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - TQ1セットID － TQ1	1
2	Quantity 数量	
3	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	Explicit Time 明示的な時間	
5	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	Service Duration サービス期間	
7	Start date/time 開始日時	
8	End date/time 終了日時	
9	Priority 優先度	R（ルーチン）

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 － 検査要求	
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	200801191835230（NWの時）、 200801191835230（PAの時）、 200801191835231（CHの時）
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	21^治療.上部^LENDO（NWの時）、 21^治療.上部^LENDO（PAの時）、

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
		21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR)^LENDO（CHの時）
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	20080120165000
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	東京 和夫（職員番号 000038）
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng . Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	200801191835230（CHの時）
30	Transportation Mode 患者移動モード	WALK ＜患者は、独歩で検査場所まで来る＞

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4 （上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE (ID=1,2) 、 TX (ID=3,4)
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式）(ID=1)、 03-01（JSHR：HBs抗原）(ID=2)、 DC-04（JSHR：病理診断(ID=3) 、 DC-01(JSHR：内視鏡依頼^JSHR (ID=4)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1(LBLABO：A)(ID=1)、 01(JSHR：-)(ID=2)、 病変部は癌(ID=3)、 胃上部病変部切除。(ID=4)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(6A-2) 内視鏡検査依頼応答の肯定応答(アプリケーション異常)(EIS→HIS)

メッセージサンプル(6A-1)に対する肯定応答メッセージ。
下記例では、メッセージサンプル(6A-1)の必須フィールドである PV1-3 が、HIS_FUJIYAMA から送信されず、受信側アプリケーションが当該電文の受信を受諾せずに、エラーが訂正された別の電文の送信要求をするケースでの、肯定応答メッセージ(アプリケーション異常:AE)を想定している。

MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20080120103256||ORG^O20^ORG_O20|
EIS_20080120103256|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AE|HIS_20080120103255<cr>
ERR||00133|101^要求されたフィールドの消失|E|||PV1-3 に値が存在しない|
必須データフィールドに値が存在しないメッセージを受信しました。ヘルプデスクに連絡して下さい。|HD<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103256 ＜メッセージが、2008年1月20日10時32分56秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORG^O20^ORG_O20
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103256
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AE（基本モード:アプリケーション異常）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20080120103255

ERR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Error Code and Location エラーコードと位置	
2	Error Location エラー位置	133
3	HL7 Error Code HL7エラーコード	101^要求されたフィールドの消失
4	Severity 影響度	E（エラー）
5	Application Error Code アプリケーションエラーコード	
6	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ	
7	Diagnostic Information 診断情報	PV1-3に値が存在しない
8	User Message ユーザメッセージ	必須データフィールドに値が存在しないメッセージを受信しました。ヘルプデスクに連絡して下さい。
9	Inform Person Indicator 人への通知指標	HD（ヘルプデスクに知らせる）

JAHIS © 2010 All right reserved.

(6B-1) 内視鏡検査通知(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 6A-1 を正常に受けて、EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の漢字を含む内視鏡検査通知メッセージ EIS_20080120103258 と EIS_20080120103259 を、それぞれ 2008 年 01 月 20 日 10 時 32 分 58 秒と 59 秒のタイミングで送信。

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20080120103258||OMI^O23^OMI_O23|
    EIS_20080120103258|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20080120103259||OMI^O23^OMI_O23|
    EIS_20080120103259|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

受付番号は A200801310050000、検査インスタンス UID は 1.2.392.1114.2008.543233.2、撮影モダリティは上部内視鏡である。

```
PID|||97531111^^^^PI||福岡^千尋^^^^^L^I~フクオカ^チヒロ^^^^^L^P~FUKUOKA^CHIHIRO^^^^^L^A
    ||19801021|F|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
PV1|||I|E02^21^^^^N||||000032^田中^一郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

ORC|NW|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>

ORC|PA|200801191835230|||||||20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835230||21^治療.上部^LENDO|||20080120165000|||||||||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|||||||||||||||WALK<cr>
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|03-01^HBs 抗原^JSHR||01^-^JSHR|||||F<cr>
OBX|3|TX|DC-04^病理診断^JSHR||病変部は癌|||||F<cr>
OBX|4|TX|DC-01^内視鏡依頼^JSHR||胃上部病変部切除。|||||F<cr>

ORC|CH|200801191835231||||||200801191835230|20080119115025|000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||
    000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I|E05^01^^^^N||||01^内科^JSHR||||||||||||I<cr>
TQ1|1|||||||R<cr>
OBR||200801191835231||21020001112^治療.上部.胃.-.上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
    (EMR)^LENDO|||20080120165000|||||||||000038^東京^和夫^^^^^^^L^^^^^I||||||||||||||
    200801191835230|WALK<cr>
IPC|A200801310050000||1.2.392.1114.2008.543233.2||ES<cr>
```


JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信時）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103258（PACSへ送信時）、20080120103259（REPORTへ送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	OMI^O23^OMI_O23
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103258（PACSへ送信時）、EIS_20080120103259（REPORTへ送信時）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	97531111
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	福岡 千尋（漢字氏名） フクオカ チヒロ（カナ氏名） FUKUOKA CHIHIRO（アルファベット氏名） ＜アルファベット氏名については、OF（EIS）内でカナ氏名を元に生成する必要がある＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19801021　＜1980年10月21日生＞
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒05-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

IPC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Accession Identifier 受付番号	A200801310050000
2	Requested Procedure ID 要求手続きID	
3	Study Instance UID 検査インスタンスUID	1.2.392.1114.2008.543233.2
4	Scheduled Procedure Step ID 予約済手続きステップID	
5	Modality モダリティ	ES

PV1属性、TQ1属性、ORC属性、OBR属性、OBX属性については、メッセージサンプル（6A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(6B-2) 内視鏡検査通知の肯定応答(アプリケーション拒否)(PACS、REPORT→EIS)

メッセージサンプル 6B-1 に対する肯定応答メッセージ。
下記例では、当該受信電文(6B-1)の受信時に、受信側のアプリケーションにて内部エラーが発生し、そのタイミングでの受信を受諾せずに、後々に同じ内容の電文の再送を要求するケースでの、肯定応答メッセージ(アプリケーション拒否:AR)を想定している。

【PACS_CAMEL → EIS_NIHON へ送信する場合。メッセージ制御 ID は PCS_20080120103301】

MSH|^~\&|PACS_CAMEL||EIS_NIHON||20080120103301||ORI^O24^ORI_O24|
PCS_20080120103301|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AR| EIS_20080120103258<cr>
ERR|||207^アプリケーション内部エラー|E|||他システムとの通信エラー|
この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|HD<cr>

【REPORT_ZEBRA → EIS_NIHON へ送信する場合。メッセージ制御 ID は REP_20080120103302】

MSH|^~\&|REPORT_ZEBRA||EIS_NIHON||20080120103302||ORI^O24^ORI_O24|
REP_20080120103302|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AR| EIS_20080120103259<cr>
ERR|||207^アプリケーション内部エラー|E|||他システムとの通信エラー|
この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|HD<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSから送信時）、REPORT_ZEBRA（REPORTから送信時）
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20080120103301（PACSから送信時）、20080120103302（REPORTから送信時）
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORI^O24^ORI_O24
10	Message Control ID メッセージ制御ID	PCS_20080120103301（PACSから送信時）、REP_20080120103302（REPORTから送信時）
11	Processing ID 処理ID	2.5
12	Version ID バージョンID	
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	JPN
17	Country Code 国コード	ASCII~ISO IR87
18	Character Set 文字セット	
19	Principal Language of Message 主要言語	ISO 2022-1994

JAHIS © 2010 All right reserved.

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AR（基本モード:アプリケーション拒否）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20080120103258（PACSから送信時）、 EIS_20080120103259（REPORTから送信時）

ERR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Error Code and Location エラーコードと位置	
2	Error Location エラー位置	
3	HL7 Error Code HL7エラーコード	207^アプリケーション内部エラー
4	Severity 影響度	E（エラー）
5	Application Error Code アプリケーションエラーコード	
6	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ	
7	Diagnostic Information 診断情報	他システムとの通信エラー
8	User Message ユーザメッセージ	この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。
9	Inform Person Indicator 人への通知指標	HD（ヘルプデスクに知らせる）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

Case 7 患者情報通知

(7A-1) 患者情報通知. 新規登録(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知メッセージ HIS_20081020103020 を 2008 年 10 月 20 日 10 時 30 分 20 秒に送信。

```
MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20081020103020||ADT^A08^ADT_A01|
        HIS_20081020103020|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者 ID は 4012345678、救急搬送のため、患者氏名は 不明 OO1、男、生年月日不詳を新規登録する。

```
PID|||4012345678^^^^PI||不明^OO1^^^^^L^I~フメイ^OO1^^^^^L^P||19000101|M<cr>
```

患者さんは外来の内科扱いとし、主治医は渋谷隆先生である。

```
PV1||O|||||11225533^渋谷^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんの血液型はA型Rh＋であり、重度の意識障害がある。

```
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO||||||F<cr>
OBX|2|CWE|04-05^意識障害^JSHR||SV^重度^JSHR||||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020103020 ＜メッセージが、2008年10月20日10時30分20秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20081020103020
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	4012345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	不明　００１（漢字氏名） フメイ　００１（カナ氏名）

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19000101 ＜実装時に生年月日不詳の取り決めがベンダー間で必要。19000101 を不詳と定義したと仮定。＞
8	Sex 性別	M(男性)

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	O（外来患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	渋谷 隆（職員番号 11225533）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE(ID=1,2)
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式）(ID=1)、 04-05（JSHR：意識障害）(ID=2)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1(LBLABO：A）(ID=1)、 SV(JSHR：重度)(ID=2)
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

(7A-2)患者情報通知の肯定応答(EIS→HIS)

メッセージサンプル(7A-1)に対する肯定応答メッセージ。
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知の肯定応答メッセージ(アプリケーション受諾:AA)を 2008 年 10 月 20 日 10 時 30 分 22 秒に送信。

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20081020103022||ACK^A08^ACK|
        EIS_20081020103022|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|HIS_20081020103020<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020103022

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
		＜メッセージが、2008年10月20日10時30分22秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ACK^A08^ACK
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20081020103022
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20081020103020

JAHIS © 2010 All right reserved.　2010年5月

(7B-1) 患者情報通知. 新規登録(EIS→REPORT/PACS)

メッセージ7A を受けて EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知メッセージ EIS_200810201030401 と EIS_200810201030402 とを 2008 年 1 月 20 日 10 時 30 分 40 秒に送信。
なお、送信先の各システムからの応答電文(ACK)<7B-2>のサンプルは記載していない。(記載省略)

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20081020103040||ADT^A08^ADT_A01|
        EIS_200810201030401|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20081020103040||ADT^A08^ADT_A01|
        EIS_200810201030402|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者 ID は 4012345678、患者氏名は 不明 OO1、男、生年月日不詳を新規登録する。

```
PID|||4012345678^^^^PI||不明^OO1^^^^^L^I~フメイ^OO1^^^^^L^P~FUMEI^001^^^^^L^A||19000101|M<cr>
```

患者さんは外来の内科扱いとし、主治医は渋谷隆先生である。

```
PV1||O|||||11225533^渋谷^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんの血液型はA型Rh＋であり、重度の意識障害がある。

```
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|CWE|04-05^意識障害^JSHR||SV^重度^JSHR|||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信） REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081020103040 ＜メッセージが、2008年10月20日10時30分40秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_200810201030401 （PACSへ送信） EIS_200810201030402 （REPORTへ送信）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットIDー患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	4012345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	不明　００１（漢字氏名） フメイ　００１（カナ氏名） FUMEI 001（アルファベット） ＜EIS-PACS/REPORT の通信時はアルファベット氏名をEISにて追加して送付する＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19000101 ＜実装時に生年月日不詳の取り決めがベンダー間で必要。19000101 を不詳と定義したと仮定。＞
8	Sex 性別	M(男性)

PV1 属性、OBX 属性については、メッセージサンプル（7A-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

(7C-1) 患者情報通知. 更新(HIS→EIS)

HIS_FUJIYAMA から EIS_NIHON へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知メッセージ
HIS_20081025103020 を 2008 年 10 月 25 日 10 時 30 分 20 秒に送信。

MSH|^~\&|HIS_FUJIYAMA||EIS_NIHON||20081025103020||ADT^A08^ADT_A01|
HIS_20081025103020|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

患者 ID が 4012345678 の救急患者さんは、その後意識回復により身元が判明。
患者氏名を鹿児島太郎、男、1959 年 2 月 14 日生に更新する。

PID|||4012345678^^^^PI||鹿児島^太郎^^^^^L^I~カゴシマ^タロウ^^^^^L^P||19590214|F|||
虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>

患者さんは外来で内科にかかっており主治医は渋谷隆先生である。

PV1||O|||||11225533^渋谷^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>

患者さんの血液型はA型Rh＋であり、身長 168cm、体重 55kg、重度の視覚障害がある。

OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO|||||F<cr>
OBX|2|NM|01-01^身長^JSHR||168|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|3|NM|01-02^体重^JSHR||55|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|4|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR|||||F<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	EIS_NIHON
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081025103020 ＜メッセージが、2008年10月25日10時30分20秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20081025103020
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	4012345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Patient Name 患者氏名	鹿児島 太郎（漢字氏名） カゴシマ タロウ（カナ氏名）
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19590214 ＜1959年2月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	O（外来患者）
3	ssigned Patient Location 患者所在場所	
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	渋谷 隆（職員番号 11225533）
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	01（内科）

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID － OBX	1、2、3、4（上位OBRに対して連番）
2	Value Type 値型	CWE(ID=1,4)、 NM(ID=2,3,)
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101（JC10：血液型-ABO式）(ID=1)、 01-01(JSHR：身長)(ID=2)、 01-02(JSHR：体重)(ID=3)、 04-03(JSHR：視覚障害)(ID=4)^
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	1（LBLABO：A）（ID=1）、 168(ID=2)、 55(ID=3)、 SV(JSHR：重度)(ID=4)、
6	Units 単位	cm（SI：cm）(ID=2)、 kg（SI：kg）(ID=3)
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	F（最終結果）

JAHIS © 2010 All right reserved. 2010年5月

(7C-2)患者情報通知. 更新の肯定応答(EIS→HIS)

メッセージサンプル(7C-1)に対する肯定応答メッセージ。
EIS_NIHON から HIS_FUJIYAMA へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知の肯定応答メッセージ(アプリケーション受諾:AA)を 2008 年 10 月 25 日 10 時 30 分 22 秒に送信。

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||HIS_FUJIYAMA||20081025103022||ACK^A08^ACK|
        EIS_20081025103022|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|HIS_20081020103020<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	HIS_FUJIYAMA
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081025103022 ＜メッセージが、2008年10月25日10時30分22秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ACK^A08^ACK
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_20081025103022
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

MSA属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Acknowledgment Code 肯定応答コード	AA（基本モード:アプリケーション受諾）
2	Message Control ID メッセージ制御ID	HIS_20081025103020

JAHIS © 2010 All right reserved.

(7D-1) 患者情報通知. 更新(EIS→PACS/REPORT)

メッセージ 7C を受けて EIS_NIHON から PACS_CAMEL、REPORT_ZEBRA へ V2.5 仕様の日本語を含む患者情報通知メッセージ EIS_200810251030403 と EIS_200810251030404 とを 2008 年 10 月 25 日 10 時 30 分 40 秒に送信。
なお、送信先の各システムからの応答電文(ACK)<7D-2>のサンプルは記載していない。(記載省略)

【EIS→PACS へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||PACS_CAMEL||20081025103040||ADT^A08^ADT_A01|
        EIS_200810251030403|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

【EIS→REPORT へ送信する場合】

```
MSH|^~\&|EIS_NIHON||REPORT_ZEBRA||20081025103040||ADT^A08^ADT_A01|
        EIS_200810251030404|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

患者 ID が 4012345678 の患者氏名を鹿児島太郎、男、1959 年 2 月 14 日生に更新する。

```
PID|||4012345678^^^^PI||鹿児島^太郎^^^^^L^I~カゴシマ^タロウ^^^^^L^P~KAGOSHIMA^TAROU^^^^^L^A
        ||19590214|F|||虎ノ門 1-19-19^^港区^東京都^105-0001^^H||03-3506-8010^PRN^PH<cr>
```

患者さんは外来で内科にかかっており主治医は渋谷隆先生である。

```
PV1||O|||||11225533^渋谷^隆^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
```

患者さんの血液型はA型Rh＋であり、身長 168cm、体重 55kg、重度の視覚障害がある。

```
OBX|1|CWE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO||||||F<cr>
OBX|2|NM|01-01^身長^JSHR||168|cm^cm^SI|||||F<cr>
OBX|3|NM|01-02^体重^JSHR||55|kg^kg^SI|||||F<cr>
OBX|4|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR||||||F<cr>
```

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	|
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	EIS_NIHON
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	PACS_CAMEL（PACSへ送信） REPORT_ZEBRA（REPORTへ送信）
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20081025103040 ＜メッセージが、2008年10月25日10時30分40秒に送信された。＞
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01
10	Message Control ID メッセージ制御ID	EIS_200810251030403 （PACSへ送信） EIS_200810251030404 （REPORTへ送信）
11	Processing ID 処理ID	P（Production）
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	

JAHIS © 2010 All right reserved.

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	JPN
18	Character Set 文字セット	ASCII~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	4012345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	鹿児島 太郎（漢字氏名） カゴシマ タロウ（カナ氏名） KAGOSHIMA TAROU（アルファベット） ＜EIS-PACS/REPORT の通信時はアルファベット氏名をEISにて追加して送付する＞
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19590214 ＜1959年2月14日生＞
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010

PV1 属性、OBX 属性については、メッセージサンプル（7C-1）に同じ。

JAHIS © 2010 All right reserved.

付録 - ２．消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタ Ver.1.0

放射線データ交換規約に倣い、本データ交換規約においてもオーダ用マスタを用いて規約を策定している。“付録―1．検査依頼メッセージの例”で示しているように、オーダ内容はOBR属性の4番目のフィールドの“Universal Service ID 検査項目群ID”で指定される。

以下に、そのフィールドで示されたサンプルマスタの説明を行う。

(1)マスタへの要件

わが国ではオーダ時に詳細情報を指定することが多い。

放射線データ交換規約においても、検査種別、検査部位、検査詳細、検査材料などの階層構造を実現するために、ORCセグメントで、撮影全体に関する情報を親レコード、個々の撮影に関する情報を子レコードとして記述し、紐付けをしており、これらのオーダにおける詳細指定には、JJ1017 Ver3.0が採用されている。

一方、内視鏡分野では、このJJ1017に相当するオーダ用のマスタが標準化されていない。従来のEISでは、納入システムおよび納入施設によってオーダ連携の仕組がまちまちであり、マスタを用いないシステムもあった。また、マスタを用いた連携システムにおいても、その内容は各施設固有のものや、提供するベンダ固有のものであった。しかも、これらのマスタでは、オーダで指示／依頼を行う内容の粒度(詳細度)や、種別の考え方等も統一性は無いという状況であった。

このため、ここでは本規約の策定に伴い内視鏡向けのサンプルとして作成したマスタを示す。

なお、本マスタは、あくまで内視鏡データ交換規約を用いる上でオーダを指示するためのマスタの使い方を示すためのサンプルであるため、必ずしもこのマスタを用いることを強制するものではない。各施設がすでに用意しているマスタがあれば、それを用いてもらうことも可能である。

しかしながら、マスタを用意できていない施設およびベンダにとっては、本マスタを参考あるいは採用していただくことで、個別に作成する手間を減らすことになるものと考える。

サンプルマスタを作成するにあたり、内視鏡部門向けの特徴とする事項として下記の項目が挙げられる。

- **検査依頼／指示の詳細度**

  検査の依頼では、例えば初診に見られるように患部を探して症状を確認するという目的での検査依頼と、経過観察に見られるように具体的な特定部位の指定や手技を指定する場合がある。前者の場合では、詳細事項が無い依頼となるが、後者では具体的な詳細事項となるものもある。このため状況によって依頼項目の詳細さの粒度が異なるという特徴がある。従って、マスタでは粒度の異なる依頼事項が取り扱えるようにする必要がある。

- **検査と処置の混在**

  内視鏡では、検査の他に処置も実施される。従って、検査依頼と処置依頼の両方がマスタとして取り扱うことが求められる。

- **依頼事項以外の実施**

  内視鏡の検査依頼では、実際に患部を見てみないと疾患の状況がわからない。そのため、検査依頼がオーダとして届いた場合でも、疾患の状況によってオーダ依頼以外の検査や観察および、処置を実施する場合がある。このため、実施はオーダに対して1対1となるわけではない。つまり、あるオーダを受けたが実際の処置はそれ以外の項目も実施する事例もある。これは、例えば放射線検査の場合では検査を実施する技師に対する指示としてオーダが出されるわけであるが、内視鏡検査の場合では、検査依頼を出す医師から内視鏡医への検査依頼を出すということによるものである。

  つまり、依頼は依頼として出されるが、内視鏡検査を行っている最中の内視鏡医の判断で検査や処置が決まるものである。この意味から内視鏡部門へは、指示ではなく依頼と言う意味合いとなる。

上記で述べた項目を考慮し、内視鏡部門向けオーダのサンプルでは、以下で述べる構造となっている。ここでは、出来るだけ構造的作りに配慮しつつも、従来で多く慣例として用いられてきたオーダ向け用語も配慮している。

JAHIS © 2010 All right reserved.

（2） マスタの構造

マスタは6つの要素から構成され、構造の形式としてはそれらを合わせた形として

”目的”＋”種別”＋”臓器”＋”臓器(部位)”＋”手技(モダリティ)”＋”手技(詳細)”

となる。このイメージを下記の図に示す。

概要オーダ		詳細オーダ			
目的	種別	臓器	臓器(部位)	手技(モダリティ)	手技(詳細)
1桁	1桁	2桁	2桁	2桁	3桁

マスタの構成

各要素は、内容とそれに対応するコードとしての値で示される。

コードの桁数は以下の通り。

目的	1桁
種別	1桁
臓器	2桁
臓器(部位)	2桁
手技(モダリティ)	2桁
手技(詳細)	3桁

従って、マスタは11桁の数値で表すことが出来る。

以下に各要素を示す。

目的

内容	値
検査	1
治療	2

種別

内容	値
上部	1
下部	2
胆・膵	3

臓器

内容	値
指示なし	00
食道	01
胃	02
十二指腸	03
直腸	04
S状結腸	05
大腸	06
胆管（胆道）	07
膵管	08
小腸	09

JAHIS © 2010 All right reserved.

臓器(部位)

内容	値
指示なし	00
E-Gジャンクション	01
噴門周辺	02
穹窿部（胃底部）	03
体部	04
小湾部	05
大湾部	06
胃角部	07
胃角	08
前庭部	09
幽門前部	10
幽門周辺	11
十二指腸球部	12
前壁	13
後壁	14
肛門	21
肛門管	22
直腸S状部	23
S状結腸・下行結腸移行部	24
下行結腸	25
脾湾曲	26
横行結腸	27
肝湾曲	28
上行結腸	29
盲腸	30
虫垂	31
回盲弁	32
回腸	33

手技(モダリティ)

内容	値
指示なし	00
上部通常内視鏡	01
下部通常内視鏡	02
超音波内視鏡	03
カプセル	04
十二指腸内視鏡	05
小腸内視鏡	06

手技(詳細)

内容	値
指示なし	000
EGDs	101
EGDs (EUS)	102
EGDs (EUS-FNA)	103
EGDs （マーキング）	104
早期食道悪性腫瘍 (EMR)	105
早期食道悪性腫瘍 (ESD)	106
食道・胃静脈瘤硬化療法 (EIS)	107

JAHIS © 2010 All right reserved.

内容	値
内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）	108
内視鏡的静脈瘤造影法（EVIS）	109
内視鏡的硬化療法・結紮術同時併用療法（EISL）	110
胃、十二指腸ポリープ・ポリペクトミー	111
胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（EMR）	112
胃、十二指腸・粘膜下層剥離術（ESD）	113
内視鏡的消化管止血術	114
透視下上部消化管狭窄拡張術	115
上部消化管狭窄拡張術	116
上部消化管ステント留置術	117
内視鏡的異物摘出術	118
透視下内視鏡的異物摘出術	119
胃瘻造設術	120
胃瘻交換	121
（122～199未使用：将来拡張用）	
CS	201
透視下CS	202
CS（EUS）	203
CS（マーキング）	204
CS（ポリペクトミー）	205
CS（EMR）	206
CS（ESD）	207
内視鏡的止血術	208
経肛門イレウスチューブ留置	209
内視鏡的結腸異物摘出術	210
透視下内視鏡的結腸異物摘出術	211
透視下小腸・結腸狭窄部拡張術	212
小腸・結腸狭窄部拡張術	213
小腸内視鏡（経肛門的）	214
小腸内視鏡（バルーン）	215
（216～299未使用：将来拡張用）	
ERCP	301
EPBD	302
EST	303
EST+砕石術	304
内視鏡的胆道砕石術	305
内視鏡的胆道排石術	306
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	307
ERBD	308
ERBD（交換）	309
胆道ステント留置術	310
胆道拡張術	311
胆管ドレナージ	312
膵嚢胞外瘻造設術	313
内視鏡的経鼻膵管ドレナージ（ENPD）	314
内視鏡的膵管ステント留置術（EPS）	315
内視鏡的膵管ステント（EPS）交換	316
膵管ドレナージ	317
膵石除去	318

JAHIS © 2010 All right reserved.　

内容	値
ERCP（IDUS）	319
EUS-FNA	320
透視下EUS-FNA	321
膵管鏡	322
経乳頭的胆道鏡	323
細胞診	324
IDUS	325
内視鏡下生検	326
色素内視鏡	327
ENBD造影のみ	328
ENPD造影のみ	329
PTCD挿入（超音波・透視併用）	330
PTGBD挿入（超音波・透視併用）	331
PTAD挿入（超音波・透視併用）	332
PTCDチューブ・カ入替抜去	333
PTGBDチューブ・カ入替抜去	334
PTADチューブ・カ入替抜去	335
PTCD造影のみ	336
PTGBD造影のみ	337
PTAD造影のみ	338
肝嚢胞造影のみ	339
経皮的胆道鏡	340
経皮的胆道管拡拡張術	341
透視下生検 （343～399未使用：将来拡張用）	342
生検採取 （402～499未使用：将来拡張用）	401
（501～999未使用：将来拡張用）	

JAHIS © 2010 All right reserved.

付録 - ３．消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタの使用例

ここでは“付録―2．消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタ　Ver.1.0”の使用例を示す。

（1） オーダとマスタ

内視鏡検査／処置のオーダでは、初診時などで患部や疾患を特定するためのオーダや、経過観察等に見られるような疾患のある部位に対する処置指定などのオーダがある。前者のオーダでは、上部や下部の検査という大まかな依頼となり、後者では部位指定や処置の指定といった詳細指定を含む依頼となる。

具体的な指示を出さずに上部や下部といった大まかな依頼を出す場合（ここでは“概要オーダ”と呼ぶ）と、具体的な詳細項目を含む依頼項目が示される場合（ここでは“詳細オーダ”と呼ぶ）がある。

オーダは“消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタ　Ver.1.0”の該当項目を指定することで行われる。
オーダはサンプルマスタの各要素と対応しており、下記の対応関係となる。

概要オーダ　⇒　”目的”及び”種別”の内容を指定
詳細オーダ　⇒　”臓器”，”臓器（部位）”，”手技（モダリティ）”及び”手技（詳細）” の内容を指定

このことから、オーダを指定する場合にはサンプルマスタの”目的”，”種別”，”臓器”，”臓器（部位）”，”手技（モダリティ）”及び”手技（詳細）”の各要素を組み合わせて行うことになる。

概要オーダの指定及び詳細オーダの指定のどちらの場合においても、オーダの基本形式としては

オーダ＝“概要オーダ”＋“詳細オーダ”

という構造となる。

なお、概要オーダは ORC-1 の “PA” （親オーダ）に、詳細オーダは ORC-1 の “CH” （子オーダ）に対応する。

上述したように”目的”や”種別”等のサンプルマスタの各要素は対応するコードとしての値を持ち、それぞれの要素に応じた桁数となっている。従って、オーダは各要素のコードの組み合わせである11桁の数値として表される。

以下に、これらオーダ及びサンプルマスタの指定の方法を更に詳細に説明する。

・ 概要オーダの指定

オーダを概要オーダとして指定する場合のオーダ内容は、サンプルマスタの”目的”及び”種別”の各項目の組み合わせで決める。
ここでは詳細項目の指定は無いため、詳細オーダに対応する”臓器”，”臓器（部位）”，”手技（モダリティ）”及び”手技（詳細）” の各項目は「指示なし」を設定する。

”目的”は検査目的のためのオーダであるのか、治療のためのオーダであるのかの区別を指定し、”種別”では上部消化管，下部消化管及び胆・膵といった大まかな検査部位を示す。
この”目的”と”種別”の組み合わせにより、例えばここでは「上部の検査」というような依頼項目が特定される。

・ 詳細オーダの指定

検査を行う臓器や部位及び用いるモダリティや処置などに関連する手技といった具体的指定を行う場合における詳細オーダの内容は、詳細オーダに対応するサンプルマスタ”臓器”，”臓器（部位）”，”手技（モダリティ）”及び”手技（詳細）”の各々を指定した組み合わせで決定する。
全ての詳細オーダは概要オーダで示されるいずれかの範疇に属する。そのため、詳細オーダの指定では、詳細オーダが属する概要オーダを合わせて指定する。

”臓器”は胃や食道といった一般的な臓器を示す。一方”臓器（部位）”では、臓器における部位を示す。
また、慣例的にモダリティ指定も広義の手技として指定されることがあるため、マスタでは”手技（モダリティ）”としている。その他一般的な詳細の手技に対しては”手技（詳細）”としてまとめてある。
この組み合わせて詳細オーダが特定される。

JAHIS © 2010 All right reserved.

（2） 表記例

例1

11000000000　単に上部の検査の依頼の場合（概要オーダの指定の場合）

患部が明確に判っておらず、“上部消化管の検査”として全体を含む大まかな依頼を行う場合の例であり、詳細オーダは”000000000”で指定される。

例2

11020301000　胃の胃底部の上部通常内視鏡検査の場合（患部の指定がある場合）

上部通常内視鏡を用いて臓器と部位を指示して検査依頼を行っているが、詳細な手技は指示せず、依頼した内視鏡医に手技をゆだねる場合の例。

例3

22040002205　直腸のポリペク依頼の例（処置オーダとして詳細項目を指定する場合）

下部通常内視鏡を用いて臓器の指定と具体的処置の依頼を行っているが、ここでは該当臓器の部位項目が無い場合として、臓器（部位）に指定なしを指定した例。

（3） サンプルマスタを用いたオーダの組み合わせ表記例

以下に、本サンプルマスタを用いたオーダの組み合わせと表記事例を示す。
ただし、ここでは詳細事項を依頼する詳細オーダの指定に限って、組み合わせ事例を示す。
ここで、"-"は"（指示なし）"を意味する。明示的指示が無い場合には"-"を記入する。

下記の記述において”(-)”は、”()”内に指示なしである”-”を含む任意の選択を可能とすることを意味する。従って、例えば臓器の項目であれば、具体的な臓器や位置指示が決まっていれば、その値を指示できる。

また、本記述において”XXX／YYY”は、”XXX”または”YYY”で表記されている項目を選択することを可能とすることを意味する。例えば、”-／YYY”は、”-”または”YYY”で表記されている項目を選択することを可能とする。

手技（モダリティ）における組み合わせ表記事例

内容	組み合わせ表記
上部通常内視鏡	検査／治療.上部.（-）.（-）.上部通常内視鏡.（-）
下部通常内視鏡	検査／治療.下部.（-）.（-）.下部通常内視鏡.（-）
超音波内視鏡	検査／治療.上部／下部／胆・膵.（-）.（-）.超音波内視鏡.（-）
カプセル	検査.下部.（-）.（-）.カプセル.（-）
十二指腸内視鏡	検査／治療.胆・膵.（-）.（-）.十二指腸内視鏡.（-）
小腸内視鏡	検査／治療.下部.（-）.（-）.小腸内視鏡.（-）

手技（詳細）における組み合わせ表記事例

内容	組み合わせ表記
EGDs	検査.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.EGDs
EGDs（EUS）	検査.上部.（-）.（-）.-／超音波内視鏡.EGDs（EUS）
EGDs（EUS-FNA）	検査.上部.（-）.（-）.-／超音波内視鏡.EGDs（EUS-FNA）
EGDs （マーキング）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.EGDs （マーキング）
早期食道悪性腫瘍（EMR）	治療.上部.食道.（-）.-／上部通常内視鏡.早期食道悪性腫瘍（EMR）
早期食道悪性腫瘍（ESD）	治療.上部.食道.（-）.-／上部通常内視鏡.早期食道悪性腫瘍（ESD）
食道・胃静脈瘤硬化療法（EIS）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.食道・胃静脈瘤硬化療法（EIS）
内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）
内視鏡的静脈瘤造影法（EVIS）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.内視鏡的静脈瘤造影法（EVIS）
内視鏡的硬化療法・結紮術同時併用療法（EISL）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.内視鏡的硬化療法・結紮術同時併用療法（EISL）
胃、十二指腸ポリープ・ポリペクトミー	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・ポリペクトミー
胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（EMR）	治療.上部.（-）.（-）.-／上部通常内視鏡.胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（EMR）

JAHIS © 2010 All right reserved.

内容	組み合わせ表記
胃、十二指腸・粘膜下層剥離術（ESD）	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.胃、十二指腸・粘膜下層剥離術（ESD）
内視鏡的消化管止血術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.内視鏡的消化管止血術
透視下上部消化管狭窄拡張術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.透視下上部消化管狭窄拡張術
上部消化管狭窄拡張術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.上部消化管狭窄拡張術
上部消化管ステント留置術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.上部消化管ステント留置術
内視鏡的異物摘出術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.内視鏡的異物摘出術
透視下内視鏡的異物摘出術	治療.上部.（−）.（−）.−／上部通常内視鏡.透視下内視鏡的異物摘出術
胃瘻造設術	治療.上部.（−）.（−）.−.胃瘻造設術
胃瘻交換	治療.上部.（−）.（−）.−.胃瘻交換
CS	検査.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.CS
透視下CS	検査.下部.（−）.（−）.下部通常内視鏡.透視下CS
CS（EUS）	検査.下部.（−）.（−）.−／超音波内視鏡.CS（EUS）
CS（マーキング）	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.CS（マーキング）
CS（ポリペクトミー）	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.CS（ポリペクトミー）
CS（EMR）	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.CS（EMR）
CS（ESD）	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.CS（ESD）
内視鏡的止血術	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.内視鏡的止血術
経肛門イレウスチューブ留置	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.経肛門イレウスチューブ留置
内視鏡的結腸異物摘出術	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.内視鏡的結腸異物摘出術
透視下内視鏡的結腸異物摘出術	治療.下部.（−）.（−）.−／下部通常内視鏡.透視下内視鏡的結腸異物摘出術
透視下小腸・結腸狭窄部拡張術	治療.下部.（−）.（−）.（−）.透視下小腸・結腸狭窄部拡張術
小腸・結腸狭窄部拡張術	治療.下部.（−）.（−）.−／小腸内視鏡.小腸・結腸狭窄部拡張術
小腸内視鏡（経肛門的）	治療.下部.（−）.（−）.−／小腸内視鏡.小腸内視鏡（経肛門的）
小腸内視鏡（バルーン）	治療.下部.（−）.（−）.−／小腸内視鏡.小腸内視鏡（バルーン）
ERCP	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.ERCP
EPBD	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.EPBD
EST	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.EST
EST+砕石術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.EST+砕石術
内視鏡的胆道砕石術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.内視鏡的胆道砕石術
内視鏡的胆道排石術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.内視鏡的胆道排石術
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	治療.胆・膵.（−）.（−）.−.内視鏡的経鼻胆管ドレナージ（ENBD）
ERBD	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.ERBD
ERBD（交換）	治療.胆・膵.（−）.（−）.−.ERBD（交換）
胆道ステント留置術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−.胆道ステント留置術
胆道拡張術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.胆道拡張術
胆管ドレナージ	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.胆管ドレナージ
膵嚢胞外瘻造設術	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.膵嚢胞外瘻造設術
内視鏡的経鼻膵管ドレナージ（ENPD）	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.内視鏡的経鼻膵管ドレナージ（ENPD）
内視鏡的膵管ステント留置術（EPS）	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.ERCP
内視鏡的膵管ステント（EPS）交換	治療.胆・膵.（−）.（−）.−.内視鏡的膵管ステント（EPS）交換
膵管ドレナージ	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.膵管ドレナージ
膵石除去	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.膵石除去
ERCP（IDUS）	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／超音波内視鏡.ERCP（IDUS）
EUS-FNA	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／超音波内視鏡.EUS-FNA
透視下EUS-FNA	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／超音波内視鏡.透視下EUS-FNA
膵管鏡	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.膵管鏡
経乳頭的胆道鏡	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.経乳頭的胆道鏡
細胞診	治療.胆・膵.（−）.（−）.−／十二指腸内視鏡.細胞診

JAHIS © 2010 All right reserved.

内容	組み合わせ表記
IDUS	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／超音波内視鏡.IDUS
内視鏡下生検	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.内視鏡下生検
色素内視鏡	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.色素内視鏡
ENBD造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.ENBD造影のみ
ENPD造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.ENPD造影のみ
PTCD挿入（超音波・透視併用）	治療.胆・膵.（-）.（-）.-.PTCD挿入（超音波・透視併用）
PTGBD挿入（超音波・透視併用）	治療.胆・膵.（-）.（-）.-.PTGBD挿入（超音波・透視併用）
PTAD挿入（超音波・透視併用）	治療.胆・膵.（-）.（-）.-.PTAD挿入（超音波・透視併用）
PTCDチューブ・カ入替抜去	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTCDチューブ・カ入替抜去
PTGBDチューブ・カ入替抜去	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTGBDチューブ・カ入替抜去
PTADチューブ・カ入替抜去	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTADチューブ・カ入替抜去
PTCD造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTCD造影のみ
PTGBD造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTGBD造影のみ
PTAD造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.PTAD造影のみ
肝嚢胞造影のみ	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.肝嚢胞造影のみ
経皮的胆道鏡	治療.胆・膵.（-）.（-）.-.経皮的胆道鏡
経皮的胆道管拡拡張術	治療.胆・膵.（-）.（-）.-.経皮的胆道管拡拡張術
透視下生検	治療.胆・膵.（-）.（-）.-／十二指腸内視鏡.透視下生検
生検採取	検査.上部／下部.（-）.（-）.（-）.生検採取

（4） 注意事項

- 組み合わせによっては矛盾する場合や存在しない組み合わせも出てくる。
- ”手技(詳細)”では臓器名やモダリティ名を含むものもあるが、現行の手技名としてあるものを尊重して採用し、ここでの臓器名などはその臓器そのものを指し示しているのではなく、その臓器に適用される手技という意味合いとなっている。従って、この場合には臓器やモダリティを指定したことにはならない。
  例えば”胃、十二指腸ポリープ・ポリペクトミー”は、胃や十二指腸に向けたポリペクトミーという手技を意味する。
- 手技(詳細)のコードは、種別に対応可能なものはコードの値として100台,200台,300台と分類し、まとめて記載してある。
- 種別に対応しない手技(詳細)はコードで400以降とした。
- 本マスタはあくまでサンプルであり将来に向けたたたき台となり拡張される可能性があるため、未使用領域を設けた。
- 本マスタはOBR-4である検査項目群IDのフィールドに対応する。
- 臓器(部位)より何cmというように、距離で場所を特定したオーダを出す場合は、OBX-2のデータ型,OBX-3の項目ID、OBX-5の検査値で示す。
- 概要オーダの指定の場合でも、詳細オーダの構成項目は省略出来ない。
  該当しない場合には詳細オーダの各要素に指示なしの”00”を入れる。オーダの組み合わせ表記例にならえば、詳細オーダにあたるすべての項目は"-"と表記される。
- 詳細オーダの場合でも、概要オーダの構成項目は省略出来ない。詳細内容に該当する概要オーダを指定する。

JAHIS © 2010 All right reserved.

付録 - ４．作成者名簿

作成者（五十音順）

天野　敦之	オリンパスメディカルシステムズ㈱
池田　勝	オリンパス㈱
伊藤　俊介	㈱日立製作所
井上　清	富士フイルムメディカル㈱
金田　昭治	富士フイルム㈱
鏑木　善誉	横河電機㈱
河野　努	日本光電工業㈱
窪田　寛之	コニカミノルタエムジー㈱
塩川　康成	ＡＪＳ㈱
下邨　雅一	富士通㈱
杉原　佳次	富士フイルム㈱
鈴木　一洋	横河電機㈱
檀原　一之	日本電気㈱
中島　隆	富士フイルム㈱
平井　正明	日本光電工業㈱
藤澤　一二	コニカミノルタエムジー㈱
三田　幸宏	アロカ㈱

JAHIS © 2010 All right reserved.

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2008/8/5	Ver. 1.0	最初のバージョン
2010/5/11	Ver. 2.0	内視鏡検査実施報告メッセージを加筆

（JAHIS標準　10-001）

2010年５月発行

～JAHIS内視鏡データ交換規約　Ver.2.0～

発行元 保健医療福祉システム工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目19－9

（虎ノ門TBビル6F）

電話　03-3506-8010　　FAX　03-3506-8070

（無断複写・転載を禁ず）